



子育て支援課

重点施策

未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちの実現

主要施策

① 子育て支援の充実

第 1 児童福祉・子育て支援

1 児童福祉費（03-02-01-01） 47,274,012 円

(1) 子ども・子育て支援会議 168,000 円

子ども・子育て支援法の規定に基づき、本町の子ども・子育て支援施策に必要な意見聴取や調査審議を行うため設置した附属機関です。令和 6 年度は、第 3 期砥部町子ども・子育て支援事業計画策定のため、3 回会議を開催しました。

- ・子ども・子育て支援会議委員 13 人
- ・委員構成 学識経験者、保育所保護者代表、幼・小 PTA 代表、公募委員など
- ・年 3 回開催 令和 6 年 10 月 17 日、12 月 26 日、令和 7 年 3 月 6 日
- ・委員報酬 168,000 円※町職員を除く。

(2) 第 3 期砥部町子ども・子育て支援事業計画の策定 5,598,989 円【主要施策①】

子ども・子育て支援法第 61 条の規定に基づき、急速な少子化や核家族化、共働き世帯など、子どもの育ちや子育てをめぐる環境が変化する中、1 人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現するため、第 3 期子ども・子育て支援事業計画（令和 7 年度～11 年度）を策定しました。

- 第 3 期砥部町子ども・子育て支援事業計画策定業務
 - ・委託金額：5,489,000 円
- 第 3 期砥部町子ども・子育て支援事業計画（概要版）印刷業務
 - ・委託金額：109,989 円

(3) 要保護児童対策事業 9,000 円

要保護児童の早期発見やその適切な支援策を講じるため、要保護児童対策地域協議会を運営しています。協議会は 16 の機関から成り、代表者会議、実務者会議、個別支援ケース会議の 3 つで構成されています。令和 6 年度は代表者会議 1 回、実務者会議 2 回、個別支援ケース会議は 3 回実施しました。

令和 6 年度の要保護児童に係る相談は 29 件、そのうち虐待相談として受理したのは 22 件でした。

- ・代表者会議 構成委員 18 人 6 月 28 日に開催
- ・実務者会議 構成委員 25 人 ①11 月 21 日 ②2 月 12 日 に開催し、継続支援している 35

家庭について情報交換を行いました。

- ・個別支援ケース会議 保護者に精神疾患や障がいのある家庭について、計3回実施しました。
- ・委員報酬 9,000円（代表者会議参加者のうち3人）※公務員を除く

(4) 旧宮内保育所園舎解体工事設計 5,170,000円

令和5年度末に閉所した旧宮内保育所の用地活用を図るため、園舎解体工事の設計を行いました。

(5) 民間保育所・認定こども園整備交付金返還金 35,853,000円

令和5年度に実施した民間保育施設の整備に対する国庫補助事業について、額の確定に伴い超過交付を受けていた交付金を返還しました。

- 就学前教育・保育施設整備交付金返還金 35,173,000円
- 子ども・子育て支援施設整備交付金返還金 680,000円

(6) 子育て世帯生活支援特別給付事業補助金返還金 254,000円

令和5年度低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援給付事業補助金の超過交付分を返還しました。

2 放課後児童クラブ費（03-02-01-02~05及び52） 事業費 3,545,100円 人件費 59,643,620円

(1) 放課後児童健全育成事業の運営【主要施策①】

日中、仕事などで保護者が家庭にいない児童を対象に、小学校内の専用施設等で児童を預かり、児童の健全育成に努めました。6年度の平均利用者数は309人（小学校総児童数の30.1%）となりました。

○R6各放課後児童クラブの運営費

クラブ名	クラブ数	運営費	内 訳（続く）	
			人件費	消耗品費
砥部小放課後児童クラブ	2	15,155,780	14,342,332	330,675
宮内小放課後児童クラブ	3	22,466,826	21,259,204	559,078
麻生小放課後児童クラブ	3	21,740,581	20,346,904	535,526
広田小放課後児童クラブ	1	3,825,533	3,695,180	22,137
計	9	63,188,720	59,643,620	1,447,416

単位：円

クラブ名	内 訳（続き）		特定財源
	通信運搬費	その他	
砥部小放課後児童クラブ	88,829	393,944	
宮内小放課後児童クラブ	91,393	557,151	
麻生小放課後児童クラブ	91,774	766,377	
広田小放課後児童クラブ	24,972	83,244	
計	296,968	1,800,716	46,448,700

※人件費は、放課後児童クラブ配置会計年度任用職員の報酬、期末手当、勤勉手当、費用弁償の合計。

運営費には保護者負担金14,739,500円、国の子ども・子育て支援交付金（放課後児童健全育成事業分）15,711,000円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（放課後児童健全育成事業分）15,711,000円を充当しています。



3 子ども・子育て支援費（03-02-01-07） 339,123,895 円

(1) 施設型給付費・地域型保育給付費 317,399,347 円

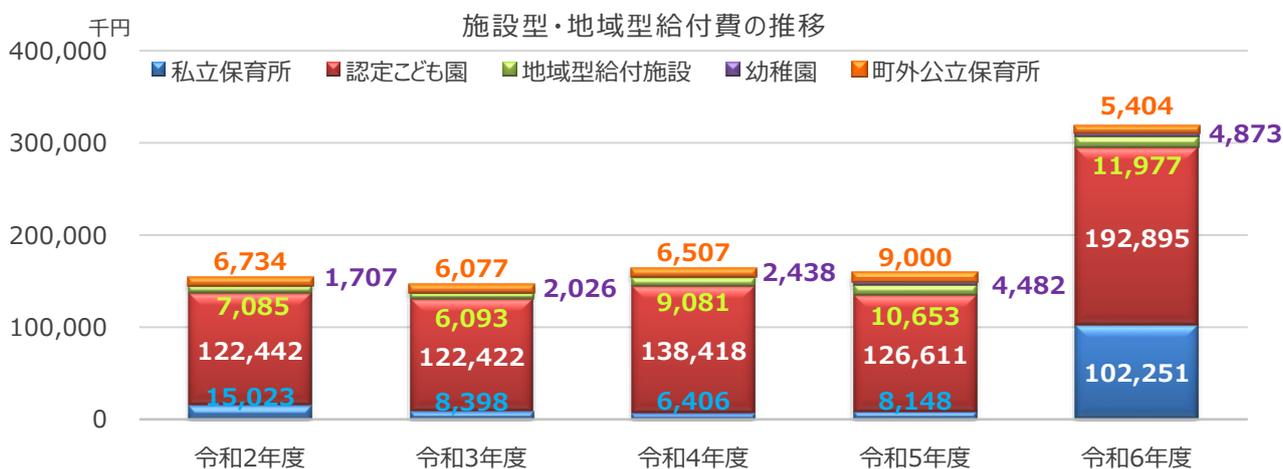
平成 27 年度より開始された制度で保育所・幼稚園や認定こども園等を利用した保護者に対して給付費を支払うものです。令和 6 年度は、アイگران保育園宮内（私立保育所）とアイگرانこども園麻生（認定こども園）が運営を開始したことに伴い、給付費が大きく増加しました。

○子ども・子育て支援施設型給付費・地域型保育給付費と財源内訳

単位：円

	給付費	財源内訳				施設数	延利用 園児数 (人)
		国費	県費	負担金	一般財源		
私立保育所	102,250,550	162,311,573	71,007,074	8,112,250	75,968,450	3	1,014
認定こども園	192,894,950			—		13	1,722
地域型保育施設	11,976,950			—		6	50
幼稚園	4,872,967			—		4	85
町外公立保育所	5,403,930	—	—	—	3	73	
計	317,399,347	162,311,573	71,007,074	8,112,250	75,968,450	29	2,944

私立保育所使用料 8,112,250 円、国の施設型給付費負担金（子どものための教育・保育給付交付金）162,311,573 円、県の施設型給付費負担金（子どものための教育・保育給付交付金）65,622,942 円、子どものための教育・保育給付費補助金 5,384,132 円を充当しています。





(2) 一時預かり 407,500 円

私立幼稚園及び私立認定こども園が行う一時預かり事業（幼稚園型）に対し、委託料を支払いました。

- ・愛育幼稚園 29,500 円（年間利用延べ人数 59 人）
- ・松山認定こども園星岡 53,000 円（年間利用延べ人数 106 人）
- ・青葉幼稚園 296,500 円（年間利用延べ人数 593 人）
- ・エンゼル幼稚園 7,000 円（年間利用延べ人数 14 人）
- ・松山のぞみ幼稚園 17,000 円（年間利用延べ人数 34 人）
- ・ロザリオ幼稚園 4,500 円（年間利用延べ人数 9 人）

国の子ども・子育て支援交付金（一時預かり事業分）50,000 円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（一時預かり事業分）47,000 円を充当しています。

(3) 子育てのための施設等利用給付費負担金 15,244,205 円

令和元年 10 月より新たに始まった幼児教育・保育無償化により対象となった事業について、利用した事業区分ごとの利用者負担金等を利用施設や利用者へ対して、給付費の支払いを実施しました。

○子育てのための施設等利用給付費と財源内訳

単位：円

区分	利用費	財源内訳			施設数	延利用園児数 (人)
		国費	県費	一般財源		
未移行幼稚園	13,439,815	8,222,399	4,111,199	3,914,457	2	523
認可外保育事業	0				0	
預かり保育事業	2,796,540				12	540
一時保育事業	11,700				2	4
計	16,248,055	8,222,399	4,111,199	3,914,457	16	1,067

※公立施設で実施した事業分 1,003,850 円を含む。

国の施設等利用給付費負担金（子育てのための施設等利用給付交付金）8,222,399 円、県の施設等利用給付費負担金（子育てのための施設等利用給付交付金）4,111,199 円を充当しています。

(4) 子どものための教育・保育給付交付金返還金 6,072,843 円

令和5年度子どものための教育・保育給付交付金の超過交付分を返還しました。

4 子育て支援事業費 (03-02-01-08) 事業費 57,405,001 円

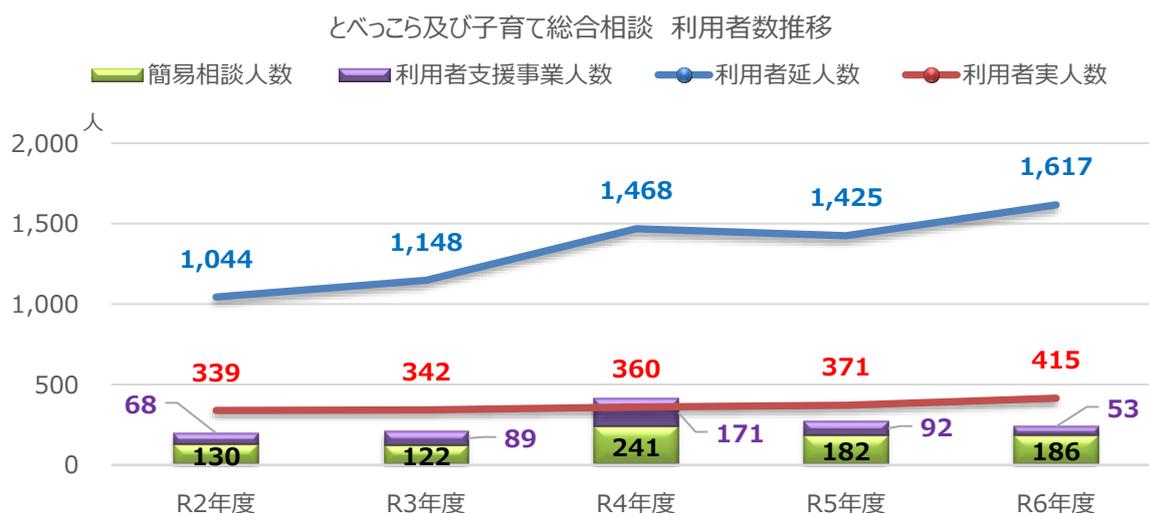
人件費 7,271,641 円【主要施策①】

子育て世帯への充実した支援を図るため、下記の事業を実施しました。

(1) 子育て世代包括支援センター（利用者支援事業¹）事業費 4,042,761 円 人件費 2,609,980 円

子育て世代包括支援センターでは、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を目的に、専門職による電話相談や家庭訪問を行っています。また、子ども連れでも気軽に来所し相談や交流ができる場所として、子育て支援センター「とべっこら」の運営を行っています。

- ・子育て総合相談 延 53 件 利用者数 延 1,617 人
- ・子育て支援センター 開所日数 241 日
利用者数 延 1,617 人（開所1日あたりの利用者平均 6.7 人）



また、令和6年度から利用者支援事業の一部について、NPO 法人とベ子育て支援団体ぽっかぽかへの委託を開始しました。子育て家庭のニーズを把握し、子育て支援事業や地域資源へつながりための相談対応及び地域における子育て資源の育成・普及啓発を行うことで、利用者支援事業の充実を図りました。〔委託料：3,994,336 円〕

- ・子育てコーディネーターとしての相談事業 延 692 件
- ・子育てスキルアップ講習会参加者数 延 111 件（9 回開催）
- ・砥部中学生との赤ちゃんふれあい体験事業や高齢者福祉施設での夏祭り開催等

国の子ども・子育て支援交付金（利用者支援事業分）6,110,000 円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（利用者支援事業分）1,586,000 円を充当しています。

¹ 子育て家庭や妊産婦が身近な場所で相談や助言を受けられるための体制づくりを目的とした事業です。

(2) 産後ケア事業 事業費 216,000 円

産後1か月以内の産婦全員へ、新生児の状態や産後うつ傾向の把握を目的に電話相談を行い、必要に応じて産婦訪問を行いました。

また、産後1年までの産婦と乳児に対し、母親の心身の安定、母乳指導等を目的として宿泊・通所・訪問のいずれかのケア事業を実施しました。

- ・電話相談件数 78件（産後1か月以内）
- ・産婦訪問 2件
- ・委託事業 宿泊ケア2件、通所ケア7件

国の母子保健衛生費補助金 100,000円、県のえひめ人口減少対策総合交付金 54,000円を充当しています。

(3) 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業） 事業費 982,020 円

人件費 289,998 円

保護者の就労などによる子どもの一時的な預かりや保育所等への送迎を行うため、センターのアドバイザーが、利用会員とサポート会員の橋渡しを行い、地域における育児の相互援助活動の推進に努めました。

また、会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会を実施しました。

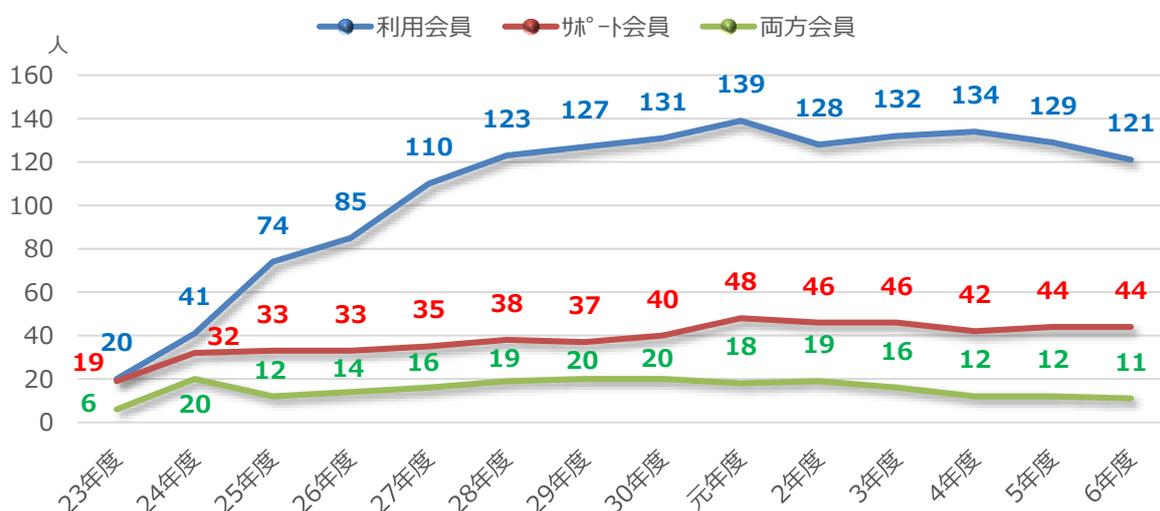
- ・会員数（7年3月末現在） 176人（利用会員121人、サポート会員44人、両会員11人）
- ・年間援助活動数 1,017件（送迎と預かりを同時利用の場合は2件とカウント）
- ・30分半額助成券利用状況 利用件数785件 助成額472,814円
- ・報償費・需用費等 509,206円

国の子ども・子育て支援交付金（子育て援助活動支援事業分）1,554,000円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（子育て援助活動支援事業分）1,592,000円を充当しています。



ファミリー・サポート・センター交流会の様子（木育）

ファミリー・サポート・センター 登録会員数推移



(4) 病児・病後児保育事業 11,814,175 円

児童が発熱等の急な病気で保護者が家庭で看護できない場合、町内及び松山市の専用施設で一時的に児童を預かります。

ア 委託方式（町内：アイグラン保育園宮内・アイグランこども園麻生）

○アイグラン保育園宮内

- ・利用延べ人数 19人
- ・委託料 5,869,000円

○アイグランこども園麻生

- ・利用延べ人数 26人
- ・委託料 5,877,000円

イ 広域利用（松山市：石丸小児科、天山病院、愛媛生協病院、三葉病児園、高木保育園、松山リエール保育園、さかのうえ保育園小坂園、こどもスマイルつばき園）

- ・利用延べ人数 50人
- ・広域利用負担金 68,175円

国の子ども・子育て支援交付金（病児保育事業）3,915,000円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（病児保育事業）3,915,000円を充当しています。



(5) 乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業） 事業費 250,357 円

生後4か月までの乳児のいる家庭へ保健師等が訪問し、日常生活の状況、子育てなどに関する悩みや心配ごとを聞き助言することで、育児不安の軽減や虐待予防を図りました。

- ・訪問家庭数 88件（このうち令和6年度出生分は76件）

国の子ども・子育て支援交付金（乳児家庭全戸訪問事業）203,000円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（乳児家庭全戸訪問事業）180,000円を充当しています。

(6) 乳児と保護者対象の交流広場（ぴよぴよ広場）※事業費なし

保健師が乳児全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）の際、「乳児を連れ、安心して遊ばせられる場所に出かけたい。」「顔見知りのいない町で親子同士が交流できる場がほしい。」という声が多く聞かれたことから、令和6年度から1歳未満の乳児と保護者を対象に、子育て支援コーディネーターによる親子遊びやベビータッチケア等の講習、子育て情報の



交換やお友達づくり、保健師による体重測定・相談を行いました。

- ・開催場所・開催回数 中央公民館とべっこら：6回、県立医療技術大学別館：6回
- ・年間利用者（延べ人数）：子ども 62人 大人 56人 合計 118人（親子 55家庭）

(7) つどいの広場事業 7,870,082円

町内2か所に子育て親子の交流の場を設け、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援しました。

〔事業内容〕親子のつどいの広場、育児相談等

ア ぽっかぽか：高尾田あったか広場内地域交流室

- ・開設日数 235日
- ・年間利用者(延べ人数) 子ども 1,793人 大人 1,715人

イ ぽっかぽかぷち：老人福祉センター1階（大南地区）

- ・開設日数 92日
- ・年間利用者(延べ人数) 子ども 479人 大人 462人

国の子ども・子育て支援交付金 2,623,000円、
県の子ども・子育て支援事業費補助金
2,623,000円を充当しています。

(8) 乳幼児発達相談事業 220,000円

発達上の問題がある乳幼児等に対して、公認心理師による個別の発達検査を実施しました。必要に応じて児童発達支援サービスや専門医療機関の紹介を行い、紹介先とその後の経過を共有して相談支援の継続を行いました。

- ・相談実施回数 22回
- ・検査実施者数 39人（再掲）未就学児 32人、小学生 7人

※未就学児 32人中 10人が教育相談、9人が児童発達支援サービス利用に繋がりました。

また、幼児期の発達についての保護者の不安解消を目的に、1歳6か月児健診・3歳6か月児健診（保険健康課実施分）の会場に相談室を設け、町公認心理師が相談に対応しました。

- ・相談実施回数 11回 ※ただし、発達検査までは行わない
- ・相談者数 1歳6か月児健診 7人、3歳6か月児健診 10人

(9) 親子集団療育教室 事業費 215,106円 人件費 47,628円

ことばの発達やコミュニケーション、運動や行動面において経過観察を必要とする幼児及びその保護者に対し、月1回の親子遊び教室を通して育児の具体的な関わり方を助言し、幼児の健やかな成長や発達を促す支援を行いました。

- ・教室開催数 12回
- ・教室参加者数 延 181人（対象児 72人、児のきょうだい 34人、保護者 75人）

(10) 若年出産世帯応援事業 11,645,000円 ※県・市町連携事業

子育てにおける経済的負担の大きい35歳以下の世帯へ助成を行いました。

- ・助成単価 1世帯あたり 20万円（上限）
- ・助成件数 61件
- ・助成額 11,645,000円
- ・対象品目 育児用品、時短家電、省エネ家電

県のえひめ人口減少対策総合交付金 5,822,500円を充当しています。

(11) 若年出産世帯奨学金返還支援事業 4,884,000 円 ※県・市町連携事業

子育てにおける経済的負担の大きい 35 歳以下の世帯へ助成を行いました。

- ・助成単価 1 人あたり 20 万円
- ・助成件数 26 件
- ・助成額 4,884,000 円
- ・対象経費 奨学金返還金

県のえひめ人口減少対策総合交付金 2,442,000 円を充当しています。

(12) 子育て世帯・若年世帯住替え助成事業 5,000,000 円

子育て世帯及び若年世帯の町内への定住及び転入を促進するため、39 歳以下の世帯又は小学生以下の子どもがいる世帯へ町内で住宅を取得するために必要な費用の助成を行いました。

- ・助成単価 1 世帯あたり 20 万円 (対象経費の 1/10)
- ・助成件数 25 件
- ・助成額 5,000,000 円
- ・対象経費 新築費用、住宅購入費用

企業版ふるさと応援寄附金 300,000 円を充当しています。

(13) 親・子世帯近居・同居応援事業 10,187,000 円

子世帯の町内への定住及び転入を促進するため、39 歳以下で小学生以下の子どもがいる世帯へ町内に住む親世帯の近くに住替える際の費用の助成を行いました。

- ・助成単価 1 世帯あたり 100 万円 (対象経費の 1/20) (解体がある場合は +50 万円)
- ・助成件数 10 件
- ・助成額 10,187,000 円
- ・対象経費 新築費用、建売・中古住宅購入費用、解体費用

(14) 母子保健衛生費補助金返還金 51,000 円

令和 5 年度母子保健衛生費補助金の超過交付分を返還しました。

5 子育て用品購入費助成事業 (03-02-01-10) 6,476,180 円

安心して子どもを産み育てられる環境を整え、福祉の向上及び少子化対策を推進するため、子育て世帯の経済的支援を図ることを目的に、次の事業に取り組みました。

(1) 砥部町子育て用品購入費助成事業 3,484,680 円

満 1 歳未満の乳児の保護者を対象に、乳児 1 人につき、1 か月あたり 3 千円相当の子育て用品購入費を助成しました。

- ・助成件数 98 件 (出生 89 件 転入 9 件)
- ・助成額 3,420,000 円
- ・事務費 64,680 円 (用品券作成代)
- ・対象品目 オムツ用品、授乳用品、離乳食用品、お風呂用品

(2) 愛顔の子育て応援事業 2,991,500 円

県、市町及び県内企業が連携して、第2子以降の乳児（1歳未満児対象）を養育する世帯を対象に、5万円を上限に紙おむつ購入券（額面千円・50枚綴り）を交付しました。

- ・助成件数 63件（出生60件 転入3件）
- ・助成額 2,854,000円
- ・事務費 137,500円（購入券作成代）
- ・対象製品 県内企業生産の紙おむつ（3社・4製品）

県の愛顔の子育て応援事業費補助金1,635,500円を充当しています。

6 地域少子化対策強化事業費（03-02-01-16） 2,247,155 円【主要施策①】

喫緊の課題である少子化問題に対応するため、次の事業を実施しました。

(1) 結婚新生活支援事業 2,005,000 円 ※県・市町連携事業

新たに婚姻した夫婦を対象に婚姻に伴う新生活を経済的に支援するため、婚姻日の年齢及び所得に応じて、住宅の取得費用や賃借費用等の助成を行いました。

- ・助成単価

夫婦共に29歳以下で、夫婦の合算所得が500万円未満の世帯	80万円（上限）
夫婦共に29歳以下で、夫婦の合算所得が500万円以上660万円未満の世帯	40万円（上限）
夫婦共に39歳以下で夫婦の合算所得が500万円未満の世帯	30万円（上限）

- ・助成件数 5件
- ・助成額 2,005,000円
- ・対象経費 住宅の取得費用、リフォーム費用、賃借費用、引越し費用、省エネ・時短家電購入費用

県の地域少子化対策重点推進事業費補助金885,000円、えひめ人口減少対策総合交付金530,166円を充当しています。

(2) 松山圏域連携婚活支援事業 242,155 円

松山圏域の3市3町が連携して、未婚・晩婚化対策に取り組むため、独身男女がよきパートナーと巡り合う機会を提供することを目的に、以下の事業を実施しました。

- ・事業費 負担金242,155円
- ・事業委託先 一般社団法人愛媛県法人会連合会（えひめ結婚支援センター）
- ア 市町連携イベント事業 2日かけて複数の市町を周遊する婚活イベントを2回開催
- イ 市町別婚活イベント事業 3市3町ごとで地域色を活かした婚活イベントを開催
- ・イベント名 3市3町出合い・交流支援 with 砥部
- ・開催日 令和6年12月21日
- ・内容 イベント前後 専用SNSで交流
イベント当日 ニュースポーツ体験、スイーツ体験、プロフィールトーク、フリータイム、マッチング
- ・参加人数 男性12人、女性11人
- ・カップリング数 4組（うち砥部町男性1名）

県のえひめ人口減少対策総合交付金121,077円を充当しています。

7 児童手当費（03-02-01-17） 320,189,084 円

令和6年10月分より高校生年代まで（18歳到達後の最初の3月31日まで）の児童を養育している者に児童手当を支給しました。

(1) 児童手当（支給月額）

○児童手当法改正前（令和6年4月～9月分）

- ・3歳未満 15,000円
- ・3歳以上小学校修了前（第1子・第2子） 10,000円
- ・3歳以上小学校修了前（第3子以降） 15,000円
- ・中学生 10,000円

単位：人、円

区分		6年度 (改正前)	5年度	4年度	3年度
3歳未満	支給延人数	2,278	3,556	3,260	3,320
	支給金額	34,170,000	53,340,000	48,900,000	49,800,000
3歳以上小学校修了前 (第1子・第2子)	支給延人数	8,481	13,149	13,436	13,574
	支給金額	84,810,000	131,490,000	134,360,000	135,740,000
3歳以上小学校修了前 (第3子以降)	支給延人数	1,572	2,328	2,405	2,526
	支給金額	23,580,000	34,920,000	36,075,000	37,890,000
中学生	支給延人数	3,664	5,568	6,097	6,365
	支給金額	36,640,000	55,680,000	60,970,000	63,650,000
合計	支給延人数	15,995	24,601	25,198	25,785
	支給金額	179,200,000	275,430,000	280,305,000	287,080,000

○児童手当法改正後（令和6年10月～）

- ・3歳未満（第1子・第2子） 15,000円
- ・3歳以上高校生年代まで（第1子・第2子） 10,000円
- ・第3子以降 30,000円

単位：人、円

区分		6年度（改正後）	
第1子 第2子	3歳未満	支給延人数	863
		支給金額	12,945,000
	3歳以上高等学校卒業年代まで	支給延人数	7,972
		支給金額	79,720,000
第3子以降 (高等学校卒業年代まで)		支給延人数	1,478
		支給金額	44,340,000
合計		支給延人数	10,313
		支給金額	137,005,000

(2) 特例給付（支給月額）

○児童手当法改正前（令和6年4月～9月分）

・所得制限限度額以上（一律）5,000円

単位：人、円

区分		6年度 (改正前)	5年度	4年度	3年度
3歳未満	支給延人数	11	40	54	103
	支給金額	55,000	200,000	270,000	515,000
3歳以上小学校修了前 (第1子・第2子)	支給延人数	163	162	190	227
	支給金額	815,000	810,000	950,000	1,135,000
3歳以上小学校修了前 (第3子以降)	支給延人数	12	5	28	39
	支給金額	60,000	25,000	140,000	195,000
中学生	支給延人数	48	78	108	180
	支給金額	240,000	390,000	540,000	900,000
合計	支給延人数	234	285	380	549
	支給金額	1,170,000	1,425,000	1,900,000	2,745,000

国の児童手当負担金 235,162,996円、県の児童手当負担金 41,006,665円を充当しています。

(3) 児童手当事務費

- ・消耗品費 10,000円
- ・印刷製本費 78,760円
- ・手数料（資外） 22,000円
- ・委託料（資外） 2,475,000円
- ・時間外勤務手当 12,324円

国の子ども・子育て支援事業費補助金 2,519,324円を充当しています。

(4) 児童手当交付金返還金 216,000円

令和5年度児童手当交付金の超過交付分を返還しました。

8 保育所費：麻生・広田保育所費（03-02-02-03～05及び51、52）

(1) 町内保育所 238,229,294円（人件費を含む。）

育児と就労の両立を支援する上で、また、少子化対策の一環としても保育所が果たす役割は重要です。保護者が安心して子どもを預けられることはもとより、園児数の増加に関わらず保育の質の維持・向上に努めました。

また、土曜保育、延長保育の他、利用ニーズの多い一時保育（一時預かり事業（一般型））を、麻生保育所で実施しました。

○延長保育利用状況（延べ利用人数）

- ・麻生保育所 1,152人 広田保育所 10人

○一時保育利用状況（延べ利用人数）

- ・麻生保育所 941人

○保育所運営費の状況

	運営費	内 訳 (続く)				
		人件費			消耗品費	光熱水・燃料費
		一般職	会計年度 任用職員	その他 (報酬)		
麻生保育所	216,323,926	127,111,010	61,888,034	112,000	3,213,907	5,647,755
広田保育所	21,110,912	17,190,098	2,621,041		147,885	343,378
保育所共通費	794,456				16,983	33,092
計	238,229,294	144,301,108	64,509,075	112,000	3,378,775	6,024,225

単位：円，人

	内 訳 (続き)				特定財源	園児数 (6年度末)
	賄材料費	管理委託費	工事・修繕費	その他		
麻生保育所	14,156,022	410,740	352,682	3,431,776	/	176
広田保育所	55,772	121,880	52,560	578,298		5
保育所共通費				744,381		
計	14,211,794	532,620	405,242	4,754,455	29,143,127	181

※人件費、一般職・会計年度任用職員は、職員の給料・報酬・職員手当等・共済費・旅費の合計。

保育所使用料 14,363,000 円、保育所延長保育使用料 173,700 円、一時保育保護者負担金 1,252,200 円、保護者負担金（傷害保険、スポーツ振興センター保護者負担金）44,740 円、広域入所施設型給付費負担金 1,424,980 円、保育所給食材料費負担金 7,162,015 円、国の施設型給付費負担金（子どものための教育・保育給付交付金）1,236,772 円、子ども・子育て支援交付金（一時保育）1,261,000 円、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（保育士研修）8,000 円、デジタル田園都市国家構想交付金 562,936 円、県の施設型給付費負担金（子どものための教育・保育給付交付金）471,784 円、子ども・子育て支援事業費補助金（一時保育）1,182,000 円を充当しています。

(2) 保育支援員等配置 7,937,414 円（再掲）

保育所で生活するうえで、支援を必要とする児童のため、加配保育士等を配置しました。

- ・麻生保育所 生活支援員 3 人

(3) 保育業務支援システム導入 1,193,192 円（再掲）【主要施策①】

保護者の利便性向上と職員の業務効率化により保育の質の向上を図るため、保育所・こども園・幼稚園へ保育業務支援システムを導入しました。

- ・麻生保育所 システム導入費用・利用料、タブレット端末 16 台

(4) 財産売払（収入） 418,000 円

対象園児の不在に伴い、不用となった送迎バスを売却しました。

- ・広田保育所送迎バス 418,000 円

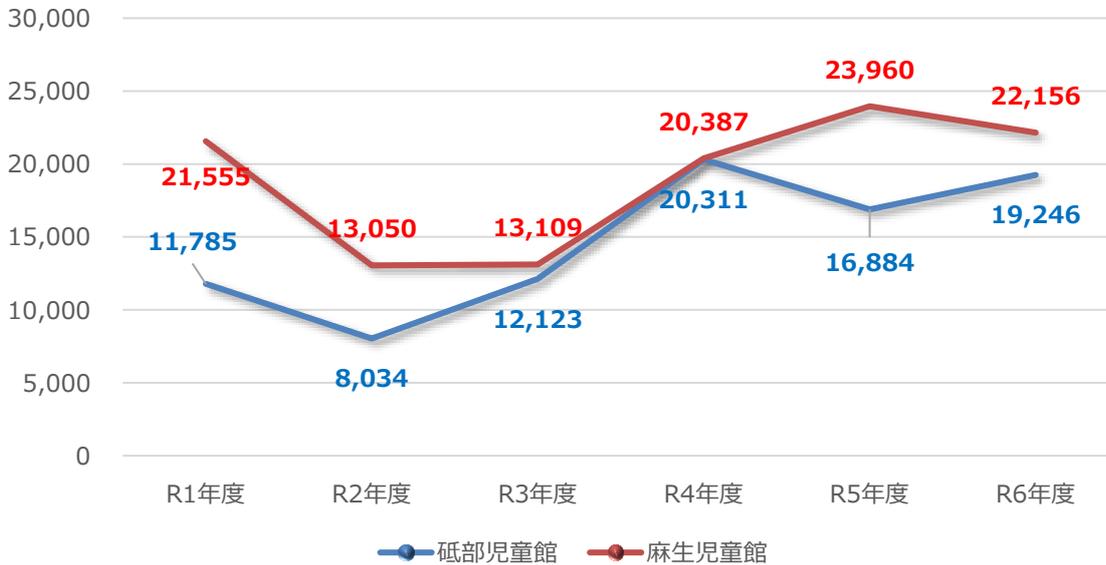


9 砥部・麻生児童館費（03-02-03-01~02 及び 52）

事業費 3,228,687 円 人件費 22,964,459 円

就学前の幼児や児童の子育て支援施設、放課後児童対策の拠点として児童館の管理運営を行い、児童の健全育成に努めました。

児童館年間利用者数（延べ人数）



各児童館の運営費

○各児童館の運営費

単位：円

施設名	運営費	内 訳				特定財源
		人件費	消耗品費	光熱水・燃料費	その他	
砥部児童館	11,048,093	9,989,609	364,311	264,892	429,281	36,000
麻生児童館	15,145,053	12,974,850	271,271	718,178	1,180,754	
計	26,193,146	22,964,459	635,582	983,070	1,610,035	

※人件費は、報酬、期末手当、費用弁償の合計

光熱水費等地元区負担金 36,000 円を充当しています。



10 認定こども園費：砥部こども園費（03-02-06-01 及び 51、52）

(1) 町立認定こども園 123,576,334 円（人件費含む）

砥部こども園では、保護者が安心して子どもを預けられるよう、保育の質の維持・向上に努めました。

また、土曜保育、延長保育の他、在園時以外も利用できる一時保育事業（一時預かり事業（一般型））を実施しました。

○一時預かり事業（延べ利用人数）：一般型 613 人（幼稚園型 8 人）

○延長保育利用状況（延べ利用人数）：518 人

○こども園管理費の状況

	運営費	内 訳（続く）				
		人件費			消耗品費	光熱水・燃料費
		一般職	会計年度任用職員	その他(報酬)		
砥部こども園	123,576,334	69,614,317	39,842,722	164,000	1,287,736	2,465,687

単位：円，人

	内 訳（続き）				特定財源	園児数 (6 年度末)
	賄材料費	管理委託費	工事・修繕費	その他		
砥部こども園	6,427,651	394,680	820,890	2,558,651	10,421,283	80

※人件費、一般職・会計年度任用職員は、職員の給料・報酬・職員手当等・共済費・旅費の合計。

認定こども園使用料 3,960,000 円、延長保育使用料 81,300 円、一時保育保護者負担金 567,600 円、日本スポーツ振興センター保護者負担金 16,200 円、給食材料費負担金 2,970,975 円、国の子ども・子育て支援交付金（一時保育）1,273,000 円、子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金（保育士研修）8,000 円、デジタル田園都市国家構想交付金 351,208 円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（一時保育）1,193,000 円を充当しています。

(2) 保育支援員等配置 10,573,862 円（再掲）

砥部こども園で生活するうえで、支援を必要とする児童のため、加配保育士 3 人、生活支援員 1 人を配置しました。

(3) 保育業務支援システム導入 635,096 円（再掲）【主要施策①】

保護者の利便性向上と職員の業務効率化により保育の質の向上を図るため、保育所・こども園・幼稚園へ保育業務支援システムを導入しました。

・砥部こども園 システム導入費用・利用料、タブレット端末 8 台



第2 幼稚園

1 宮内幼稚園費（10-04-01-02 及び 51、52）

(1) 町立幼稚園 45,258,614 円（人件費を含む。）

心豊かで、たくましい砥部の子どもを育てることを目標に、楽しい遊びや仲間づくりを通して豊かな人間性の芽生えを培う教育を実践しました。

また、父母の就労等のため 14 時以降も保育が必要な在園児を対象に預かり保育を実施しました。

○一時預かり事業（幼稚園型）利用延べ人数

・宮内幼稚園 2,164 人

○幼稚園管理費の状況

	運営費	内 訳（続く）			
		人件費		消耗品費	光熱水・燃料費
		一般職	会計年度任用職員		
宮内幼稚園	45,258,614	32,824,246	7,817,551	1,039,960	915,930

単位：円，人

	内 訳（続き）			特定財源	園児数 (6 年度末)
	管理委託費	工事・修繕費	その他		
宮内幼稚園	279,017	438,342	1,943,568	1,867,196	42

※人件費、一般職・会計年度任用職員は、職員の給料・報酬・職員手当等・共済費・旅費の合計。

預かり保育利用料 210,700 円、日本スポーツ振興センター保護者負担金 8,400 円、国の子ども・子育て支援交付金（一時預かり）739,000 円、デジタル田園都市国家構想交付金 217,096 円、県の子ども・子育て支援事業費補助金（一時預かり）692,000 円を充当しています。

(2) 学校生活支援員配置 332,729 円（再掲）

支援を要する園児が豊かな園生活を送れるよう、学校生活支援員を 1 人配置しました。

・宮内幼稚園 1 人

(3) 保育業務支援システム導入 434,192 円（再掲）【主要施策①】

保護者の利便性向上と職員の業務効率化により保育の質の向上を図るため、保育所・こども園・幼稚園へ保育業務支援システムを導入しました。

・宮内幼稚園 システム導入費用・利用料、タブレット端末 5 台

(4) 財産売却（収入） 483,890 円

旧麻生幼稚園の閉所に伴い、不用となった送迎バスを売却しました。

・旧麻生幼稚園送迎バス 483,890 円





町民課

重点施策

人々の生活を支えるため、持続可能な行財政運営の実現
 快適な住民生活を支える社会基盤の実現
 豊かな自然と共に生きる環境整備の実現

主要施策

①健全な自治体経営の推進 ②住環境の整備 ③自然環境の保全 ④循環型社会の推進

第1 戸籍住民基本台帳

1 戸籍住民基本台帳費（02-03-01-01） 23,586,866 円

住民票、戸籍等の正確な作成管理を図るとともに、適正な証明発行に努めました。

(1) 委託金

単位：円

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
中長期在留者住居地届出等事務費（国委託金）	189,000	181,000	180,000	8,000
人口動態調査費（県委託金）	29,008	29,526	27,651	▲518
旅券事務費市町交付金（県委託金）	191,600	256,600	312,548	▲65,000
計	409,608	467,126	520,199	▲57,518

(2) 人口・世帯数及び本籍数・本籍人口数（各年3月31日現在）

単位：人、世帯、戸籍

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
人口（外国人含む）	20,085	20,280	20,468	▲195
世帯数（外国人含む）	9,587	9,557	9,536	30
本籍数	9,022	9,112	9,140	▲90
本籍人口数	21,639	21,917	22,084	▲278

(3) 戸籍届出件数（ ）内は住民基本台帳異動件数

単位：件

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
出生	143(89)	174(109)	185(104)	▲31(▲20)
死亡	393(306)	348(271)	366(284)	45(35)
婚姻	206	191	215	15
離婚	63	54	62	9

(4) 各種証明書発行件数及び手数料 ()内は電話予約件数

単位：件、円

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
戸籍・除籍発行件数	4,708	6,523	6,332	▲1,815
戸籍附票発行件数	998	998	1,002	0
戸籍・除籍発行件数(広域交付 ¹)	1,282	98		1,184
住基証明発行件数	7,810(6)	8,020(4)	8,413(3)	▲210(2)
印鑑登録件数	552	694	664	▲142
印鑑登録証明書発行件数	4,536(2)	4,819(1)	4,669(2)	▲283(1)
その他証明件数	183	235	221	▲52
住民基本台帳閲覧件数	89	174	84	▲85
件数計	20,158	21,561	21,385	▲1,403
手数料合計	6,742,150	7,312,100	7,057,200	▲569,950

(5) コンビニ交付サービス発行件数

単位：件

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
戸籍証明書	321	456	257	▲135
戸籍の附票の写し	36	45	35	▲9
住民票の写し	1,572	1,465	942	107
印鑑登録証明書	962	902	514	60
課税・所得証明書	234	210	118	24
計	3,125	3,078	1,866	47

※6年度発行件数の内、町外及び窓口時間外の発行件数

町外 1,457件 交付割合 46.6% (内、県内 1,198件、県外 259件)

窓口時間外 1,732件 交付割合 55.4%

(6) 旅券申請件数

単位：件

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
10年旅券	141	156	73	▲15
5年旅券	97	102	45	▲5
子ども旅券	6	14	3	▲8
計	244	272	121	▲28

(7) 基幹系システム改修費 21,098,000円

氏名の振り仮名法制化対応のため、戸籍システム及び住民基本台帳システム等の改修を行いました。

- ・氏名の振り仮名法制化対応による戸籍システム改修委託料 10,010,000円

国の社会保障・税番号制度システム整備費補助金 10,010,000円を充当しています。

【令和5年度繰越】

- ・氏名の振り仮名法制化対応による住民基本台帳システム等改修委託料 11,088,000円

国の社会保障・税番号制度システム整備費補助金 11,088,000円を充当しています。

¹ 令和6年3月1日から今まで本籍地のみに限定されていた戸籍証明書等の交付が、本籍地以外の市区町村窓口においても可能となりました。

2 個人番号カード交付事業費（02-03-01-02） 307,464 円

国が推進するデジタル社会の実現に向け、その基盤となるマイナンバーカードの交付率向上を目指すため、交付事務に携わる専任職員を配置し、休日窓口の開設やマイナアシスト²を活用したオンライン申請サポートを実施するなど、マイナンバーカードの交付推進事業を実施しました。

(1) マイナンバーカード交付推進事業【主要施策①】

ア 休日窓口の開設

- ・ 休日窓口におけるマイナンバーカード交付枚数 32 枚

※実施日：4月から6月、8月、10月、12月、2月及び3月の第1日曜日
(5月のみ第2土曜日に実施)

イ オンライン申請サポート事業

マイナンバーカードの作成に必要な顔写真撮影から申請手続きまでお手伝いする申請サポートを町内福祉施設や窓口で実施しました。

- ・ 出張申請サポート写真撮影サービス受付数 70 件
- ・ 窓口申請サポート写真撮影サービス受付数 632 件
- ・ マイナアシスト借上料 128,040 円

国の個人番号カード交付事務費補助金 307,464 円を充当しています。

(2) マイナンバーカード申請・交付実績

単位：件、人、%

区 分	6 年度	5 年度	27~4 年度	累 計	増減(6-5)
マイナンバーカード申請件数	1,738	676	17,754	20,168	1,062
マイナンバーカード交付件数	1,502	1,630	15,182	18,314	▲128
人口（前年度 1 月 1 日時点の人口）	20,375	20,510	20,494		▲135
人口に対する申請率	8.53	3.30	86.63	98.98	5.23
人口に対する交付率	7.37	7.95	74.08	89.88	▲0.58

※各数値は地方公共団体情報システム機構提供データを参照



² マイナンバーカードの申請を支援するタブレット端末で、QRコードの読み取りから顔写真の撮影、申請内容の確認と申請をワンストップでサポートするものです。

第2 環境衛生費

1 環境衛生総務費（04-01-03-01） 136,394,559 円

環境衛生係全般の事務費及び火葬場運営事業並びに簡易給水施設管理事業です。

(1) 環境総務費 41,259 円

- ・法規等追録費 7,260 円
- ・愛媛県自然保護協会費 8,000 円
- ・その他消耗品 25,999 円
- ・墓地改葬許可業務(改葬許可件数 6 件)

(2) 広域斎場運営事業 93,053,000 円

- ・伊予消防等事務組合負担金 93,053,000 円
うち、斎場運営経費割 8,070,000 円
斎場建設割 84,983,000 円

一般単独事業債 56,300 千円を充当しています。

(3) 簡易給水施設管理事業 43,300,300 円 【主要施策②】

- ・広田地域簡易給水施設等改良工事 23,158,000 円
高市出渡瀬県条例水道施設改良工事設計委託 3,872,000 円
仙波ドンダ簡易給水施設改良工事 19,286,000 円
- ・砥部町飲料水供給施設等整備（大平区） 19,600,000 円
- ・広田地域簡易給水施設水質検査(定期的) 539,000 円
- ・職員腸内細菌検査 3,300 円

簡易給水施設整備事業地元負担金 463,160 円、過疎対策事業債 22,600 千円を充当しています。

2 犬の危険防止対策費（04-01-03-02） 570,402 円

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射済票交付事務を実施しました。また、9月13日から18日間、庁舎ロビーで動物愛護に関するパネル展を開催しました。



庁舎ロビーでのパネル展の様子

犬の登録手数料 186,000 円、狂犬病予防注射済票交付手数料 438,350 円、県の犬・猫引取業務交付金 5,000 円を充当しています。

(1) 畜犬登録 116,293 円

○登録状況 単位：件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度
年度未登録数	1,101	1,149	1,252	1,222
年度中増減	▲48	▲103	30	17
登録	33	56	78	87
他市町より変更登録	11	21	31	25
他市町へ変更登録	▲11	▲11	▲7	▲7
死亡・引取等	▲81	▲169	▲72	▲88

- ・印刷製本費(注射済票) 19,800 円
- ・委託料(注射済票、鑑札交付事務等) 96,390 円
- ・電子申請システム手数料 103 円

(2) 狂犬病予防注射実施事業 85,000 円

○予防注射実施状況(集合注射を含む) 単位：件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
接種件数	749	762	773	▲13

- ・郵送料(集合注射案内ハガキ郵送) 85,000 円

(3) 犬猫の拾得及び飼い主放棄 133,809 円

動物愛護管理法により、周囲の生活環境が損なわれているなど相当の理由が認められる場合に犬や猫の引取りを行っています。引き取るまでには、次の飼い主を見つけてもらうなど適正な管理に努めています。

○拾得等の状況 単位：件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
愛護センター送致	1	12	0	▲11
犬	1	2	0	▲1
うち所有者からの引取り	0	2	0	▲2
猫	0	10	0	▲10
うち所有者からの引取り	0	8	0	▲8

- ・公用車の管理費(燃料費、車検整備料、任意・自賠責保険料) 121,829 円
- ・消耗品費(保護犬・猫餌代) 11,980 円

(4) 猫の不妊去勢手術補助事業 225,300 円

○補助事業による手術実施状況 単位：件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
猫	26	35	53	▲9
不妊手術	11	23	29	▲12
去勢手術	15	12	24	3
飼い主のいない猫	42	37	37	5
不妊手術	21	28	15	▲7
去勢手術	21	9	22	12
合 計	68	72	90	▲4

- ・令和 6 年度補助金合計 225,300 円
(手術額の 1/2 を補助。飼い猫 1 件 2,000 円、飼い主のいない猫 1 件 5,000 円を上限。)



耳先のV字カットは手術済の証

(5) 地域猫対策支援事業助成事業 10,000 円

公益社団法人愛媛県獣医師会が実施する野良猫（地域猫）対策支援事業に対して 10,000 円を助成し、地域猫活動を推進しました。

○実施状況 単位：件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
支援件数（頭数）	4	2	0	2

3 温暖化対策事業費（04-01-03-03） 1,535,993 円

(1) 廃食用油回収事業

バイオディーゼル燃料としての再利用促進やごみ減量化を図るため、家庭から排出される食用油の回収を行いました。回収した廃食用油は、1 kg 20 円でリサイクル業者に売却しました。

○廃食用油回収状況 単位：kg、円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
回収量（kg）	464	1,216	1,724	2,284	1,918
売却益（円）	9,280	24,320	34,480	45,680	38,360

※回収場所 役場、中央公民館、ひろた交流センター、DCM 砥部店、DCM 宮内店

廃食用油売払代金 9,280 円を充当しています。

(2) 温室効果ガス排出量調査

第 4 次砥部町地球温暖化対策実行計画に基づき、平成 25 年度を基準年度として追跡調査を実施しました。町施設全体の CO₂排出量は 3,819t-CO₂となり、前年度比で約 3.85%削減しました。引き続き、エアコン設定温度の適切な管理や公用車のエコドライブなど、計画に沿った温室効果ガス排出量の削減に向けて取り組みます。

○温室効果ガス排出量 単位：t-CO₂

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
温室効果ガス排出量	3,819	3,972	4,687	3,889	5,135

(3) 砥部町ノーマイカー通勤デー

ノーマイカー通勤デー実施要領に基づき、趣旨に賛同する職員を対象に、毎月第 3 水曜日をノーマイカー通勤デーと設定し、通勤時のマイカー使用の自粛を呼び掛けました。

○温室効果ガス削減状況 単位：kg-CO₂

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
温室効果ガス削減量	291	176	208	289	381

(4) 住宅用新エネルギー機器設置費補助事業 1,500,000 円【主要施策③】

住民の省エネ意識を高め、環境に優しいまちづくりを推進するため、令和元年度から住宅用新エネルギー機器設置費補助事業を行っています。この事業は、家庭用リチウムイオン蓄電池システムまたは家庭用燃料電池システムの設置者に対して、上限 10 万円の補助金を交付するものです。令和 6 年度は、15 件、総額 150 万円の補助金を交付しました。

・家庭用リチウムイオン蓄電池システム 15 件 1,500,000 円

県の新エネルギー関連設備等導入促進支援事業費県補助金 499,995 円を充当しています。

(5) 地球温暖化防止啓発事業

地球温暖化防止啓発のため、松山圏域連携中枢都市圏合同イベントの環境フェアをアイテムえひめで開催（2日間）しました。今後も継続して啓発活動を実施します。



環境フェア開催の様子



(6) 環境学習会 35,993 円【主要施策③】

児童への環境教育のため、町内各小学校へ出向き、環境学習 SDGs 出前講座を行いました。子ども達は、講師の話に興味深く聞き、真剣に学ぶ様子が見られました。引き続き環境教育増進のため講座内容の充実に努めます。

- ・ 消耗品 14,993 円
- ・ 報償金 21,000 円

○実施状況

実施日	学校名
令和 6 年 10 月 30 日 (水)	麻生小学校
令和 6 年 12 月 16 日 (月)	砥部小学校
令和 7 年 1 月 30 日 (木)	宮内小学校
令和 7 年 2 月 28 日 (金)	広田小学校



環境学習 SDGs 出前講座の様子

4 生活排水対策費 (04-01-03-04) 2,819,300 円

生活排水全般の事務費及び合併処理浄化槽設置整備並びに簡易下水道施設維持管理事業費です。

(1) 河川水質検査 355,300 円

水質汚濁防止法に基づき愛媛県が策定する水質測定計画に則り、重信川 1 地点、重信川水系支流 9 地点及び肱川水系支流 3 地点の計 13 地点で、河川水質検査を実施しました。

令和 6 年度の検査では、環境基準(BOD:生物化学的酸素要求量 $2\text{mg}/\ell$ 以下)³ を超える箇

³ 一般的な水質基準のひとつで水中の有機物を微生物が酸化分解するために必要な酸素の量を表し、値が大きいほど水質が悪く、溶解酸素量が低下すれば水が腐敗し悪臭の発生原因となる。

所は1箇所ありましたが、これは冬季の河川水量が少ないことが要因とされます。引き続き適正な管理を進めてまいります。

・令和6年度の水質測定実施日 夏季:9月12日、冬季:2月13日

○町内河川の水質状況 <BOD測定値>

単位: mg/ℓ

区 分	6年度		5年度		4年度		
	夏季	冬季	夏季	冬季	夏季	冬季	
砥部川	千里口	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	1.5	0.6
	断層口	0.5未満	0.6	0.8	0.6	0.7	0.8
	幸田橋	0.8	1.4	0.6	1.3	1.2	1.7
	頭ノ向橋	0.7	1.7	0.5	2.0	1.1	1.7
	柳瀬橋	1.0	1.7	0.9	1.5	1.1	1.6
	麻生橋	0.9	1.3	0.8	0.9	1.1	1.6
和田川	宮川橋	0.7	1.7	1.3	2.4	1.1	1.9
村川	村川橋	1.3	2.8	0.6	2.1	1.2	0.8
御坂川	目崎橋	0.8	1.1	0.7	1.0	1.0	4.3
重信川	新重信橋	1.1	1.1	0.9	1.1	0.8	1.5
玉谷川	玉谷	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.8	0.6
	相生橋	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.6	0.5未満
高市川	谷	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5未満	0.5	0.5

(2) 肱川水系の清流保全事業 11,000円

河川の浄化と河川環境の保全を推進する目的として、肱川流域5市町、国及び愛媛県で肱川流域清流保全推進協議会を構成しています。例年、神の森公園道の駅付近河川敷地内で清掃活動を実施しています。

・肱川流域清流保全推進協議会負担金 11,000円

(3) 生活排水設備改修事業 385,000円

・南ヶ丘マンホール取替工事 385,000円

(4) 浄化槽設置整備事業 2,068,000円 【主要施策②】

対象地域において、単独処理浄化槽又はくみ取り槽から合併処理浄化槽への入れ替えに対し、3件、総額206万8千円の補助金を交付しました。

<補助金上限額>

- 本体工事 5人槽 332,000円、7人槽 414,000円、10人槽 548,000円
- 配管工事加算 300,000円
- 撤去工事加算 単独処理浄化槽 120,000円、くみ取り槽 90,000円

国の浄化槽設置整備事業費交付金 689,000円、県の浄化槽設置整備事業費補助金 344,000円を充当しています。

5 その他

(1) 不用入れ歯等リサイクル活動

町内の歯科医院や庁舎等へ不用入れ歯等の回収ボックスを設置し、日本入れ歯リサイクル協会の活動に協力しています。

入れ歯等に使用されている貴金属の売却益は、町に40%が寄附され福祉事業に充てられます。また、残りは協会の経費を差し引いて、日本ユニセフに寄附されます。

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
入れ歯回収量(g)	365	939	841	▲574
寄附受入額(円)	34,112	20,194	9,852	13,918

(2) 公害等苦情対応

令和6年度に対応した苦情処理は62件です。

住民から寄せられる公害苦情は、環境基本法で定義されている公害(典型7公害)のほか、雑草の繁茂や野焼きなど、生活環境の保全に関する相談など多岐にわたっています。

○典型7公害 単位：件

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
騒音	1	0	1	1
悪臭	6	3	1	3
合 計	7	3	2	4

※上記以外の典型7公害は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、振動、地盤沈下です。

○典型7公害以外 単位：件

区 分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
雑草の繁茂	24	33	15	▲9
野焼き	6	6	6	0
犬猫の飼育方法	12	5	5	7
その他	13	4	7	9
合 計	55	48	33	7

※その他は浄化槽やゴミに関することなどです。

第3 清掃総務費

1 清掃総務費(04-02-01-01) 10,248,435円

廃棄物処理手数料10,150,799円、雑入97,636円を充当しています。

(1) 町内一斉清掃 295,319円

豊かな緑に包まれた「清流とほたる、砥部焼とみかんの町」砥部町を美しく清潔に保持することを目指し、町民総参加による町内の一斉清掃を実施しました。

- ・実施日 7月7日(日)
- ・総収集量 15.74ト

(2) 家庭ごみ有料化事業 8,847,410円【主要施策④】

ごみの減量とリサイクルの推進、ごみ処理費用の負担公平化、適正処理費用の確保を目的に指定袋制による家庭ごみの有料化を実施しています。

- ・町指定ごみ袋作成費用 6,070,790円

・町指定ごみ袋販売手数料 2,776,620 円

○町指定ごみ袋販売状況

単位：枚

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
可燃ごみ用指定袋 (大)	356,030	346,520	361,890	9,510
" (中)	325,000	318,000	315,000	7,000
" (小)	122,500	116,500	106,010	6,000
雑ごみ用指定袋 (大)	12,305	11,200	11,700	1,105
" (中)	13,410	13,100	14,300	310
" (小)	10,000	10,700	11,500	▲700
" (極小)	2,200	5,020	-	▲2,820

(3) ごみ減量化資源化推進事業 736,116 円 【主要施策④】

ア 電気式生ごみ処理機等購入事業(1号事業) 231,100 円

生ごみ処理容器 1 基当たり 3,500 円、電気式生ごみ処理機 1 基当たり 2 万円を限度とし、購入価格の 2 分の 1 以内の額で補助金を交付しました。

○電気式生ごみ処理容器設置状況

単位：基、円

区 分		6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
生ごみ処理容器	基 数	3	2	9	1
	補助金	10,200	3,800	22,400	6,400
電気式生ごみ処理機	基 数	12	7	1	5
	補助金	220,900	137,800	20,000	83,100

イ ごみ集積場所整備事業(2号事業) 167,300 円

行政区又は団体が、家庭用ごみ集積場の清潔を保つため整備する場合に、1 件につき 4 万円を限度とし、事業費の 2 分の 1 以内の額で補助金を交付しました。

○ごみ集積場所整備状況

単位：件、円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
整備数	5	10	10	▲5
補助金	167,300	269,500	395,700	▲102,200
累積整備数	291	286	276	

ウ 資源化促進事業(3号事業) 171,156 円

資源化促進事業実施団体の行う資源ごみ回収に対し、要綱で定める資源化物 1 kg 当たり 4 円の補助を行い 42,789kg の資源化が図れました。

○資源化活動状況

単位：kg、円

区 分		6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
アルミ缶	資源化量	1,872	2,058	1,941	▲186
	補助金	7,488	8,232	7,764	▲744
スチール缶	資源化量	112	122	121	▲10
	補助金	448	488	484	▲40
新聞	資源化量	16,513	17,536	23,960	▲1,023
	補助金	66,052	70,144	95,840	▲4,092
段ボール	資源化量	12,496	16,481	20,436	▲3,985
	補助金	49,984	65,924	81,744	▲15,940
雑誌	資源化量	11,143	15,610	16,227	▲4,467
	補助金	44,572	62,440	64,908	▲17,868
古布	資源化量	653	733	718	▲80
	補助金	2,612	2,932	2,872	▲320

<実施団体>

アスパラ、コンチェルト、大畑グリーンクラブ、麻生小学校、広田小学校、南ヶ丘白梅会、銅いきいきサロン、八瀬自治会、さかえ老人クラブ栄寿会、川井営農組合

エ 廃品回収事業(4号事業) 166,560円

小・中学校 PTA の行う資源ごみ回収に対し、要綱で定める資源化物 1kg 当たり 4 円の補助を行い 41,640kg の資源化が図れました。

○資源化活動状況

単位：kg、円

区分		6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
新聞	資源化量	19,740	22,040	22,680	▲2,300
	補助金	78,960	88,160	90,720	▲9,200
段ボール	資源化量	8,470	8,120	8,758	350
	補助金	33,880	32,480	35,032	1,400
雑誌	資源化量	10,630	10,480	10,350	150
	補助金	42,520	41,920	41,400	600
古布	資源化量	2,800	2,380	3,250	420
	補助金	11,200	9,520	13,000	1,680

<実施団体>
宮内小学校 PTA
砥部小学校 PTA
砥部中学校 PTA



砥部中学校 PTA 廃品回収の様子

(4) 不法投棄監視パトロール

不法投棄が多発する現場には、監視カメラによる監視や看板を設置するなど、不法投棄の抑制に努めました。

○不法投棄撤去状況

区分		6年度	5年度	4年度	増減(6-5)	
投棄者による撤去件数(件)		0	0	0	0	
投棄者が不明で職員が回収したもの	家電4品目	冷蔵庫(台)	3	1	2	2
		洗濯機(台)	0	0	2	0
		エアコン(台)	0	0	3	0
		テレビ(台)	3	2	19	1
	その他(kg)	370	571	890	▲201	



家電等が不法投棄された様子

(5) 食品ロス対策 21,000 円 【主要施策④】

外食産業から排出される食べ残し等による食品ロスの削減を推進するため、「おいしい食べきり運動」を実践する飲食店、宿泊施設等を募集し、食べきりの推進に向けた意識啓発に努めました。また、町内各小学校において食品ロスをテーマにした環境学習 SDGs 出前講座を実施し、学習機会の充実に努めました。

・報償費 21,000 円

○おいしい食べきり運動推進店の登録状況 単位：件

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度	合計
登録店舗数	2	5	5	8	2	22

(6) その他 348,590 円

消耗品及び不法投棄対策、庁舎内機密文書処理、公用車維持管理費等です。

2 し尿処理対策費 (04-02-01-02) 54,029,671 円

本町では二つの事務組合でし尿処理を行っています。

- ・松山衛生事務組合負担金 52,117,582 円
- ・大洲・喜多衛生事務組合負担金 1,897,689 円
- ・旅費等 14,400 円

○し尿・浄化槽汚泥処理の状況 単位：㎏

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
汲取量	823	730	752	93
浄化槽汚泥量(単独処理)	1,643	1,924	1,892	▲281
浄化槽汚泥量(合併処理)	6,480	6,631	6,726	▲151
合計	8,946	9,285	9,370	▲339

○汚水処理施設別人口の状況 単位：人

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
総人口	20,085	20,280	20,468	▲195
公共下水道	7,789	7,724	7,487	65
合併処理	8,434	8,672	8,952	▲238
単独処理	2,892	2,896	3,012	▲4
汲取処理	970	988	1,017	▲18

※農業集落排水は公共下水道に含まれます。

第4 塵芥処理費

1 ごみ収集運搬処理費 (04-02-02-01) 272,094,768 円

(1) 一般廃棄物収集運搬処理事業 268,957,268 円 【主要施策⑤】

家庭ごみの収集運搬処理及び再資源化は業者委託し、事業所から排出されたごみは、許可業者によって適切に処理しています。

令和3年度から可燃ごみを松山市に委託し、焼却処分していることから、プラスチック製容器包装の分別区分が新たに追加されました。

ア 役務費(手数料等)

- ・廃蛍光管等保管及び加工料 52,250 円

- ・管理手数料 9,359 円

イ 委託料

- ・ごみ収集運搬処理等委託料 133,199,000 円
- ・動物死体処理委託料 669,900 円
- ・再資源化処理委託料 270,773 円
- ・不法投棄家電処分委託料 38,620 円
- ・廃蛍光管等処理委託料 577,178 円
- ・剪定枝処理委託料 3,210,471 円
- ・動物死体収集委託料 333,300 円
- ・雑ごみ処分委託料 9,240,000 円
- ・再資源化物運搬委託料（アルミ、新聞、古紙） 1,946,142 円
- ・可燃ごみ処分委託料 104,733,087 円
- ・再資源化物運搬及び中間処理委託料（プラスチック製容器包装） 14,038,178 円
- ・使用済小型家電再資源化処理委託料 353,010 円

廃棄物処理手数料 20,327,776 円、一般廃棄物処理業許可手数料 70,000 円、廃棄物資源化売上金 8,399,676 円、容器包装リサイクル協会拠出金 285,165 円を充当しています。

○ごみ排出量の内訳

単位:トン

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	増減(6-5)
可燃ごみ	3,488	3,544	3,634	3,691	▲56
資源ごみ	1,006	1,084	1,102	1,144	▲78
危険ごみ	13	12	13	13	1
雑ごみ	567	581	590	572	▲14
合 計	5,074	5,221	5,339	5,420	▲147
一人当たりの排出量/年間	0.252	0.257	0.260	0.265	▲0.005

※家庭ごみの有料化後、一人当たりの年間排出量は約 290 kg で横ばい傾向でしたが、令和 3 年度から減少傾向となり、令和 6 年度は 252kg となりました。これはプラスチック製容器包装の分別が十分に浸透したことや、環境保全啓発活動等によるごみ減量意識の高まりが主な要因と考えられます。

○動物死体回収状況

単位:件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
動物死体回収数	128	134	159	▲6

- ・動物死体保管用冷凍庫 286,000 円

○ごみ処理に要する経費

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
経費総額（千円）	303,163	299,684	305,110	3,479
町民 1 人にかかる経費（円）	14,979	14,689	14,869	290

※令和 6 年度のごみ排出量は、前年度に比べ減少しましたが、燃料費の高騰などにより収集運搬費等が増加したため、全体の処理費及び町民 1 人にかかる経費は増額となりました。

(2) 廃棄物リサイクル事業 【主要施策④】

ごみの減量化を目的として廃棄物リサイクルイベントを開催しました。ごみとして出された家具や日用品など、まだ使える物 38 品のうち、12 品が再利用されることとなり、102.8kg のごみが削減されました。



希望者に無償で譲渡されたリサイクル品

(3) 旧灌水施設 PCB 廃棄物処分費補助事業 2,207,500 円

PCB 廃棄物が処分されていない旧灌水組合に対して補助金を交付することで、適切な処分を推進し住民の健康被害の防止に努めました。

(4) その他 930,000 円

- ・地域振興負担金 930,000 円

2 美化センター管理運営費 (04-02-02-02) 2,614,380 円

一般廃棄物の受入施設及び中継施設として適正に管理しました。

- ・電気代 1,271,475 円
- ・施設設備等保守点検（消防・空調設備等、電気工作物、特殊車両等） 766,383 円
- ・その他（消耗品費、通信運搬費、任意保険料等） 576,522 円

廃棄物処理手数料 2,614,380 円を充当しています。



3 埋立処分場管理運営費 (04-02-02-03) 7,940,085 円

千里埋立処分場、大角蔵埋立処分場跡地、川井埋立処分場跡地のダイオキシンの測定等を実施するなど、適正に管理しています。

- ・電気代 2,091,904 円
- ・埋立用土 309,100 円
- ・修繕料（バタフライバルブ交換、給水ユニットポンプ改修等） 408,210 円
- ・浸出液処理施設維持管理業務委託 2,640,000 円
- ・受付業務委託 880,000 円
- ・水質等分析（埋立処分場全体） 1,348,600 円
- ・その他（薬品代、施設点検、通信運搬費等） 262,271 円

廃棄物処理手数料 7,939,725 円、
雑入 360 円を充当しています。

○埋立状況 単位:m

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
埋立量	301	238	1,921	2,061	1,109
累積埋立量	51,689	51,388	51,150	49,229	47,168
残容量	8,311	8,612	8,850	10,771	12,832

○ダイオキシン類測定状況 単位 : pg-TEQ/L

区 分		6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
美化センター	排ガス (ng-TEQ/m ³)	-	-	-	-	0.037
	放流水	0.000024	0	0.00062	0	0.00015
千里埋立処分場	地下水 No.1	0.059	0.059	0.059	0.08	0.059
	地下水 No.2	0.058	0.059	0.058	0.081	0.059
大角蔵埋立処分場 跡地	放流水	0.0027	0.028	0.034	0.0018	0.033
	地下水	0.058	0.066	0.072	0.082	0.067
川井埋立処分場 跡地	放流水	0.033	0.041	0.033	0.036	0.026
	地下水	0.059	0.063	0.059	0.085	0.064

※環境基準値 排ガス 1ng-TEQ/m³ 放流水 10pg-TEQ/L 以下、地下水 1pg-TEQ/L





重点施策

多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちの実現

主要施策

① 農林水産業の振興

第 1 農業

1 農業委員会諸費（06-01-01-01） 6,235,255 円

(1) 農地法及び農業経営基盤強化促進法の規定による許可申請など取扱状況

（農業委員会開催回数 12回）

単位：件、㎡

区 分	許 可・届 出	6 年度		5 年度		4 年度		
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	
農地法第 3 条	所有権移転	24	537	16	345	10	228	
	賃借権設定	-	-	-	-	-	-	
	使用貸借権設定	-	-	-	-	1	16	
	相続・時効取得などの届出	10	367	10	477	11	391	
農地法第 4 条	知事許可	1	3	1	1	3	30	
	届出（市街化区域内）	-	-	1	6	1	2	
農地法第 5 条	知事許可	所有権移転	4	10	9	65	8	84
		賃借権設定	3	50	-	-	-	-
		使用貸借権設定	-	-	1	3	5	19
	届 出 （市街化 区域内）	所有権移転	9	49	10	75	9	70
		賃借権設定	-	-	4	31	1	1
		使用貸借権設定	-	-	-	-	-	-
農地法第 18 条	合意解約	4	135	5	85	-	-	
農業経営基盤強化促進法による利用集積		27	757	43	1,135	27	728	
農地中間管理事業による利用集積		-	-	-	-	-	-	

(2) 農業者年金活動事業

農業者の老後の安定と担い手の育成・確保を目的とした公的年金制度の普及・加入促進に努めました。

単位：人、件

区 分	6 年度	5 年度	4 年度
受給権者数	86	100	127
各種届出書受理件数	16	21	18

※受給権者は、被保険者、受給者及び待期者等(60歳到達者で受給開始前の者等)です。

※各種届出は、死亡、加入申込等です。

(3) 経費内訳

単位:円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
委員報酬(農業委員18人、推進委員17人)	5,512,000	5,418,064	5,246,548	93,936
旅費(全国農業委員会長大会参加旅費ほか)	109,180	111,020	0	▲1,840
消耗品費等	8,400	135,377	67,576	▲126,977
通信運搬費	176,315	306,771	110,919	▲130,456
委託料	0	0	154,000	0
自動車借上料	0	36,300	0	▲36,300
使用料及び賃借料	41,360	41,360	37,576	0
備品購入費	0	0	247,984	0
県農業会議会費	371,200	371,200	371,200	0
県農業委員会職員研究協議会負担金	6,000	6,000	6,000	0
県農業者年金連絡協議会負担金	10,800	10,900	11,000	▲100
計	6,235,255	6,436,992	6,252,803	▲201,737

農業委員会費事務費負担金 1,664,000 円、農地利用最適化交付金 1,913,520 円、農業者年金基金業務受託金 317,500 円、農業会議会員活動促進費 25,980 円、耕作証明等手数料 6,300 円を充当しています。

2 農業総務費(06-01-02-01) 988,258 円

(1) 公用車の維持管理

- ・台数 1台
- ・維持管理費 265,658 円

(2) 各種団体への負担金補助

単位:円

団体名(事業)	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
伊予地区農業改良普及事業推進協議会	113,000	113,000	113,000	0
伊予地区農業技術者連絡協議会	3,600	3,600	3,600	0
農業用廃プラスチック適正処理推進協議会	10,000	10,000	10,000	0
えひめ愛フード推進機構	20,000	20,000	20,000	0
全国山村振興連盟	41,000	41,000	41,000	0
県中予家畜衛生推進協議会	51,000	61,000	63,000	▲10,000
県畜産協会	44,000	35,000	35,000	9,000
県グリーン・ツーリズム推進協議会	20,000	20,000	20,000	0
愛媛県農業共済組合	267,000	267,000	267,000	0
まつやま圏域農林水産業活性化事業	79,200	79,200	78,650	0
計	648,800	649,800	651,250	▲1,000

3 農業研修センター管理費(06-01-02-02) 75,823 円

農業者の各種会合や地元住民の集会の場として使用する施設の維持管理に要した経費です。

単位:円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設管理費	75,823	67,557	66,786	8,266
光熱水費	7,978	7,082	6,311	896
修繕料	7,370	-	-	7,370
役務費	30,775	30,775	30,775	0
委託料	29,700	29,700	29,700	0

4 ふるさと生活館費（06-01-02-03） 731,806 円

農林家女性の交流の場として、また、付加価値の高い加工品の研究・開発を行う施設の維持管理に要した経費です。

単位：円、日

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設管理費	731,806	746,943	1,018,810	▲15,137
消耗品費	0	7,530	7,075	▲7,530
燃料費・光熱水費	463,197	452,452	463,985	10,745
修繕料	0	25,000	36,300	▲25,000
役務費	38,120	38,120	38,120	0
委託料	139,409	132,761	190,850	6,648
下水道等使用料	91,080	91,080	91,080	0
工事請負費	-	-	191,400	0
使用料等の収入	61,050	46,620	100,270	14,430
貸館日数	44	26	61	18

5 農業振興諸費（06-01-03-01） 38,349,893 円

奨励果樹等の継続的な産地拡大と収益性の向上や農業への新規参入を促進し、農業の振興を図るために実施した補助金・交付金事業に要した経費です。

○主な奨励果樹生産量の推移

単位:t

年度	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
愛媛果試第28号	543	652	681	662	655
せとか	72	73	78	75	67
甘平	48	81	102	115	46

○認定農業者数の推移

単位：人

年度	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
認定農業者数	74	78	79	87	88

(1) 地域農業経営基盤強化促進計画の策定

農業経営基盤強化促進法に基づき、地域での意見交換会や検討委員会での審議を経て、およそ10年後に誰が、どの農地を耕作するかを示した目標地図と、その目標を実現するための地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）を策定しました。

- ・地域計画策定に向けた意見交換会 4回（麻生地区、宮内地区、砥部地区、広田地区）
- ・砥部町地域農業経営基盤強化促進計画検討委員会 1回（委員報酬4人28,000円）

(2) 農業近代化資金利子補給

設備や機械の導入を目的として資金を借りた農業者に対し利子補給を行いました。

- ・融資件数 1件
- ・期末残高 2,400,000円
- ・利子補給額 18,804円

(3) 農業用廃プラスチック適正処理事業

産業廃棄物となる農業用廃プラスチックを農協支所単位で集団回収し、適正処理に要する経費の一部を補助することで、地域の環境保全に努めました。

- ・事業量 139件 15,230kg（再生処理等）

- ・事業費 802,400 円
- ・補助金 320,960 円(事業費の 4/10 以内)

(4) 奨励果樹等育成対策事業

果樹等の産地化を推進するため、農業団体が奨励する優良品種の苗木等の購入に対し助成しました。

○事業量 農家数 71 戸

苗木	一般農家	204,003 本	種子	一般農家	13 ℓ	種子	一般農家	114 袋
	認定農業者	81,235 本		認定農業者	0 ℓ		認定農業者	146 袋

○柑橘・落葉果樹・野菜(苗)

品 種		数 量 (本)			対象農家数 (戸)		
		6 年度	5 年度	4 年度	6 年度	5 年度	4 年度
柑橘	はれひめ	250	340	220	4	4	1
	愛媛果試第 28 号	270	334	596	5	3	9
	宮内伊予柑	340	200	150	5	3	3
	愛媛果試第 48 号	110	310	200	1	2	4
	温州みかん	200	370	400	4	5	5
	甘平	755	1,408	905	8	19	11
	せとか	307	310	550	2	3	5
落葉果樹	キウイフルーツ (ハイワード)	57	87	200	2	4	6
	栗	175	89	147	5	2	5
	ブルーベリー	0	0	0	0	0	0
野菜	筑陽ナス	4,800	9,803	9,818	6	14	14
	ピーマン	600	590	0	1	1	0
	キュウリ	4,030	5,560	5,801	4	7	5
	ブロッコリー	23,424	21,376	40,576	5	3	3
	トマト	1,200	1,150	3,300	1	1	2
	キャベツ	248,720	211,680	222,080	9	11	11
合 計		285,238	253,607	284,943	62	82	84

○野菜(種子)

品 種		数 量 (ℓ)			対象農家数 (戸)		
		6 年度	5 年度	4 年度	6 年度	5 年度	4 年度
野菜	インゲン	11	5.1	11	7	4	9
	キヌサヤ	2	2	1	2	2	1
合 計		13	7.1	12	9	6	10

○野菜(種子)

品 種		数 量 (袋)			対象農家数 (戸)		
		6 年度	5 年度	4 年度	6 年度	5 年度	4 年度
野菜	キャベツ	52	61	59	1	4	2
	ホウレンソウ	143	160	128	6	8	7
	トマト	32	30	16	1	1	1
	タマネギ (缶)	33	23	33	5	2	4
合 計		260	274	236	13	15	14

柑橘・落葉果樹	一般農家	150 円/本	認定農業者	300 円/本	
野菜（苗）	一般農家	2.5 円/本	認定農業者	5 円/本	（ブロッコリー・キャベツ）
	一般農家	20 円/本	認定農業者	40 円/本	（ピーマン）
	一般農家	30 円/本	認定農業者	60 円/本	（トマト）
	一般農家	40 円/本	認定農業者	80 円/本	（キュウリ）
	一般農家	50 円/本	認定農業者	100 円/本	（ナス）
野菜（種子）	一般農家	600 円/ℓ	認定農業者	1,200 円/ℓ	（インゲン・キヌサヤ）
	一般農家	900 円/袋	認定農業者	1,800 円/袋	（キャベツ・ハウレンソウ）
	一般農家	2,850 円/袋	認定農業者	5,700 円/袋	（トマト）
	一般農家	2,000 円/缶	認定農業者	4,000 円/缶	（タマネギ）

- ・事業費 8,381,945 円
- ・補助金 2,821,450 円

（公財）愛媛県市町振興協会市町交付金
676,346 円を充当しています。

（5）マルチ栽培推進事業

果実の品質向上対策として、マルチ栽培を推進するために助成を行いました。

- ・事業量
 - 〔 農家数 15 戸
 - 〔 マルチ購入数 41 本
- ・事業費 905,890 円
- ・補助金 484,057 円
 - 〔 一般農家 1/2 以内
 - 〔 認定農業者 2/3 以内

（6）経営所得安定対策等推進事業

町農業再生協議会が経営所得安定対策等を推進するにあたり、事務費を交付し制度推進を支援しました。

- ・事業費 180,000 円
- ・補助金 180,000 円（全額）

国の経営所得安定対策等推進事業費補助金
180,000 円を充当しています。

（7）未来型果樹産地強化支援事業等

県果樹農業振興計画の基本理念「未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立」のもと、生産基盤の強化を推進し、未来型果樹園を核とした産地の強化を図るための取組みを支援しました。

- ・事業内容 雨よけハウス・かん水施設などの導入
- ・実施主体 えひめ中央農業協同組合
- ・事業量

〔	キウイ棚	受益戸数	3 戸	受益面積	90.0 ㎡
〔	雨よけハウス	受益戸数	4 戸	受益面積	23.9 ㎡
〔	かん水施設	受益戸数	3 戸	受益面積	22.5 ㎡
〔	クローラ運搬車	受益戸数	3 戸	受益面積	5.0 ㎡

- ・事業費 8,703,970 円
- ・補助金 4,349,000 円（事業費の 1/2 以内）

県の未来型果樹産地強化支援事業費等補助金 2,900,000 円を充当しています。

(8) 柑橘放任園対策事業

柑橘放任園から発生する害虫による被害を防ぐため、えひめ中央農業協同組合が行う放任園の樹木伐採に要する経費に対して、補助を行いました。

・事業量（樹木伐採）

受益戸数	8戸
受益面積	251a

・事業費 602,400円

・補助金 481,920円（事業費の4/5以内）

(9) 果樹産地強化支援事業【主要施策①】

意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取組を支援しました。

・事業内容 ハウス谷樋の設置、POフィルム（巻き上げ部材を含む）の資材の導入及びウッドチップパー、電動剪定ばさみの導入

・対象作物 施設愛媛果試第28号・施設せとか・施設甘平

・実施主体 えひめ中央農業協同組合

・事業量

ハウス谷樋	受益戸数	2戸	受益面積	18.0㎡
POフィルム	受益戸数	8戸	受益面積	72.0㎡
ウッドチップパー	受益戸数	6戸	受益面積	503.0㎡
電動剪定ばさみ	受益戸数	11戸	受益面積	477.0㎡

・事業費 8,058,283円

・補助金 5,285,020円

施設愛媛果試第28号は事業費の2/3以内
施設せとか・施設甘平は事業費の1/2以内

(公財)愛媛県市町振興協会市町交付金
4,300,000円を充当しています。

(10) 収入保険加入促進支援事業

農業収益減少等のリスクへの備えを強化し、安定的な農業経営を構築するため、収入保険への加入を促進しました。

・保険加入者数 5人

・保険料等 347,641円

・補助金 171,000円

（保険料の1/2以内（限度額200,000円））

(11) 新規就農者育成総合対策事業

次世代を担う新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、就農に向けた経営開始資金を支援しました。

（経営開始資金）

・事業対象者 5人

・事業費 6,750,000円

・給付金 6,750,000円

国の新規就農者総合支援事業費補助金
6,750,000円を充当しています。

(12) 豚熱ワクチン接種事業

豚肉の安定供給を図るため、豚熱ワクチン接種推奨地域に指定され必要となったワクチン接種費用の一部を支援しました。

- ・事業対象者 1事業所
- ・ワクチン接種頭数 36,245頭
- ・事業費 2,135,350円
- ・補助金 1,087,350円（1頭あたり30円以内）

(13) 新規就農者経営発展資金償還事業

新規就農者の就農初期段階における費用の負担を軽減し、就農の円滑化と就農後の定着を促進するため、新規就農総合支援事業における機械・施設等の導入に係る借入資金の償還金の一部を支援しました。

- ・事業対象者 2人
- ・事業費 309,000円
- ・補助金 154,500円（事業費の1/2以内）

(14) 七折農産物加工処理施設内部改修事業

食品衛生法の改正に係る施設基準に適合させるため、七折農産物加工処理施設内部の天井及び内壁ボード設置等改修に要する経費に対して補助を行いました。

- ・事業費 2,420,000円
- ・負担金 1,210,000円（事業費の1/2以内）



改修後の七折農産物加工処理施設

(15) 野菜・花き等産地供給力強化支援事業

いちご栽培に係る作業時間短縮と労力軽減につなげ、栽培面積拡大及びいちごの育成促進を図るための機械導入に係る経費の一部を支援しました。

- ・事業対象者 1人
- ・事業費 144,200円
- ・補助金 72,100円（事業費の1/2以内）

(16) 有機野菜等面積拡大支援事業

環境への負荷低減及び安全かつ良質な農作物需要拡大に対応するため、面積拡大に資する農業機械の導入に係る経費の一部を支援しました。

- ・事業対象者 1事業所
- ・事業費 488,400円
- ・補助金 244,000円（事業費の1/2以内）

(17) 外郭団体等活動支援事業

地域農業の担い手などで結成される各種団体の活動経費の一部に対し助成を行い、団体の育成、確保に努め、町内農業の振興及び発展を図りました。

- ・生活研究グループ連絡協議会（会員数11名） 60,000円

- ・グリーン・ツーリズム推進協議会（会員数 7 名） 60,000 円
- ・青年農業者協議会（会員数 12 名） 150,000 円
- ・認定農業者協議会（会員数 65 名） 100,000 円

(18) 農業次世代人材投資資金交付事業

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、就農直後の経営確立を支援する資金を交付することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図りました。

- ・事業内容 農業次世代人材投資資金 経営開始型 1 件
- ・事業費 750,000 円
- ・給付金 750,000 円（全額）

国の新規就農総合支援事業費補助金 750,000 円を充当しています。

(19) 自然薯生産販売促進事業

町の特産品である自然薯の生産販売を促進するため広田自然薯組合が行う活動に要する経費の一部に対し助成を行い、自然薯の生産販売の振興を図りました。

- ・事業費 305,569 円
- ・交付金 100,000 円

(20) 集落営農組織育成事業

水稻等の生産及び農作業の協業を図ることにより、川井地域の環境を維持していくことを目的に構成された川井営農組合の活動を支援することにより、本町の農業の振興と発展を図りました。

- ・事業費 3,330,089 円
- ・交付金 250,000 円

(21) ななおれ梅組合経営支援事業

七折小梅の老木改植に伴う未収益期間の栽培管理経費の支援を行いました。

- ・交付金 4,282,000 円

(22) 町民農園運営事業

農業者以外の住民が野菜や花などを栽培して、自然に触れ合うとともに、農業に対する理解を深めることなどを目的として、町民農園（22 区画、1 区画約 30 m²）を運営しています。6 年度末時点で 17 人が 21 区画を利用しています。

単位：円

区分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
総事業費	126,889	129,041	127,713	▲2,152
消耗品費	14,300	17,008	19,300	▲2,708
燃料費光・熱水費	13,200	13,200	5,730	0
修繕料	1,320	1,320	5,170	0
役務費	22,556	22,000	22,000	556
委託料	5,500	5,500	5,500	0
使用料及び賃借料	70,013	70,013	70,013	0
使用料収入	188,000	180,000	152,000	8,000

6 直接支払交付金費 (06-01-03-02) 8,368,350 円

(1) 中山間地域等直接支払交付金

ア 直接支払推進事業

中山間地域等直接支払制度を円滑に実施するために必要な事務費です。

- ・事業費 66,250 円
- 〔 消耗品費 60,156 円
- 〔 郵送料 6,094 円

国の中山間地域等直接支払推進費交付金 62,000 円を充当しています。

イ 対象集落への直接支払交付金

水源のかん養、洪水防止、土砂崩落等の多面的機能を継続的、効率的に発揮することを目的に、生産条件の不利な中山間地域で農業生産活動に取り組む集落を対象に、一定の経費を交付しました。

・事業内容

- 〔 対象集落 22 集落
- 〔 農家戸数(延べ) 134 戸

- ・直接支払交付金 7,823,930 円

国の中山間地域等直接支払交付金 5,867,931 円を充当しています。

単位：戸、㎡

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
対象戸数	134	135	136	▲1
対象農地面積	840,829	840,829	840,829	0
田(急傾斜地)	57,532	57,532	57,532	0
畑(急傾斜地)	705,052	705,052	705,052	0
畑(緩傾斜地)	75,780	75,780	75,780	0
採草放牧地 (急傾斜地)	2,465	2,465	2,465	0

(2) 環境保全型農業直接支払交付金

農業の持続的発展と農業の有する多面的機能の健全な発揮を図るために、環境保全に効果の高い営農活動に対して支援しました。

- ・対象団体 伊予環境保全会
- ・交付金 177,600 円

国の環境保全型農業直接支援事業補助金 133,200 円を充当しています。

(3) 農村環境保全向上活動支援事業

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動への支援を実施しました。

- ・対象団体 満穂環境保全隊
- ・交付金 300,570 円

国の農村環境保全向上活動支援事業補助金 225,427 円を充当しています。

8 六次産業化支援事業費 (06-01-03-05) 444,493 円

六次産業化推進グループのひろた地域づくり協議会に対し、加工施設の維持管理等事業費を交付し、広田地域の農作物を活用した加工品(漬物と自然薯の粉末)の製造・販売を推進しました。

- ・ひろた地域づくり協議会への交付金 444,493 円

第 2 林業

1 林業総務費（06-02-01-01） 30,696,891 円

森林環境譲与税関連事業、森林 GIS システム経費や各関係団体への負担金を計上しています。

(1) 市町村森林 GIS 保守委託

地域の森林づくりの方向をわかりやすく伝えるために必要な森林地理情報システム(GIS)の保守委託等に要した経費です。

- ・市町村森林 GIS 保守委託料 330,000 円

(2) 町民の森管理道草刈作業委託

銚子ダム周辺の町有林で、管理道の維持管理（草刈）を実施しました。

- ・委託料 137,500 円

(3) 新たな森林管理システム関連業務委託 【主要施策①】

森林経営管理制度に基づく森林整備を行うため、中予市町・森林組合が共同で設立した一般社団法人中予森林管理推進センターと共同で山林所有者に対する意向調査を実施しました。また、町に経営管理を委託された森林について、現地踏査・測量及び間伐を実施しました。

- ・山林所有者に対する意向調査 86.02 畝
- ・山林の現地踏査 82.30 畝
- ・集積計画作成 57.02 畝（28 件、80 筆）
- ・山林の測量 37.03 畝
- ・山林の間伐 29.84 畝（4 か所）
- ・令和 6 年度 森林環境譲与税を活用した事業費

単位：円

事業	内容	金額
(一社)中予森林管理推進センター運営負担金	中予市町・森林組合が共同で設立したセンターの運営費を負担しました。	3,536,816
森林経営管理制度に基づく現地踏査委託料	町に経営管理を委託された森林のうち、82.3 畝について現地踏査を実施しました。	2,263,000
森林経営管理制度に基づく山林測量委託料	町に経営管理を委託された森林のうち、37.03 畝について測量を実施しました。	4,407,480
森林経営管理制度に基づく山林間伐委託料	町に経営管理を委託された森林のうち、29.84 畝について間伐を実施しました。	18,857,300
森林保険代	町が経営管理権集積計画を設定した 29.76 畝について森林保険をかけました。	535,680
計		29,600,276

(4) 森林環境譲与税基金

令和元年度から開始された森林環境譲与税について、令和6年度は27,649,000円の譲与があり、29,600,276円を林業振興の財源として活用しました。

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
森林環境譲与税(収入)	27,649,000	20,492,000	20,492,000	7,157,000
基金預金利子(収入)	3,142	7,370	5,528	▲4,228
基金取崩し	1,951,276	19,316,818	0	▲17,365,542
森林環境譲与税を活用した事業費	29,600,276	39,808,818	12,032,340	▲10,208,542
基金積立	3,142	7,370	8,465,188	▲4,228
森林環境譲与税基金残額	12,337,481	14,285,615	33,595,063	▲1,948,134

(5) 各種団体等負担金

・各種団体等負担金 内訳は以下のとおりです。

単位：円

団体名等	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
松山地区林材業振興会議	123,750	123,750	123,750	0
今治・松山流域森林林業活性化センター	416,000	416,000	416,000	0
(公財)えひめ農林漁業振興機構	37,000	37,000	37,000	0
(一社)中予森林管理推進センター	3,536,816	5,020,750	3,971,840	▲1,483,934
緑の少年団愛媛県連盟	12,000	12,000	12,000	0
愛媛県公有林野対策協議会	6,260	6,260	6,260	0
計	4,131,826	5,615,760	4,566,850	▲1,483,934

(6) 町有林管理

砥部町森林組合と森づくり協定を締結し、町有林の経営を目的とした森林施業を実施しています。

令和6年度は、高市の町有林13.52畝の間伐に伴い、立木の売却益5,228,504円の収入がありました。



高市の間伐後の町有林

2 こぶし食堂費(06-02-01-02) 66,439円

令和6年4月1日から8月31日まで、こぶし食堂の運営を「砥部焼愛好会叶窯」を指定管理者として指定しました。町は、運営に際して支障があった油分離槽チェッカーの修繕等を行いました。

単位：円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
施設管理費	66,439	2,523,561	1,338,947	▲2,457,122
燃料費	0	3,396	184,350	▲ 3,396
光熱水費	0	33,623	251,729	▲ 33,623
修繕料	52,800	49,500	171,600	3,300
役務費	13,639	47,157	47,363	▲ 33,518
委託料	0	19,030	330,000	▲ 19,030
使用料及び賃借料	0	29,505	84,405	▲ 29,505
工事請負費	0	2,042,150	269,500	▲2,042,150
負担金補助及び交付金	0	299,200	0	▲299,200
使用料収入	0	0	455,180	0

3 林業振興事業費（06-02-02-01） 30,824,754 円

主として補助金、交付金事業に要する経費を計上しており、各事業内容は、次のとおりです。

(1) しいたけ生産活性化対策事業

町特産品であるしいたけ生産の活性化を図りました。

- ・事業内訳 しいたけ種菌 494,140 個 対象林家戸数 14 戸
- ・事業費 2,026,540 円
- ・補助金 642,382 円（種菌 1 個当たり 1 円 30 銭以内）

(2) 町単独補助林道事業

森林整備の基盤である林内路網の整備、改良に対し補助し、森林整備の効率化を図りました。

- ・総事業費 3,973,697 円
- ・総補助金 3,973,697 円
- ア 林道竹ノ首線（高市）
 - ・事業内訳 災害復旧工事 土砂運搬：25 m³ 檜伐倒除去一式
 - ・事業費 129,140 円
 - ・補助金 129,140 円
- イ 林道古久保線（玉谷）
 - ・事業内訳 コンクリート舗装 延長：60.0m 幅員：2.5m
 - ・事業費 1,139,411 円
 - ・補助金 1,139,411 円
- ウ 林道北谷線（満穂）
 - ・事業内訳 コンクリート舗装 延長：75.0m 幅員：2.5m
 - ・事業費 1,347,690 円
 - ・補助金 1,347,690 円
- エ 林道仙波久万線（仙波）
 - ・事業内訳 コンクリート舗装 延長：60.0m 幅員：3.0m
 - ・事業費 1,357,456 円
 - ・補助金 1,357,456 円

(3) 造林事業

森林組合が実施する間伐、植林等の造林事業に対し補助し、健全な森林造成を図りました。

- ・補助率 100分の15以内

年度	事業内容	戸数	事業量		事業費	補助金 (15/100以内)
			面積	延長		
6年度	再造林	1戸	0.48畝		269,392円	72,208円
	下刈り	8戸	16.59畝		2,815,323円	422,293円
	徐間伐	47戸	63.30畝		33,506,274円	3,773,530円
	作業車道	13路線		12,426m	22,356,000円	2,409,969円
	計		80.37畝	12,426m	58,946,989円	6,678,000円
5年度	再造林	1戸	1.07畝		1,155,814円	173,372円
	下刈り	6戸	11.20畝		1,814,400円	272,160円
	徐間伐	52戸	69.57畝		35,760,718円	3,781,513円
	作業車道	11路線		11,364m	20,538,000円	2,212,955円
	計		81.84畝	11,364m	59,268,932円	6,440,000円

(4) 森林整備担い手確保育成対策事業

林業従事者の労働安全衛生の充実、技術及び技能の向上、福利厚生の実施を図りました。

- ・事業実施主体 (株) グリーンキーパー・(株) H・S・F・(株) Log
- ・事業内訳

林業退職金共済制度掛金に対する補助
 労働安全に資する装備品・器具に対する補助
 蜂アレルギー災害未然防止等に対する補助
 林業従事者の必要資格取得に対する補助
 高度林業機械技士の育成に対する補助等

- ・事業費 5,056,016円
- ・補助金 3,370,675円(事業費の2/3以内)

県の森林整備担い手確保育成対策事業費補助金678,497円を充当しています。

(5) 間伐材出荷促進事業

森林の保全と健全な育成を図るため、間伐を促進し木材の有効利用を図りました。

- ・事業内訳 間伐材出荷材積7,233.253m³ 対象林家数59戸
- ・交付金 7,000,000円(1m³当たり1,100円以内・実質967円/m³)

(6) 森林組合育成事業

地域林業の核となり森林整備を推進する砥部町森林組合に対して助成し、組合組織の強化を図りました。

- ・交付金 2,000,000円

(7) 林業事業体人材育成事業

林業事業体(株)グリーンキーパー)の実施する人材育成等の運営に要する経費に対し補助し、経営強化を図りました。

- ・ 交付金 7,000,000 円

(8) 緑の少年団活動事業

自然に親しむ心豊かな少年少女を育成することを目的とし、麻生小学校・宮内小学校・砥部小学校・広田小学校緑の少年団の活動に対し支援し、緑化活動の推進を図りました。

- ・ 事業主体 麻生小学校・宮内小学校・砥部小学校・広田小学校緑の少年団
- ・ 交付金 160,000 円 (1校あたり 40,000 円)

(9) 木造新築住宅建築支援事業

町内に主たる事務所がある大工・工務店が建築する木造住宅に対する補助ですが、令和6年度は対象住宅がありませんでした。

- ・ 補助金 0 円

4 有害鳥獣総合対策事業費 (06-02-02-04) 10,910,080 円

(1) 鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業

野生鳥獣による被害の深刻化に対応するため、有害鳥獣捕獲活動を緊急的に実施し、鳥獣(イノシシ・カラス)による農作物被害の軽減を図りました。本事業の補助金は、捕獲活動の労務費に対する支援です。

○捕獲実績、補助金額

単位：円(頭、羽)

区分	6年度	5年度	4年度	補助単価
イノシシ(成獣)	(306) 2,142,000	(264) 1,848,000	(423) 2,961,000	7,000
イノシシ(幼獣)	(5) 5,000	(59) 59,000	(103) 103,000	1,000
カラス	(4) 800	(2) 400	(9) 1,800	200
合計	(315) 2,147,800	(325) 1,907,400	(535) 3,065,800	

国の鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業費補助金 2,147,800 円を充当しています。

(2) シカ・クマ特別対策等事業

野生鳥獣による被害の深刻化に対応するため、有害鳥獣捕獲活動を緊急的に実施し、鳥獣(イノシシ)による農作物被害の軽減を図りました。本事業の補助金は、捕獲活動の労務費に対する支援です。

○捕獲実績、補助金額

単位：円(頭)

区分	6年度	補助単価
イノシシ(成獣)	(52) 364,000	7,000
イノシシ(幼獣)	(58) 58,000	1,000
合計	(110) 422,000	

国のシカ・クマ特別対策等事業費補助金 422,000 円を充当しています。

(3) 有害鳥獣捕獲隊等育成事業

有害鳥獣捕獲を担っている狩猟者の高齢化が進み将来の担い手不足が懸念される中、有害鳥獣捕獲を効果的に進めるため、有害鳥獣捕獲隊の組織化を促進し、捕獲技術の向上や計画的な捕獲の取組みを支援しました。

- ・捕獲隊などの組織化（狩猟免許の更新手数料など）
- ・捕獲技術の向上（射撃講習などの講習料）
- ・事業費 840,920 円
- ・補助金 420,460 円（事業費の 1/2 以内）

県の有害鳥獣捕獲隊等育成事業費補助金 137,200 円を充当しています。

○有害鳥獣捕獲隊 隊員数推移 単位:人

年度	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
人数	60	61	61	61	63

(4) 有害鳥獣捕獲対策事業

鳥獣による農作物の被害を最小限に抑えるため、有害鳥獣の捕獲を行い、農家の生産意欲の向上を図りました。本事業の交付金は、捕獲報奨金として交付します。

○捕獲頭数 単位:頭、羽

対象鳥獣 捕獲方法	イノシシ		シカ		カラス		サル		ハクビシン		タヌキ		アナグマ	
	銃器	241	176	10	9	4	4	6	6	-	-	-	-	-
わな	181	155	6	3	-	-	-	1	73	46	73	57	57	30
合計	422	331	16	12	4	4	6	7	73	46	73	57	57	30

※ 頭数など 左:6年度実績、右:5年度実績

○報奨金単価 単位:円

対象鳥獣 捕獲方法	イノシシ	シカ	カラス	サル	ハクビシン	タヌキ	アナグマ
銃器	20,000	20,000	1,000	30,000	-	-	-
わな	10,000	10,000	-	30,000	2,000	2,000	2,000

- ・事業費 7,677,440 円
- ・交付金 7,677,440 円(全額)

捕獲費 7,480,000 円
 実包代など 107,440 円
 捕獲実施団体補助(伊予地区猟友会 3 支部) 90,000 円

県の有害鳥獣総合捕獲事業費補助金 1,163,000 円を充当しています。

○有害鳥獣捕獲頭数推移 単位:頭、羽

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
イノシシ	422	331	537	352	511
シカ	16	12	11	10	5
カラス	4	4	9	6	7
サル	6	7	9	5	10
ハクビシン	73	46	58	55	65
タヌキ	73	57	65	41	82
アナグマ	57	30	47	13	0
合計	651	487	736	482	680

(5) 鳥獣害防止施設整備事業

鳥獣による農作物の被害を防止するためのワイヤーメッシュ柵整備等を支援しました。

- ・実施主体 えひめ中央農業協同組合
- ・事業量 ワイヤーメッシュ柵整備 受益面積 203.2 ㍓ (受益戸数 3 戸)
- ・事業費 437,900 円
- ・補助金 218,000 円 (事業費の 1/2 以内)

○野生鳥獣による農作物の被害金額推移 単位:千円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
カラス	0	0	0	0	300
ネズミ	0	100	0	0	0
ヒヨドリ	35	1,400	480	0	477
イノシシ	594	1,576	1,787	3,092	3,390
サル	2,477	20	100	112	24
ハクビシン	210	700	350	103	120
合計	3,316	3,796	2,717	3,307	4,311

県の鳥獣害防止施設整備事業費補助金 145,000 円を充当しています。

第 3 水産業

1 水産業振興費 (06-03-01-01) 170,000 円

(1) 水産動植物増殖事業

河川の水系維持や保全、身近な水辺環境の形成を行うことを目的に、重信川・肱川漁業協同組合が実施する稚魚の放流事業に対し助成を行いました。

- ・重信川漁業協同組合 150,000 円
- ・肱川漁業協同組合 20,000 円

団体名	種別	数量	実施年月日
重信川漁業協同組合	アユ	120 kg (15,000 匹)	R6.5.14
	アマノウオ	15 kg (5,700 匹)	R6.5.15
	うなぎ	35 kg (1,050 匹)	R6.7.30
	モクスガニ	20 kg (260 匹)	R7.1.27
小計		190 kg (22,010 匹)	
肱川漁業協同組合	アユ	50 kg (5,500 匹)	R6.4.25
	アマゴ	6 kg (1,000 匹)	R6.5.2
	うなぎ	5 kg (300 匹)	R6.11.5
小計		61 kg (6,800 匹)	
合計		251 kg (28,810 匹)	



玉谷川にてアユの放流の様子



重点施策

多彩な地域資源を活かし、人や地域が潤うまちの実現
 多くの人々が訪れる交流の活発なまちの実現

主要施策

- ① 商工業の振興 ② 観光の振興

第 1 商工業

1 商工業振興費 (07-01-02-01) 72,966,141 円

商工業者の健全な発展を図るため、商工業振興事業に支援を行うとともに、町産品の販路拡大等に努めました。

(1) 【物価高騰対策】プレミアム商品券事業 38,511,848 円 (繰越分)

町内の消費喚起を図り、エネルギーや物価高騰による地域経済への影響を緩和するため、商工会が実施するプレミアム商品券発行事業に要する費用を補助しました。

- ・プレミアム商品券 1冊当たり額面 6,500 円、販売価格 5,000 円 プレミアム率 30%
- ・販売冊数 20,639 冊
- ・販売総額 103,195,000 円
- ・換金総額 (実際に使用された額 = 経済効果) 133,680,500 円

項 目	令和 6 年度 (円)	令和 5 年度 (円)
補助金	36,280,708	0
特定記録郵送料 (購入引換券)	2,231,140	0
封筒印刷代	0	124,960
計	38,511,848	124,960

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 38,511,848 円を充当しています。

(2) 【物価高騰対策】トラック運送事業者事業継続支援金 3,065,000 円

エネルギー価格の高止まりや物価高騰の影響を受けているトラック運送事業者の事業継続を支援するため、車両の所有台数に応じて支援金を交付しました。

- ・支援金 (1 台あたり) 普通自動車 10,000 円 小型自動車 5,000 円
- ・補助実績 15 社

(3) 台湾・新北市鶯歌区との覚書締結 204,580 円

教育や陶芸分野を中心に交流を深めてきた新北市鶯歌区と、陶芸の人材育成や観光・国際交流の一層の促進を図るため覚書を締結しました。

- ・日時 10 月 18 日
- ・場所 新北市鶯歌区役所

(4) 商工業振興事業交付金 12,000,000 円【主要施策①】

- ア 商工業振興事業交付金【経常分】 7,000,000 円
砥部町商工会を育成し、商工業の振興に資するため、交付金を交付しました。
- ・ 会員数 573 社（7 年 3 月 31 日現在、前年比 8 社減）
 - ・ 町内商工業者 716 社（R3 経済センサス）
 - ・ 組織率 80.0%（法定会員事業者数÷町内商工業者数）
- イ 商工業振興事業交付金【追加分】 5,000,000 円
老朽化した大南商店街街路灯撤去工事のため、撤去に要する費用を補助しました。
- ・ 撤去件数 87 基

(5) 中小企業制度資金利子補給 1,630,858 円【主要施策①】

- 経営の近代化・合理化のため必要とする資金の融資を受けた町内中小企業者に、利子補給を行い、中小企業者の負担軽減や育成に努めました。
- ・ 利子補給対象者 78 社（前年比 25 社増）

(6) 中小企業振興資金融資事業 7,664,787 円【主要施策①】

町内の中小企業の金融難を緩和し、その育成と振興を図るため、中小企業振興資金融資事業を実施しました。町が融資制度の運用資金を金融機関に預託するとともに、愛媛県信用保証協会が信用保証を行うことによって運用されています。

	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度	2 年度
件数(件)	13	11	8	8	2
融資額(千円)	36,347	23,500	23,600	34,000	8,000

※2 年度はコロナ関連で実質無利子の融資が国県より提供されたため、利用者が減少しています。

- ア 金融機関預託金 7,500,000 円
- イ 信用保証料補給金（減収分補填） 15,142 円
振興資金融資制度による保証料率引下げに伴う県信用保証協会の減収分を補填するため、減収額の 1/2 相当額を補給しました。
- ウ 信用保証料補給金（事業者負担分） 149,645 円
振興資金融資に伴う保証料の自己負担相当額を完済者に補給しました。
- ・ 保証料補給対象者 3 社

(7) 企業誘致事業（サテライトオフィス開設支援） 2,400,000 円【主要施策①】

企業誘致及び人材確保を促進し、本町産業の振興に資するため、サテライトオフィス開設者へ補助を行いました。

- ・ 開設者 東京都港区港南 4-1-10 株式会社オートクチュール
- ・ 開設場所 松山南高等学校砥部分校内

(8) 町産品等販路拡大事業 7,253,580 円【主要施策①】

ア 秋の砥部焼まつり出展

秋の砥部焼まつりにおいて、町産品の普及拡大及び販売のため、ブース出展しました。

- ・開催日 11月2日・3日
- ・場 所 陶街道ゆとり公園
- ・出店者数 15 団体



イ アンテナショップの運営 6,050,960 円

首都圏での砥部焼など町産品の認知度向上とニーズ調査のため、町産品を販売するアンテナショップを東京都で開催しました。期間中には「関東砥部会」の総会も開催され、町産品の販路拡大及び情報発信の強化を図りました。

また、交流や砥部焼の知名度向上を目的として、渋谷区立千駄谷小学校での絵付け体験事業も継続して実施しています。



区 分	6 年度	5 年度	4 年度
開催日	10月12日～10月27日	8月23日～9月6日	10月6日～10月19日
場 所	Goblin 北参道店 東京都渋谷区	Ultra Super New Gallery 東京都渋谷区神宮前	
期間中売上	2,883 千円	2,330 千円	2,114 千円
来場者数	1,780 人	1,300 人	1,281 人
アンケート 回答者	125 人	119 人	173 人
商談会 レセプション	商談 2 社 関東砥部会総会来場者数 70 人	商談 11 社 関東砥部会発足式来場者数 70 人	商談 10 社 レセプション来場者数 43 人

ふるさと創生基金繰入金 4,200,000 円を充当しています。

ウ 砥部焼販売イベント 665,780 円

砥部焼販売協同組合と共同で砥部焼販売イベントを実施しました。

■場所 道の駅佐川（高知県佐川町）

開催日 9月14日～15日

期間中売上 90,040 円

■場所 藤崎百貨店（宮城県仙台市）

開催日 11月14日～25日

期間中売上 736,890 円

■場所 サニーアクシス南国店（高知県南国市）

開催日 7年3月8日～9日

期間中売上 415,775 円



- エ 5市町連携事業 536,840円
 5市町（伊予市・東温市・久万高原町・松前町・砥部町）が連携し、各市町の特産品フェアを実施しました。
 ■場所 トキハ百貨店別府店（大分県別府市）
 開催日 1月16日～21日
 期間中売上 674,640円（砥部焼販売・絵付け）



(9) 松山圏域中小企業商談力向上支援事業販路開拓市 83,458円【主要施策①】

松山圏域の中小企業の販路開拓・拡大を支援するため、百貨店やスーパー等のバイヤーを招聘し、地元企業が直接売り込みをかける逆商談会を松山圏域（3市3町）で開催しました。

- ・開催日 7年1月15日
- ・場 所 松山市総合コミュニティセンター
- ・参加バイヤー37社 地元企業43社

(10) 鉱山跡地の管理 19,580円

広田鉱山跡地の鉱害防止のため、神の森町有地の水質検査を行いました。
 検査は3月に実施し、水銀及びアルキル水銀その他水銀化合物の基準値 0.005mg/ℓ を下回る 0.0005mg/ℓ 未満でした。

(11) その他の商工業振興事業 132,450円

県職業能力開発協会負担金、県発明協会会費、県地域産業活性化協議会負担金

第2 砥部焼観光

1 砥部焼振興費 (07-01-03-01) 36,674,280円

砥部焼の販路拡大と砥部焼産業の振興のため、関係団体への支援及び後継者育成事業を行いました。

(1) 砥部焼振興事業交付金 12,605,000円【主要施策②】

砥部焼産業の振興を図るため、技術向上や販路拡大事業などを行った5団体に対し交付金を交付しました。

- ・砥部焼協同組合 9,500,000円
 主な事業 松屋銀座砥部焼展、原材料確保
- ・砥部焼販売協同組合 2,000,000円
 主な事業 台湾砥部焼PR事業、催事出展
- ・愛媛陶芸協会 605,000円
 主な事業 砥部焼トークサロン
- ・松山南高等学校砥部分校 300,000円
 主な事業 台湾工芸研修
- ・とべりて（砥部焼女性団体） 200,000円
 主な事業 イベント参加

とべの館運営基金繰入金 10,000,000円を充当しています。

(2) 砥部焼まつり運営費負担金 3,000,000 円【主要施策②】

砥部焼の振興と販路拡大を図るため、砥部焼まつりを開催しました。

- ・内容 第39回 砥部焼まつり
- ・会場 砥部町陶街道ゆとり公園、
砥部焼伝統産業会館、砥部町商工会館
- ・期間 4月20日・21日
- ・来場者 約7万人（前年比5千人減）



ふるさと創生基金繰入金 3,000,000 円を充当しています。

(3) 砥部焼まつり運営費負担金（まつやま花園砥部焼まつり） 7,633,500 円【主要施策②】

春、秋の砥部焼まつりに交通機関の関係で来場できない砥部焼ファンの掘り起こしを行うため、松山市駅前で窯元による対面販売を行いました。

- ・内容 まつやま花園砥部焼まつり
- ・会場 松山市花園町通商店街
- ・期間 5月25日・26日
- ・来場者 約2万人（前年同）



ふるさと創生基金繰入金 7,600,000 円を充当しています。

(4) 秋の砥部焼まつり負担金 7,640,000 円【主要施策②】

町ぐるみで観光ホスピタリティ（親切なもてなし）の向上と、砥部焼の観光ブランド化を更に進めるため、秋の砥部焼まつり実行委員会を組織し、“砥部焼の里”にふさわしい、魅力的なイベントを開催しました。

- ・内容 秋の砥部焼まつり（町産品フェスタ同時開催）
- ・場所 砥部町陶街道ゆとり公園
- ・実施日 11月2日・3日
- ・来場者数 約5万人（前年比6千人減）



ふるさと創生基金繰入金 7,600,000 円を充当しています。

(5) 陶画教室 384,000 円【主要施策②】

伝統的工芸品「砥部焼」の技能の伝承と砥部焼関係者の絵付け技術の向上及び後継者育成を図るため、陶画教室を開講しました。

- ・受講者数 6人
- ・講師 亀田茂樹先生
- ・期間 4月1日～7年3月31日（毎月第2・4金曜日開講 24回開催）
- ・会場 砥部町陶芸創作館
- ・教室生作品展 7年2月22日～3月23日（会場：砥部焼伝統産業会館ロビー）

(6) 砥部焼陶芸塾 2,112,000 円【主要施策②】

砥部焼の技と文化を継承し、新しい砥部焼の造形・デザインを創造できる人材を育成するため、砥部焼陶芸塾を開講し、2年間のプログラムのうち1年目を修了しました。

- ・委託先 砥部焼協同組合
- ・委託料 2,112,000 円（6年度分）
- ・期間 4月1日～8年3月31日
- ・塾生 6人

ふるさと創生基金繰入金 2,100,000 円を充当しています。

(7) 市内電車への広告掲出事業（砥部焼電車） 2,640,000 円【主要施策②】

県内外に向け広く「砥部焼」をPRするとともに、観光振興に寄与するため、伊予鉄道市内電車にオリジナルラッピングを施した「砥部焼電車」を運行しました。

- ・契約業者 伊予鉄総合企画(株)
- ・広告料 2,640,000 円
- ・運行期間 4月1日～7年3月31日



(8) その他の砥部焼振興事業 659,780 円

- ア 陶芸作業場管理費 145,470 円
第1～4陶芸舎の修繕料、火災共済保険料、消防点検委託料
- イ パンフレット「砥部焼のしおり」増刷 10,000 部 418,000 円
- ウ その他 96,310 円
伝統的工芸品産業振興協会への負担金等

2 観光費（07-01-04-01） 15,353,252 円

(1) 観光宣伝事業 1,997,368 円

- ・イベント参加旅費・交通費 123,960 円
- ・広域観光連携推進協議会（松山市・東温市・砥部町で構成） 555,000 円
 - 観光パンフレット更新、増刷
 - 観光PR事業（広島みなとフェスタ）
 - 旅行商品化事業（旅行商品を造成し、旅行会社等に営業活動を実施）
- ・その他関係団体等への負担金 680,000 円
 - 重信川サイクリングロード活性化推進実行委員会、自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会、県国際観光テーマ地区推進協議会、愛媛・韓国経済観光交流推進協議会、四国観光立県推進愛媛協議会、県観光物産協会、松山観光コンベンション協会等
- ・総合観光パンフレット「とべ陶街道をゆく」増刷 550,000 円
（繁体字版 1,000 部）
- ・パンフレット郵送料 63,408 円
- ・観光関係報償金 25,000 円

(2) 地域活性化起業人事業 5,600,000 円

民間企業が有するノウハウや知見を活かしながら、本町独自の魅力や価値の向上等につながる業務に従事するため、三大都市圏に所在する民間企業の社員を受け入れます。

- ・協定先 (株)オートクチュール
- ・受入人数 1人
- ・期間 令和5年10月1日から最大3年間
- ・業務内容 ふるさと納税返礼品開発、施設創設、とべ分校支援、台湾交流等

(3) サイクリングイベント実施事業 3,029,840 円

愛媛サイクリングの日に合わせ、町内の観光施設などを巡る、親子で楽しめるサイクリングイベント「陶街道スマイルサイクル2024」を実施しました。

- ・実施日 11月10日
- ・参加者 85人
- ・場所 町内（観光施設等ポイント10カ所）

(4) 観光振興事業費補助金 3,172,000 円

砥部町観光協会を育成し、観光の振興に資するため、補助金を交付しました。

(7年3月31日現在)

- ・団体会員 49団体
- ・個人会員 60人

(5) 観光施設管理事業 1,554,044 円

- ・公用車管理費（法定点検、自動車損害共済、燃料費等） 427,202円
- ・観光施設（陶祖ヶ丘、権現山休憩所、とべ温泉の光熱水費等） 617,740円
- ・修繕費（権現山） 97,350円
- ・とべ温泉湯砥里館回数券払戻し等 411,752円

3 陶街道五十三次事業費（07-01-04-02及び52） 5,344,125 円

(1) 陶街道クリーン事業 3,917,954 円

「砥部陶街道五十三次」沿線や観光ポイントの草刈り、清掃など、美化作業を実施しました。

- ・雇用期間 4月1日～7年3月31日
- ・雇用人数 2人
- ・賃金 3,634,627円
- ・消耗品費等 71,412円（チップソー、ナイロンコード、草刈機燃料代等）
- ・公用車経費 211,915円（燃料費、リース料等）

(2) 陶街道五十三次普及啓発事業 990,287 円

巡回者の利便性と陶街道五十三次の普及啓発を図るため、案内看板やポイント周辺の整備を行いました。

・普及啓発事業(主な経費)

完巡メダル・スタンプ・ステッカーなどの製作	417,307 円
11 ウォークパンフレット増刷	297,000 円
川登駐車場用地借上料	178,712 円
陶板の道修繕	57,200 円
陶街道夢タワー維持管理	40,068 円

○完巡者等

単位：人

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
完巡者	220	297	286	297	325
特巡者	546	489	547	87	134
11ウォーク	73	75	76	77	44

※特巡者＝県外観光客で大南周辺 11ヶ所中 5ヶ所以上巡回

(3) 砥部陶街道応援事業助成金 435,884 円

魅力あるふるさとづくりと地域の活性化を図るために活動する、町内に拠点を置く団体に助成金を交付しました

単位：円

事業名	団体名	補助金額
第9回 木とあそぼう！「木育がっこう」	砥部みらい会議	50,000
陶街道 53 次 4 番魔住ヶ窪 環境整備	重光区	50,000
大南夜市	とべ大南商店会	50,000
秋祭りPR	秋祭りPR委員会	50,000
陶街道を彩る作家たちの出会い店	砥部アートプロジェクト	50,000
陶街道楽市楽座フェスタ	陶街道楽市楽座グループ	50,000
第4回 建設機械親子操作体験会	砥部町建設業協会	50,000
砥部焼の魅力再発見！「砥部焼勉強会」	とべやきひろめ隊	35,884
とべ桜まつり	とべ桜まつり実行委員会	50,000

4 農村工芸体験館費 (07-01-04-03) 1,314,990 円

砥部焼体験型観光施設として利用者へのサービスの充実を図るため、指定管理者制度による施設の運営を、砥部焼陶工が組織する団体 T・T・S (砥部焼体験サポート) に委託し、効率的な運営に努めました。(委託期間は 2 年度から 6 年度までの 5 年間)

(1) 農村工芸体験館の施設運営費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
施設運営費	1,314,990	1,093,681	1,343,381	1,150,996	1,397,396
委託料	1,044,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000
工事請負費	0	0	0	0	0
その他	270,990	49,681	299,381	106,996	353,396

※ 委託料は、指定管理料です。

※ その他は、ガス設備工事 21 万 3 千円、建物災害共済基金分担金 5 万 8 千円です。

(2) 運営状況

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
開館日数(日)	308	310	311	273	301
入館者数(人)	2,655	2,321	2,655	1,967	2,111
体験者数(人)	2,050	1,807	1,972	1,310	1,404
売上金額(円)	5,459,680	4,794,890	5,364,245	3,674,380	3,936,425

5 交流ふるさと研修の宿費(07-01-04-04) 702,516円

宿泊施設として利用者へのサービスの充実を図るため、指定管理者制度による施設の運営を、民間で組織する Green Project (グリーン プロジェクト) に委託し、効率的な運営に努めました。(委託期間は2年度から6年度までの5年間)

(1) 交流ふるさと研修の宿の施設運営費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
施設運営費	702,516	836,716	2,094,016	820,788	717,916
委託料	504,000	504,000	504,000	504,000	504,000
工事請負費	0	0	1,394,800	0	0
その他	198,516	332,716	195,216	316,788	213,916

※ 委託料は、指定管理料です。

※ その他は、建物災害共済基金分担金 15万1千円、貯水槽点検清掃 4万7千円です。

(2) 運営状況

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
開館日数(日)	340	360	365	266	352
利用者数(人)	1,213	1,822	2,006	966	2,601
うち宿泊者(人)	30	103	5	3	4
売上金額(円)	1,803,340	2,357,800	2,745,600	950,000	2,520,400

6 峡の館費(07-01-04-05) 3,940,634円

地域資源を活用した特産品などの販売を行い、都市と農村の交流を図るため、指定管理者制度による施設の運営を、民間で組織する Green Project (グリーン プロジェクト) に委託し、効率的な運営に努めました。(委託期間は2年度から6年度までの5年間)

(1) 峡の館の施設運営費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
施設運営費	3,940,634	3,687,712	3,865,944	3,950,536	3,947,151
修繕料	386,017	31,680	17,627	34,017	318,834
委託料	3,336,560	3,391,560	3,391,560	3,391,560	3,391,560
工事請負費	0	0	249,700	0	0
備品購入費	0	0	0	286,572	0
その他	218,057	264,472	207,057	238,387	236,757

※ 修繕料の主なものは、自動火災報知設備交換 27万5千円、やぐら修繕料 8万3千円です。

※ 委託料は、指定管理料 295万2千円、POSシステム保守管理料 38万5千円です。

※ その他の主なものは、建物災害共済基金分担金 12万4千円、四国地区道の駅連絡会負担金 5万円です。

(2) 運営状況

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
開館日数(日)	361	362	361	361	360
来客者数(人)	39,302	42,234	44,406	44,575	54,562
売上金額(円)	40,824,666	44,186,198	45,907,901	46,570,398	54,229,672

※ 来客者数はレジ通過者です。

7 陶芸創作館費(07-01-05-01及び52) 24,013,953円

砥部焼体験型観光施設として、利用者へのサービスの充実や、砥部焼の知名度向上及び歳入確保を目的とした出張絵付けを積極的に行うなど、安定した施設の管理運営に努めました。

県窯業技術センターと連携を強化するため、砥部焼技術研究員を設置し、週2回駐在させています。

(1) 陶芸創作館の施設運営費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
施設運営費	24,013,953	20,588,920	18,295,421	14,505,924	15,466,346
人件費	16,110,603	12,373,055	10,963,997	10,228,989	9,871,201
光熱燃料費	1,951,219	1,678,961	1,679,389	1,427,084	1,453,353
役務費	1,626,441	1,622,388	1,393,877	655,505	724,910
原材料費	3,328,995	2,958,013	2,647,065	834,926	1,016,796
工事請負費	0	0	464,420	0	1,487,200
その他	996,695	1,956,503	1,359,420	912,886	1,558,835

※ 人件費は、砥部焼技術研究員1人、パート職員6人の計7人分です。

※ 役務費の主なものは、砥部焼作品等の郵送料133万円です。

※ 原材料費は、素焼、粘土、釉薬など砥部焼作成に係る材料代です。

※ その他の主なものは、梱包用段ボールなどの消耗品費49万円、公用車リース15万2千円です。

デジタル田園都市国家構想交付金34,000円を充当しています。

(2) 運営状況

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
開館日数(日)	308	312	312	215	287
入館者数(人)	8,809	9,147	8,664	3,114	3,370
体験者数(人)	6,749	7,368	6,747	2,657	2,846
体験者/入館者(%)	76.6	80.6	77.9	85.3	84.5
売上金額(円)	11,089,679	11,351,925	9,772,875	4,354,721	4,810,928

○参考 出張絵付け

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
出張回数(回)	52	42	48	20	24
売上金額(円)	3,506,290	3,423,760	2,931,950	887,050	748,400
※(2)「売上金額」の内数					

○収支状況

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
歳入	11,089,679	11,351,925	9,772,875	4,354,721	4,810,928
歳出	24,013,953	20,588,920	18,295,421	14,505,924	15,466,346
実質収支	▲12,924,274	▲9,236,995	▲8,522,546	▲10,151,203	▲10,655,418

陶芸創作館運営状況



8 砥部焼伝統産業会館費（07-01-06-01 及び 52） 28,198,585 円

砥部焼の歴史的資料や優秀作品の展示紹介をするとともに、窯元の創作意欲の喚起と技術の向上を図るため、特別展を開催しました。

(1) 砥部焼伝統産業会館の施設運営費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
施設運営費	28,198,585	25,021,173	25,850,839	20,185,116	17,819,188
人件費	10,162,114	7,853,681	6,885,599	6,712,332	6,450,042
光熱燃料費	3,081,191	2,807,183	2,988,333	2,473,653	2,321,595
賄材料費	6,103,718	6,119,757	6,403,351	3,298,923	3,130,060
委託料	4,254,360	4,254,360	6,438,160	4,452,480	4,269,480
修繕料	1,380,500	404,168	893,200	200,200	233,200
その他	3,216,702	3,582,024	2,242,196	3,047,528	1,414,811

※ 人件費は、パート職員 6 人分です。

※ 賄材料費は、窯元紹介コーナーの商品仕入代です。

※ 委託料の主なものは、清掃業務委託 231 万円、設備保守点検委託 99 万円、警備業務委託 46 万 7 千円です。

※ 修繕料の主なものは、吸収式冷温水機修繕 35 万 2 千円、パワーシスターン交換 23 万 1 千円です。

※ その他の主なものは、パソコン購入費 4 台分 131 万 5 千円、施設管理用消耗品 46 万 3 千円、電話や郵送料などの通信費 44 万円、浄化槽清掃 34 万 4 千円、クレジットカードの手数料 18 万 4 千円、公用車リース 15 万 2 千円です。

(2) 運営状況

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
開館日数(日)	309	310	309	228	287
入館者数(人)	15,904	18,400	17,191	11,040	6,800
有料	2,783	3,638	3,920	2,821	2,622
無料	13,121	14,762	13,271	8,219	4,178
有料/計(%)	21.2	19.8	22.8	25.6	38.6

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
入館料	602,990	766,650	867,220	636,720	604,130
使用料	483,600	33,600	343,600	16,800	4,800
商品売上	11,270,353	11,204,693	11,860,990	5,804,701	5,975,039
合計	12,356,943	12,004,943	13,071,810	6,458,221	6,583,969

○収支状況

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
歳入	12,356,943	12,004,943	13,071,810	6,458,221	6,583,969
歳出	28,198,585	25,021,173	25,850,839	20,185,116	17,819,188
実質収支	▲15,841,642	▲13,016,230	▲12,779,029	▲13,726,895	▲11,235,219

砥部焼伝統産業会館運営状況



(3) 特別展開催状況

内 容	期 間
砥部焼端午の節句とこどもの日まつり	4月6日～5月6日
砥部焼新作展 2024	4月20日～5月12日
砥部焼の青	7月20日～8月18日
砥部焼いきもの展	9月14日～10月14日
砥部焼技能士会展 2024	11月2日～12月1日
砥部焼干支展・巳	11月2日～1月13日
砥部焼伝統工芸士会展 2025	1月2日～2月2日
砥部焼ひなまつり展	2月1日～3月23日
砥部焼陶画教室生作品展 2025	2月22日～3月23日

第3 消費者行政

1 消費者行政活性化事業費（07-01-07-01） 754,380 円

振り込め詐欺や悪質商法など被害未然防止のため広報誌への情報掲載や、防災行政無線による迅速な注意喚起を行いました。また消費生活相談員の配置や職員研修など、消費生活相談体制の充実に努めました。

- 消費生活相談員
東温市、松前町と共同で1人配置し、各種相談にあたっています。
- 消費者教育
消費生活に関する情報提供や消費者被害に遭わないための啓発活動として、SDGs 啓発グッズや消費者教育副読本などを作成し、小中学校へ配布しました。

○消費者生活相談の相談件数

単位：件

区分	6年度	5年度	4年度	3年度	2年度
砥部町窓口	46	47	42	43	35
県センター	57	42	40	39	47
合計	103	89	82	82	82

県市町消費者行政活性化事業費補助金 49,000 円を充当しています。





重点施策

快適な住民生活を支える社会基盤の実現

主要施策

- ① 住環境の整備
- ② 交通環境の整備

第1 農林水産業費

1 土地改良諸費 (06-01-04-01) 54,070,029 円

土地改良施設の事務や維持管理及び改修等に要した経費です。

- ・ 旅費 11,000 円
- ・ 事務消耗品費 30,470 円
- ・ 町管理施設電気代 982,126 円
- ・ 農業土木積算システム運用業務委託料 266,200 円
- ・ 農地中間管理機構関連農地整備事業砦部地区換地関係業務委託料 209,000 円

県営農地整備事業砦部地区換地関係業務委託金 209,000 円を充当しています。

- ・ 崩土等取除機械借上料 2,421,439 円 (16 件)
- ・ 新開揚水施設修繕工事 8,000,000 円

新開揚水施設



県単独土地改良事業補助金 3,200,000 円を充当しています。

・町単独土地改良事業補助金 5,959,000 円

単位：円

事業内容	6年度		5年度		4年度		補助率(%)
	件数	補助金額	件数	補助金額	件数	補助金額	
かんがい排水	6	1,668,000	4	1,616,000	6	2,729,000	50
舗装	1	370,000	1	392,000	4	2,641,000	50
農道改良	1	259,000	2	2,373,000	1	1,980,000	50
ため池	2	1,201,000	1	1,115,000	0	0	65
災害	5	2,461,000	3	1,266,000	2	646,000	80
園地造成	0	0	1	150,000	1	300,000	50
計	15	5,959,000	12	6,912,000	14	8,296,000	

・その他補助金 4,699,000 円

〔 砥部地区かんがい排水施設維持管理費 3,900,000 円
 国営造成施設管理体制整備促進事業 799,000 円

水利施設管理強化事業補助金 599,250 円（国費 399,500 円、県費 199,750 円）を充当しています。

・各種団体負担金等 31,490,304 円

単位：円

負担金等の名称	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
道後平野土地改良区賦課金	5,766,304	5,774,822	5,784,021	▲8,518
県土地改良事業団体連合会賦課金	43,200	43,200	43,200	0
伊予市伊予郡土地改良事業協議会賦課金	100,000	100,000	100,000	0
県土地改良事業団体連合会特別賦課金	225,300	492,800	126,200	▲267,500
伊予市伊予郡土地改良事業協議会特別賦課金	253,500	528,100	156,300	▲274,600
県ダム発電関係協議会負担金	5,000	5,000	5,000	0
伊予市伊予郡土地改良事業協議会現地研修負担金	60,000	0	0	60,000
県営事業負担金	25,037,000	16,283,000	15,412,296	8,754,000
計	31,490,304	23,226,922	21,627,017	8,263,382

県営土地改良事業地元負担金 4,102,800 円を充当しています。

県営農地中間管理機構関連農地整備事業 砥部地区



【令和7年度への繰越事業】

・永立寺川取水堰詳細設計委託業務 5,000,000 円

関係機関（愛媛県、水利組合）との協議に不測の日数を要したため、令和7年度へ繰り越しました。

2 林道維持費 (06-02-01-04) 5,201,300 円

町が管理する林道の維持管理に要した経費です。

- ・崩土等取除機械借上料 199,100 円 (2 件)
- ・林道維持工事 497,200 円
- ・県営事業負担金 4,490,000 円
- ・県森林土木協会負担金 15,000 円

砥部町整備分 延長 L=3.4 km
整備済み L=0.4 km

県営林道 万年鶴崎線



第 2 土木費

1 土木総務費 (08-01-01-01) 2,818,757 円

建設課全般の事務費です。

- ・旅費 213,890 円
- ・事務消耗品費 476,420 円
- ・土木係公用車等の維持管理費 264,046 円
- ・建築法規等追録費 103,961 円
- ・川登トンネル水質検査等の手数料 15,400 円
- ・法定外公共物用土地情報閲覧システム保守委託料 220,000 円
- ・公共土木積算システム関連使用料及び賃借料 721,930 円
- ・高速道路使用料 51,210 円
- ・法定外公共物用土地情報閲覧システム用デスクトップパソコン 196,900 円
- ・各種期成同盟会等への負担金 555,000 円
- ・開発指導

秩序ある明るく住みよいまちづくりを図るため、住宅開発などに関し砥部町開発指導要綱に基づき、開発区域面積 1,000 m²以上の開発事業について、事業者と事前協議を行いました。

【事前協議での同意件数】

区 域	6 年度		5 年度		4 年度	
	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)	件数	面積 (m ²)
都市計画区域内	6	11,377.01	4	6,040.78	2	4,941.96
都市計画区域外	2	4,378.28	0	0	4	5,624.58
計	8	15,755.29	4	6,040.78	6	10,566.54

- ・法定外公共物(里道・水路)管理

法定外公共物¹の管理事務を次のとおり行いました。

【事務処理件数】

単位：件

事務内容	6年度	5年度	4年度
境界確認	25	27	20
使用許可	31	33	32
用途廃止	3	3	2

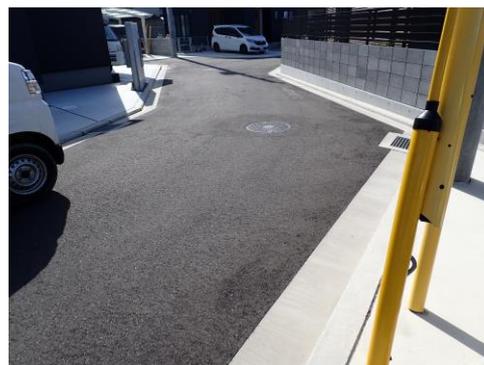
2 道路橋梁総務費 (08-02-01-01) 6,720,000 円

町道の新規認定及び区域変更路線に係る道路台帳の更新に要した経費です。

- ・道路台帳補正委託料 6,720,000 円

【台帳更新内容】

- ・新規認定 4 路線
- ・区域変更等 20 路線
- ・橋梁台帳作成 2 橋追加



新規認定した町道 (拾町 2 号線 L=50m)

3 道路維持費 (08-02-02-01) 139,625,733 円

町道 517 路線 (総延長 約 267km) の維持管理に要した費用です。

(1) 道路維持委託料 289,520 円

- ・町有建設機械 (ホイールローダ) 運転委託料 289,520 円
- <運行実績> 道路維持 15 回

(2) 道路維持工事請負費 102,748,920 円

【現年度予算事業】

単位：円

事業種目	施工件数	事業費
道路維持工事 (資産)	24	29,359,890
舗装補修工事 (資産)	13	43,442,700
道路維持工事 (資外)	43	27,999,990
計	80	100,802,580

公共施設等適正管理推進事業債
29,600,000 円を充当しています。

【交通安全施設整備状況】

単位：円

年度	6年度	5年度
事業費	1,946,340	1,534,940
事業内容	・カーブミラー 移設 3 基、新設 2 基、撤去 12 基 取替 14 基、その他 2 基	・カーブミラー 移設 1 基、新設 2 基、撤去 5 基 取替 6 基、その他 5 基

※令和 6 年度末町管理カーブミラー基数 1,151 基

¹ 里道や水路のことで、これらの管理事務は、国から市町村に移っています。境界確認や用途の変更などをしようとするときは、町の立会、承認等が必要となります。

(3) その他の費用 36,587,293 円

- ・ ホイールローダ維持管理費 677,191 円
- ・ 町道照明灯電気代等 523,457 円 (9 路線 27 か所及び大友山トンネル)
- ・ 町道崩土等取除機械借上料 14,458,821 円 (92 件)
- ・ 道路原材料費(舗装補修材料、凍結防止剤、生コン代等) 2,571,800 円
- ・ 広田地区道路維持管理補助金 1,714,000 円
- ・ 公共下水道整備舗装工事に伴う道路管理者負担金 14,652,000 円
- ・ 道路清掃ボランティア関係費用 81,810 円
- ・ 支障配電設備等移転補償費 1,908,214 円



国道 33 号ボランティア清掃の様子

4 橋梁維持費 (08-02-02-02) 52,911,000 円 【主要施策②】

町が管理する橋梁の修繕に要した費用です。

(1) 橋梁維持委託料 17,758,000 円

- ・ 橋梁定期点検委託料 (新桜木橋他 33 橋) 16,130,000 円
- ・ 麻生歩道橋定期点検委託料 1,628,000 円

(2) 橋梁維持工事請負費 35,153,000 円

【令和 5 年度からの繰越事業】

単位：m、円

橋 梁 名	橋 長	幅 員	事 業 費	概 要
中樋橋	23.0	3.6	35,153,000	高欄取替工 L=46m 塗替塗装工 A=131㎡
計			35,153,000	

国の道路メンテナンス事業補助金 27,522,000 円、公共事業等債 12,300,000 円を充当しています。※現年・繰越分含む

中樋橋



5 道路新設改良費 (08-02-03-01) 88,947,493 円 【主要施策②】

町道の新設改良に要した費用です。

(1) 道路新設改良委託料 8,527,060 円

単位：円

路線名	測量調査	土地鑑定	登記事務	小計
高尾田上野線	5,653,000	304,700	878,530	6,836,230
宮内上組線	—	556,600	—	556,600
大南大岩橋線	—	—	125,895	125,895
客大谷線	—	—	1,008,335	1,008,335
計	5,653,000	861,300	2,012,760	8,527,060

【令和7年度への繰越事業】

- ・宮内上組線分筆登記事務委託料 1,210,000 円
- ・宮内上組線道路詳細設計委託料 5,500,000 円

関係機関（国土交通省・愛媛県警）との協議や地権者との調整に不測の日数を要し、年度内の完成が見込めなくなったため、令和7年度へ繰り越しました。

(2) 道路新設改良工事請負費 71,304,000 円

【令和5年度からの繰越事業】

単位：m、円

路線名	施工延長	幅員	事業費	概要
五本松鷹尾線	68.0	4.0	27,537,000	ブロック積工 A=101 m ² 防護柵工 L=35m
計			27,537,000	

五本松鷹尾線



【現年度事業】

単位：m、円

路線名	施工延長	幅員	事業費	概要
五本松原うね線	98.1	5.5	37,067,000	擁壁工 V=66 m ³ ブロック積工 A=283 m ²
客大谷線	61.2	4.0	6,700,000	前払い金
計			43,767,000	

五本松原うね線



【令和 7 年度への繰越事業】

- ・客大谷線道路改良工事 11,300,000 円
支障工作物（電柱）の移転に不測の日数を要し、年度内の完成が見込めなくなったため、令和 7 年度へ繰り越しました。

(3) その他の費用 9,116,433 円

- ・公有財産購入費 1,369,521 円

単位：㎡、円

路線名	面積	金額	概要
大南大岩橋線	238.54	1,369,521	道路拡幅のため用地買収
計		1,369,521	

- ・補償補填及び賠償金 5,948,192 円

単位：円

路線名	種類	金額
大南大岩橋線	鉄筋 CON 造平屋建車庫移転	5,159,402
客大谷線	電力柱移転	788,790
計		5,948,192

- ・県営事業負担金（道路事業） 1,798,720 円

国の防災・安全交付金 23,491,000 円、公共事業等債 14,600,000 円を充当しています。

6 河川総務費 (08-03-01-01) 1,463,385 円

- ・玉谷川沿いにある照明灯の電気代等 77,385 円
- ・県営事業負担金（河川砂防事業） 1,386,000 円

7 都市計画総務費 (08-04-01-01) 21,478,031 円

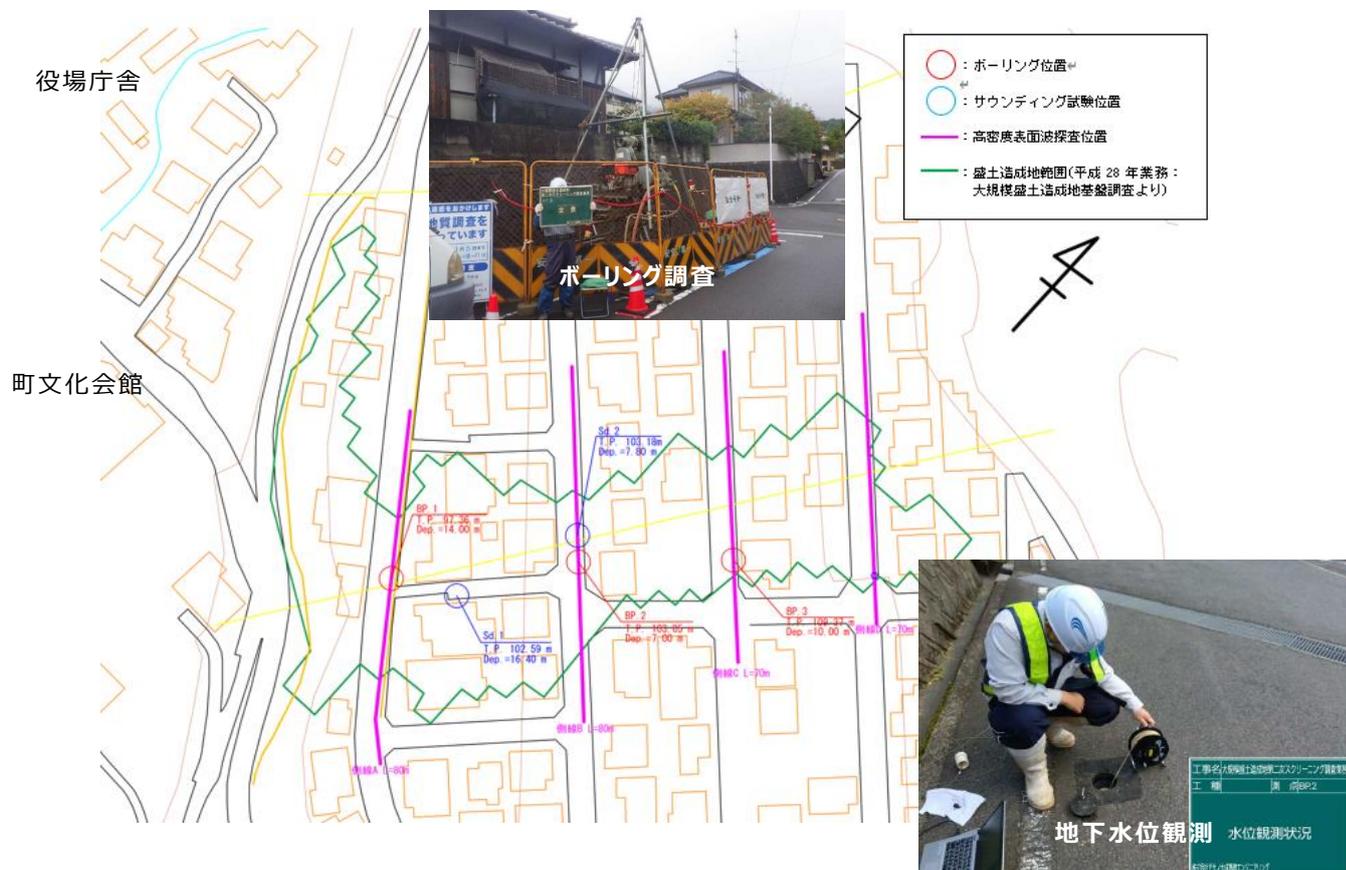
- ・大判コピー機賃貸借料 272,316 円
- ・都市計画基礎調査²委託料 3,421,000 円

県の都市計画基礎調査補助金 1,710,500 円を充当しています。

² 都市計画法に基づき、おおむね 5 年ごとに都市現況及び将来の見通しを定期的に把握するための調査です。

- ・その他一般事務費 213,715 円
- ・大規模盛土造成地³第二次スクリーニング調査業務 17,571,000 円

大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査（さかえ団地）



ボーリングによる地盤調査等を実施し、得られたデータを基に地震時に盛土に滑りが発生する可能性を計算（安定計算）した結果、「滑動崩落のおそれがない」と判断されました。

国の防災・安全交付金 4,627,000 円（現年分：4,380,000 円・補正予算分 247,000 円）を充当しています。

8 雨水対策費（08-04-03-02） 4,593,000 円

高尾田地区の排水施設建設にむけた詳細設計及び建設候補地の支障物件調査及び地質調査に要した費用です。

- ・高尾田地区雨水排水施設建設工事に伴う地質調査委託料 2,393,000 円
- ・高尾田地区雨水排水施設建設工事に伴う物件等調査委託料 2,200,000 円

緊急自然災害防止対策事業債 4,500,000 円を充当しています。

³ 谷や沢を埋め立てて造成されたり、傾斜地盤上に盛土して造成されたりした土地のうち、一定の面積や高さなどの要件を満たす造成地で、町内では3か所（砥部工業団地、さかえ団地、大南ニュータウン）が該当しています。

【令和7年度への繰越事業】

- ・高尾田地区雨水排水施設建設工事に伴う詳細設計委託料 26,500,000 円
関係機関（愛媛県）との協議や地権者との調整に不測の日数を要し、年度内の完成が見込めなくなったため、令和7年度へ繰り越しました。

9 公園管理費（08-04-04-01,52） 18,616,207 円

町が管理する条例公園等の維持管理に要した費用です。

6年度は、衝上断層公園トイレ洋式化工事と重信川河川敷公園トイレ改築工事をを行い、公園利用者の快適性及び利便性の向上を図りました。

単位：円

	公園管理費内訳					
	人件費・報償費	修繕・工事	清掃委託	浄化槽管理	公用車管理	その他経費
6年度	6,594,700	6,091,800	2,670,500	1,047,020	576,223	1,635,964
5年度	5,105,097	4,203,670	2,123,800	1,070,500	411,746	1,705,370
4年度	5,008,458	7,197,346	2,123,800	1,229,940	669,319	1,325,120
増減(6-5)	1,489,603	1,888,130	546,700	▲23,480	164,477	▲155,960

重信川河川敷簡易トイレ改築工事



衝上断層公園トイレ洋式化工事



10 住宅管理費 (08-05-01-01) 39,096,923 円

公営住宅及び町が管理する住宅の維持管理のための費用や住宅に係る補助金等に要した費用です。

(1) 維持管理費 3,603,033 円

公営住宅、特定公共賃貸住宅及び後継者・単身者・若者定住促進住宅の維持管理に要した費用です。

単位：円

	維持管理費	内 訳				
		修繕料	工事請負費	保険料	設備点検費	その他経費
6年度	3,603,033	2,997,352	0	270,588	187,000	148,093
5年度	8,574,513	2,426,724	5,665,000	246,438	187,000	49,351
4年度	9,011,146	2,674,775	5,856,400	246,438	156,200	77,333
増減(6-5)	▲4,971,480	570,628	▲5,665,000	24,150	0	101,742

(2) 申込状況

6年度の申込み状況は、砥部地域3戸の募集に対し、3件の応募があり3戸入居し、広田地域6戸の募集に対し、3件の応募があり3戸入居しました。

空き部屋が発生する都度、広報等で募集し、申込み世帯が募集戸数を超える場合は、抽選を行っています。応募がない場合は、随時受け付けています。

(3) 町営住宅等適正管理事業 26,644,000 円

老朽化した中替地団地、神崎団地の解体工事を実施しました。

- ・中替地団地解体工事 9,132,000 円
- ・神崎団地解体工事 17,512,000 円

過疎対策事業債 26,600,000 円を充当しています。

中替地団地解体工事



神崎団地解体工事



(4) 町営住宅等長寿命化事業 2,145,000 円

川下第 2 団地の外壁等改修工事の設計を行いました。

- ・川下第 2 団地外壁等改修工事設計 2,145,000 円

(5) 空き家対策事業 297,000 円

ブロック塀が道路に倒壊する恐れのある特定空家等⁴の略式代執行を行いました。

- ・特定空家等ブロック塀除却工事 297,000 円

特定空家等ブロック塀除却工事



(6) 木造住宅耐震診断補助事業費 763,890 円

住宅の耐震化を推進するため、昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工された町内の一戸建ての木造住宅を対象に「愛媛県木造住宅耐震診断マニュアル」に基づき派遣された技術者による、耐震診断を行いました。

単位：戸、円

区分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
実施戸数	15	2	0	13
派遣委託料	763,890	101,852	0	662,038

※派遣診断は、愛媛県建築士会が選定した耐震診断技術者が行います。個人負担額は、3,000 円又は 9,000 円（税別）です。（評価機関によって費用が変わります。）

国の社会資本整備総合交付金 381,000 円、県の木造住宅耐震診断促進事業債 180,000 円を充当しています。

(7) 木造住宅耐震改修補助事業費 3,300,000 円

木造住宅の耐震化を図るため、町の木造住宅耐震診断補助事業による診断を行った結果、「倒壊する可能性が高い」、若しくは「倒壊する可能性がある」と判定された住宅を対象として、耐震改修工事を行う際の設計、改修工事及び工事監理に対し、費用の一部を補助しました。

⁴ 倒壊の危険性があり、周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態の空家等のことです。

単位：戸、円

区 分		6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
診 断	実施戸数	1	0	1	1
	(補助対象事業費)	(60,000)	(0)	(60,000)	(60,000)
	補助金	40,000	0	40,000	40,000
設 計	実施戸数	1	2	2	▲1
	(補助対象事業費)	(300,000)	(600,000)	(600,000)	(▲300,000)
	補助金	200,000	200,000	200,000	0
改修工事	実施戸数	3	0	2	3
	(補助対象事業費)	(6,183,455)	(0)	(4,595,510)	(6,183,455)
	補助金	3,000,000	0	2,000,000	3,000,000
工事監理	実施戸数	3	0	2	3
	(補助対象事業費)	(210,200)	(0)	(120,000)	(210,200)
	補助金	60,000	0	40,000	60,000

※各上限金額 診断 4 万円/件、設計 20 万円/件、改修工事 100 万円/件、工事監理 2 万円/件

国の社会資本整備交付金 1,520,000 円、県の木造住宅耐震化促進事業補助金 750,000 円と木造住宅耐震改修設計促進事業費補助金 100,000 円を充当しています。

(8) 耐風改修補助事業費 446,000 円

地震時、強風時に対する建築物の安全性の向上及び瓦屋根の脱落・飛散による被害から人命を守るため、瓦屋根の耐風診断・改修工事に対し、費用の一部を補助しました。

単位：戸、円

区 分		6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
診 断	実施戸数	1	1	1	0
	(補助対象事業費)	(30,000)	(40,000)	(30,000)	(▲10,000)
	補助金	20,000	21,000	20,000	▲1,000
改修工事	実施戸数	1	1	1	0
	(補助対象事業費)	(1,854,546)	(3,586,364)	(2,024,490)	(▲1,731,818)
	補助金	426,000	552,000	485,000	▲126,000

※各上限金額 診断 2.1 万円/件 改修工事 55.2 万円/件

国の社会資本整備総合交付金 223,000 円を充当しています。

(9) ブロック塀等安全対策事業費 600,000 円

地震に対するブロック塀等の安全性の向上を図るため、避難路等に面するブロック塀等の安全対策工事に対し、費用の一部を補助しました。

単位：戸、円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
実施戸数	2	3	11	▲1
(補助対象事業費)	(1,487,717)	(1,423,873)	(4,774,565)	(63,844)
補助金	600,000	790,000	2,561,000	▲190,000

※上限金額 30 万円/件

国の社会資本整備総合交付金 300,000 円、県のブロック塀等安全対策事業債補助金 150,000 円を充当しています。

(10) 住宅リフォーム補助事業 1,298,000 円

良好な住環境整備を促進するとともに、空家の増加抑制を図るため、リフォーム工事に係る経費に対し、費用の一部を補助しました。

単位：戸、円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
実施戸数	8	11	11	▲3
(補助対象事業費)	(15,646,806)	(16,308,202)	(17,380,550)	(▲661,396)
補助金	1,298,000	1,449,000	1,670,000	▲151,000

※上限金額 20 万円/件

第 3 災害復旧費

1 公共土木施設現年災害復旧費 (11-01-02-01) 98,185,646 円

(1) 工事請負費 98,185,646 円 【令和 5 年度からの繰越事業】

令和 5 年 7 月の梅雨前線豪雨により被災した災害復旧工事に要した費用です。

単位：m、円

河 川・路 線 名	復旧延長	事 業 費	概 要
(普) 山中川	46.0	10,098,221	ブロック積工 87 m
岩谷口中央線	5.0	2,169,000	ブロック積工 18 m
総津高市線	5.0	1,987,000	ブロック積工 16 m
総津高市線	12.0	4,158,819	ブロック積工 23 m
重光田の浦線	12.0	6,776,636	ブロック積工 55 m
重光田の浦線	14.0	3,732,114	ブロック積工 35 m
重光田の浦線	14.0	4,038,345	ブロック積工 43 m
重光田の浦線	10.0	4,400,000	ブロック積工 35 m
篠谷線	7.0	2,171,803	ブロック積工 15 m
篠谷線	9.0	2,821,626	ブロック積工 25 m
篠谷線	12.0	7,090,169	ブロック積工 55 m
八倉田の浦線	7.0	3,374,159	ブロック積工 18 m
三角田の浦線	5.0	1,738,000	ブロック積工 10 m
千足林久線	6.5	3,684,000	ブロック積工 26 m
角谷線	12.0	3,080,000	ブロック積工 32 m
北川毛外山線	17.0	7,630,726	ブロック積工 66 m
北谷線	69.0	16,080,127	ブロック積工 122 m
北谷線	7.0	4,180,893	ブロック積工 22 m
大平余毛線	3.0	1,254,000	ブロック積工 8 m
多居谷仙波線	11.0	4,732,979	ブロック積工 19 m、擁壁工 15 m
平畑線	6.5	2,987,029	ブロック積工 22 m
計		98,185,646	

国庫負担金 65,489,000 円、災害復旧事業債 32,600,000 円を充当しています。

普通河川山中川



町道重光田の浦線



町道北谷線



【令和7年度への繰越事業】

- ・公共土木施設現年災害復旧工事(町道仙波線他3件) 42,000,000円
災害査定終了後に入札を執行し契約を締結しましたが、標準工期が確保できないため、令和7年度へ繰り越しました。

2 農業用施設現年災害復旧費（11-02-01-01） 120,601,446 円

(1) 工事請負費 120,601,446 円

令和5年7月の梅雨前線豪雨により被災した災害復旧工事に要した費用です。

単位：m、円

施設名	復旧延長	事業費	概要
満穂園地	8.0	2,588,000	ブロック積工 22 m ² 、石積工 4 m ²
麻生園地	11.0	2,322,210	ブロック積工 16 m ² 、石積工 3 m ²
洲立南線	3.0	660,000	ブロック積工 3 m ² 、コンクリート舗装工 3 m ²
イジガ谷線	16.0	4,838,790	ブロック積工 46 m ² 、コンクリート舗装工 28 m ²
持谷線	31.0	10,086,780	ブロック積工 98 m ² 、コンクリート舗装工 33 m ²
持谷線	34.0	8,613,660	ブロック積工 92 m ² 、コンクリート舗装工 33 m ²
柳ヶ谷線	19.0	6,331,600	ブロック積工 56 m ² 、アスファルト舗装工 24 m ²
大畑線	23.0	5,902,710	ブロック積工 44 m ² 、コンクリート舗装工 30 m ²
永立寺南谷線	8.0	1,994,300	ブロック積工 17 m ² 、コンクリート舗装工 7 m ²
オズ工線	35.0	9,299,000	ブロック積工 101 m ² 、コンクリート舗装工 25 m ²
オズ工線	11.0	6,184,000	ブロック積工 68 m ² 、コンクリート舗装工 11 m ²
花ヶ谷線	11.0	3,254,000	ブロック積工 33 m ² 、コンクリート舗装工 17 m ²
藤ヶ谷線	14.0	3,184,896	ブロック積工 39 m ² 、法面整形 15 m ²
五本松大谷線	4.0	1,980,000	ブロック積工 11 m ² 、コンクリート舗装工 11 m ²
五本松大谷線	11.0	3,960,000	ブロック積工 46 m ² 、コンクリート舗装工 20 m ²
タル線	40.0	6,809,000	ブロック積工 79 m ² 、コンクリート舗装工 35 m ²
三角洲立水路	26.0	1,182,500	水路工 26m、石積工 44 m ²
千足上井出水路	9.0	14,286,000	水路工 9m、ブロック積工 36 m ²
五本松西ノ谷水路	5.0	1,407,000	水路工 5m、ブロック積工 9 m ²
荒倉池	20.0	25,717,000	ブロック積工 33 m ² 、法面整形 500 m ²
計		120,601,446	

国庫補助金 109,678,106 円、災害復旧事業債 1,500,000 円、地元負担金 435,000 円を充当しています。

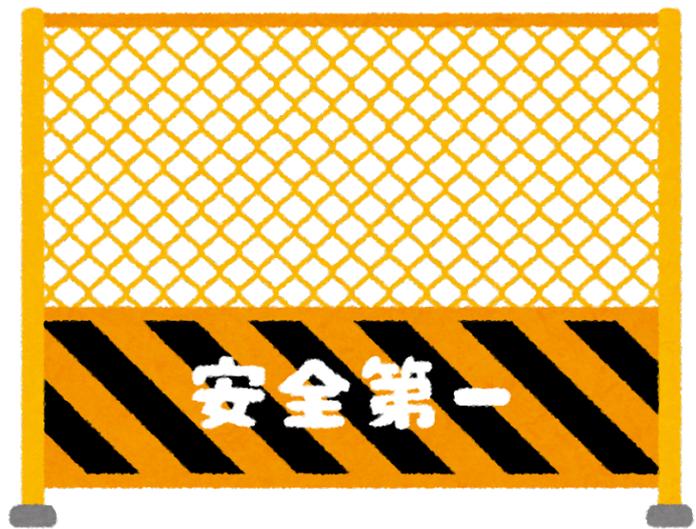
農道花ヶ谷線



千足上井出水路



荒倉池





上下水道課

重点施策

快適な住民生活を支える社会基盤の実現

主要施策

① 上下水道の整備 ② 樋門の適正管理

第1 農林水産業費

1 農業集落排水事業費（06-01-04-03）

農業集落排水事業に対する一般会計からの運営補助金です。

（1）負担金補助及び交付金

○収益事業へ補助金（運営補助金）として

単位：円

勘定科目	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
他会計補助金	3,400,000	3,700,000	6,000,000	▲300,000

○資本事業へ補助金（企業債元金償還・建設改良費）として

単位：円

勘定科目	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
他会計補助金	13,215,000	12,845,000	14,255,000	370,000

第2 土木費

1 公共下水道事業費（08-04-02-01）

公共下水道事業に対する一般会計からの運営補助金及び出資金です。

（1）負担金補助及び交付金

○収益事業へ補助金（運営補助金及び児童手当）として

単位：円

勘定科目	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
他会計補助金	150,220,000	146,160,000	141,360,000	4,060,000

（2）投資及び出資金

○資本事業へ出資金（建設改良費）として

単位：円

勘定科目	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
他会計出資金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	0

2 都市下水路費 (08-04-03-01)

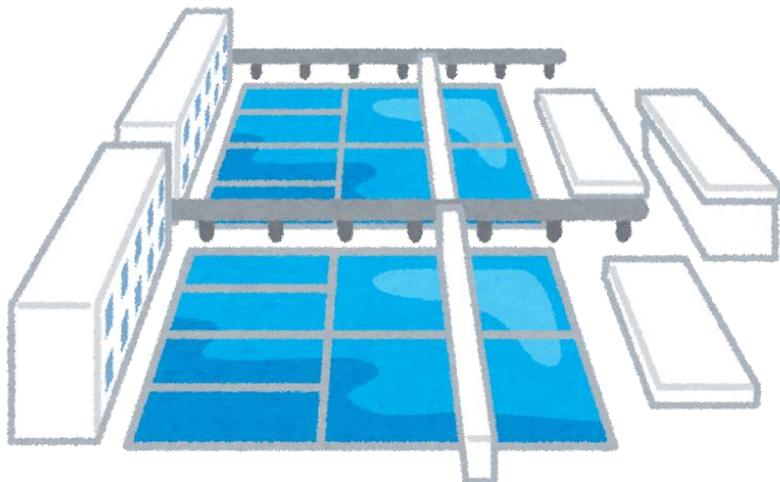
八倉樋門、八倉ゲートポンプ、日之出樋門及び八瀬樋門の維持管理費です。

(1) 樋門管理費

○維持管理経費として

単位：円

支出の内訳	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
電気代及び修繕費	209,518	196,500	497,326	13,018
清掃等委託料	198,000	165,000	231,000	33,000





重点施策

未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちの実現

主要施策

① 学校教育の充実

第 1 教育委員会

1 教育委員会費 (10-01-01-01) 1,144,500 円 (旅費・需要費含む)

(1) 教育委員年報酬(4人) 1,032,000 円

定例会(12回)及び臨時会(1回)を開催するとともに、認定こども園、幼稚園、小・中学校を訪問し教育現場等の現状把握に努め、適切な指導、助言を行いました。

(2) 教育長交際費 22,500 円

教育長が、教育行政執行上外部との交渉に要した経費で、支出状況は、町のホームページで公表しています。

- ・伊予教育会総会等会費 3件 17,500円
- ・慶弔費 1件 5,000円

(3) 教育委員会研修費、負担金等 66,000 円

愛媛県市町教育委員会連合会や伊予地区教育委員会連絡協議会における会議、研修会等に参加し、教育行政に関する基本方策や教育行政の課題等の解決に向けた認識を深めました。

2 事務局費 (10-01-02-01 及び 52) 51,528,977 円 (会計年度任用職員人件費を含む。)

(1) GIGA スクール事業 3,089,350 円 【主要施策①】

GIGA スクール構想により加速化された ICT 環境の効果的な活用を推進するため、学校や家庭においてタブレット端末を活用した授業の支援、教職員研修、教材作成等の支援ができる ICT 支援員 1 人を学校に配置しました。

(2) 部活動地域移行事業 80,000 円 【主要施策①】

地域部活動検討委員会を設置し、砥部中学校の休日部活動の方針について協議しました。

- ・委員謝礼 80,000 円 (2 回実施)

(3) 校務支援事業 7,617,456 円 【主要施策①】

学校との事務連携強化や教職員の事務負担を削減することを目的に、校務用パソコンや、校務支援システムなどを導入し、出欠、成績処理、健康の管理や、教職員間でメッセージのやり取りのほか、学校図書の電子管理など、校務支援を行いました。

- ・校務用パソコン 1 台 ・センターサーバー利用料 など (事務局費負担分)

(4) 学校教育指導員配置事業 3,695,721 円 (報酬、手当、費用弁償) 【主要施策①】

学校教育課事務所内に校教育指導員 1 人を配置し、教員に対し専門的な観点から指導及び助言を行い、適切な学校運営や教員の資質向上に取り組みました。

(5) 外国語指導助手配置事業 13,939,230 円 (報酬、手当、費用弁償) 【主要施策①】

3 人の外国語指導助手を配置し、教員による外国語授業の支援を通して、児童生徒だけでなく教員の外国語を聞く力及び話す力の向上に取り組みました。

(6) 中学生英語検定料の助成事業 186,000 円 【主要施策①】

英語能力の向上を図るため、英語検定試験にチャレンジする中学生を対象に英語検定料の一部（検定料の 2 分の 1 以内、上限 2,000 円）を助成しました。

・対象者 英検 3 級以上を受験した町内に住所を有する中学生の保護者 93 人

○受験結果

単位：人

	区分	準 1 級	2 級	準 2 級	3 級	合計
6 年度	受験者	0	2	34	57	93
	合格者	0	0	17	47	64
5 年度	受験者	0	2	28	49	79
	合格者	0	1	15	41	57
4 年度	受験者	0	0	13	91	104
	合格者	0	0	9	61	70

※申請者延べ数

(7) 地域の特性を生かす教育推進事業 (交付金) 950,000 円 【主要施策①】

心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図るため、小・中学校において、地域の実態を生かした特色ある教育活動を推進しました。

学校名	事業内容
麻生小学校	環境学習、地域交流、校区探検、福祉学習、平和学習、砥部焼学習、幼児交流、栽培活動、講演会など
宮内小学校	幼児交流、地域探検、奉仕活動、花・野菜栽培、お話ボランティアなど
砥部小学校	地域交流、砥部小 OB 交流、伝統文化・歴史調査・学習、福祉学習野菜・米作り体験など
広田小学校	野菜・米作り、砥部焼作り、伝統芸能（太鼓・万歳）、オペレッタ発表
砥部中学校	総合的な学習（地域調査歴史学習、人権学習、職場体験学習）

(8) 特別支援教育推進事業 12,198,082 円 【主要施策①】

町立保育所、幼稚園、こども園及び小・中学校で支援を要する子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するため、特別支援連携協議会で情報を交換するなど、関係者との連携を図りました。

ア 特別支援連携協議会及び特別支援教育推進事業 4,000 円

特別支援連携協議会により保育所、幼稚園等と小・中学校間の連携を図り、砥部こども園の保護者を対象に講演を行いました。

イ 教育相談事業 162,626 円

特別支援学校や町内小・中学校特別支援学級の先生の協力を得て、学習面、生活面、就学、言葉の発達などについて、年間 2 回（48 人）教育相談を実施しました。

ウ 巡回相談事業 350,000 円

特別支援教育士等を、町立保育所、幼稚園、こども園及び小・中学校に派遣し、日常の授業等を観察し、発達の遅れやその心配のある対象者 135 人への効果的な支援、指導のあり方

について、教員や保護者に助言等を行いました。

エ 就学支援 14,592 円

教育支援委員会において、町内の幼児、児童及び生徒 43 人を対象に、特別支援学校への入学、特別支援学級への入級、通級指導の可否など就学支援について審議しました。

オ 医療的ケア 11,666,864 円

日常的に医療的ケアを必要とする特別支援学級在籍児童 2 人について、訪問看護事業所より学校に看護師を 194 日派遣し、安心安全に学校生活を送れるよう環境整備を図りました。

国の教育支援体制整備事業費補助金 3,888,000 円及び児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金 230,000 円、県の児童虐待防止対策等総合支援事業費補助金 87,000 円を充当しています。

(9) ハートなんでも相談員設置事業 581,845 円 【主要施策①】

小学校における問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決を図るため、児童、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置しました。

- ・相談員 2 人配置、年間勤務日数 140 日、勤務時間 560 時間
- ・年間相談件数実績 396 件

相談者	相談内容								合計
	①不登校への対応	②いじめ問題への対応	③暴力行為への対応	④友人関係	⑤家庭の問題	⑥学業・進路	⑦その他	⑧相談内容の区別をしていないもの、または不明なもの	
児童	49	0	0	21	3	10	109	96	288
保護者	3	0	0	0	1	1	8	0	13
教職員	50	1	1	2	0	17	10	14	95
相談者の区別をしていないもの、または不明なもの	0	0	0	0	0	0	0	9	0
合計	102	1	1	23	4	28	127	110	396

県のハートなんでも相談員設置事業費補助金 186,000 円を充当しています。

(10) スクールソーシャルワーカー活用事業 2,252,414 円 【主要施策①】

いじめ、不登校のほか、暴力行為、児童虐待など、児童・生徒の問題行動等に対応するため、砥部中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童・生徒、保護者等の相談に応じました。

- ・スクールソーシャルワーカー(社会福祉士) 2 人配置
- ・年間勤務日数 211 日、勤務時間 909 時間
- ・拠点校である砥部中学校に配置し、要請に応じて小学校へ派遣
- ・年間新規相談件数実績 98 件

相談場所	相談内容（続く）						
	①不登校	②いじめ、暴力行為等の問題行動	③友人・教職員等との関係の問題	④児童虐待	⑤貧困の問題	⑥ヤングケアラー	⑦家庭環境の問題
小学校	11	0	8	0	3	2	6
中学校	41	0	3	0	0	0	4
合計	52	0	11	0	3	2	10

相談場所	相談内容（続き）				合計
	⑧心身の健康・保健に関する問題	⑨発達障がい等に関する問題	⑩性的マイノリティ	⑪その他	
小学校	3	6	0	0	39
中学校	3	8	0	0	59
合計	6	14	0	0	98

県のスクールソーシャルワーカー活用事業費補助金 854,254 円を充当しています。

（11）スクールカウンセラー活用事業 ※事業費無し 【主要施策①】

臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有する者をスクールカウンセラー（県費負担）として砥部中学校に派遣し、小学校と連携を図りながら家庭の問題や学業、進路、心身の健康に関する諸問題について相談に応じました。 1人 39日派遣（相談人数 延べ262人）

相談場所	相談内容（続く）							
	①不登校	②いじめ問題	③暴力行為	④児童虐待	⑤性的な被害	⑥友人関係	⑦貧困の問題	⑧ヤングケアラー
小学校	5	0	0	0	0	0	0	0
中学校	70	0	11	0	0	3	0	39
合計	75	0	11	0	0	3	0	39

相談場所	相談内容（続き）								合計
	⑨非行・不良行為	⑩家庭の問題	⑪教職員との関係	⑫心身の健康・保健	⑬性的マイノリティ	⑭学業・進路	⑮発達障害等	⑯その他	
小学校	0	0	4	1	0	2	12	0	24
中学校	3	47	9	18	0	27	3	8	38
合計	3	47	13	19	0	29	15	8	262

（12）防犯対策事業 97,570 円 【主要施策①】

ア 防犯ブザーの配布

登下校時における小学生の安全確保のため、新入学児童に対して防犯ブザーを 175 個配布しました。

イ 青色防犯パトロール

各小学校に青色回転灯装着車両を 1 台以上配備し、学校毎に月 1～4 回、早朝及び放課後（1 時間程度）に、学校、通学路等における子どもの安全確保と、地域住民に対する防犯意識の啓発を目的に、青色防犯パトロールを実施しました。

ウ 不審者情報配信事業

子どもたちが、安全で安心して生活できるまちをつくるため、愛媛県教育委員会や保育所、幼稚園、こども園、小・中学校から通報があった不審者情報を、町のメールマガジンにより

配信するとともに、町ホームページに掲載しました。 1件配信

エ スクールガード養成講習会

学校現場の安全管理を充実させるため、小・中学校の教職員及び保護者 40 人に対し、児童・生徒を取り巻く環境と、安全を確保するための課題について講習を行いました。

(13) 学校防災力強化 ※事業費無し【主要施策①】

近年、激甚化・頻発化傾向にある豪雨災害に備え、避難所となる学校の防災力強化を図るため、砥部町防災教育推進連絡協議会において、県委託事業である学校防災教育実践モデル地域研究事業（宮内小学校）の成果を各学校へ周知するとともに、大規模災害時の運営体制や検討事項について協議しました。

- ・協議会実施日 令和 7 年 3 月 13 日
- ・協議会参加 公立小中学校 5 校、公立保育所・幼稚園・こども園 4 校、松山南砥部分校、私立幼稚園・保育園・こども園 3 園、町総務課（危機管理室）、町保険健康課

○防災士資格保有教職員数

単位：人

学校名	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
麻生小学校	3	5	5	▲2
宮内小学校	6	5	5	1
砥部小学校	7	5	4	2
広田小学校	2	2	3	0
砥部中学校	1	1	1	0
合計	19	18	18	1

(14) 小学校競技大会 294,989 円

小学 6 年生の水泳大会（記録会）を実施し、また、令和 5 年度から全員参加に拡大された伊予地区陸上大会に出場し、自己の記録更新を目指し、親睦と体力づくりを図りました。

また、標準記録到達者は、県大会に出場しました。

▼ 大会における結果

- ・伊予地区陸上大会（6 位まで） 入賞者 17 人、リレー入賞 4 チーム
- ・県陸上大会(伊予地区大会 4 位以上) 出場者 14 人、リレー 3 チーム

(15) 保健対策事業 2,829,300 円

児童・生徒の健康の保持増進を図るため、学校医、学校歯科医及び学校薬剤師による健康診断(内科、歯科、眼科、耳鼻咽喉科)を実施し、学校保健委員会等を開催しました。

また、全教職員を対象にストレスチェックを実施し、メンタルヘルス不調の未然防止に努めました。

※児童・生徒及び教職員の健康診断等に係る費用 4,844,155 円及び教職員のストレスチェックに係る費用 11,946 円は学校管理費で執行

※思春期教室に係る費用 72,000 円は教育振興費で執行

(16) 教職員研修事業 ※事業費無し

町又は学校独自に研究授業や研修を実施し、教職員の指導力向上、綱紀保持及び服務規律の徹底を図りました。

- ▼ 校内研修会 開催回数 23 回、開催場所 各小・中学校、延べ参加人数 432 人

- ・中予教育事務所指導主事の指導助言を受けての授業研究等
- ・人権・同和教育研修
- ・特別支援教育研修
- ・救命救急研修
- ・学校運営協議会研修 など

(17) 愛媛新聞 for スタディ活用事業 660,000円【主要施策①】

ニュースを通じて子どもたちに、広く社会に関心を持ち主体的、対話的で深い学びを進めてもらおうと開発された「愛媛新聞 for スタディ」(©スタ)を活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りました。

(18) 愛媛県学習支援システム(EILS)活用事業 300,000円【主要施策①】

日常のテスト、ドリルの実施、採点だけでなく、結果の分析や良問を共有する機能等を有する愛媛県独自のCBT*を主体とした学習支援システムである愛媛県学習支援システム(EILS)を活用し、児童・生徒のICTリテラシー向上及び教職員の負担軽減を図りました。

※CBTとは、(Computer Based Testing: コンピュータ上で実施される試験)の略

第2 山村留学センター

1 山村留学センター運営事業費(10-01-03-01及び52) 28,304,387円(会計年度任用職員人件費を含む。)

異年齢での集団生活や地域住民との交流、都会では味わえない自然体験、勤労体験を通じて、心豊かでたくましい子どもの育成を図るとともに、地域の学校教育を充実するための一助を担うことにより地域の活性化に貢献しました。

- ・高市川の沢登り 9月8日
- ・秋山キャンプ 伊予市(森林公園) 9月14日~15日
- ・マス釣り大会 6月8日 等

6年度留学生の受入れ状況

単位:人

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
男子	0	0	0	4	3	1	8
女子	0	2	2	2	4	2	12
合計	0	2	2	6	7	3	20

留学センター居住費 7,665,000円、職員給食費負担金等 381,140円、職員駐車場使用料 18,000円を充当しています。

山村留学センター管理費

単位:円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
人件費	19,786,368	13,638,565	12,476,676	6,147,803
消耗品費	565,962	521,099	385,457	44,863
光熱・燃料費	1,283,994	964,732	1,043,289	319,262
賄材料費	3,226,573	2,624,251	3,410,870	602,322
工事・修繕費	186,062	99,627	218,668	86,435
備品購入費	0	411,928	2,665,530	▲411,928
委託料	2,623,324	148,024	148,816	2,475,300
その他	632,104	623,675	836,804	8,429
合計	28,304,387	19,031,901	21,186,110	9,272,486

(1) 山村留学センター屋根・外壁改修工事設計委託料 1,760,000 円 【主要施策①】

経年劣化により、改修の必要性がある留学センターについて、緊急性の高い屋根及び外壁について、改修するための設計業務を委託しました。

改修は令和 7 年度において実施予定です。

主な改修内容 ○屋根・外壁改修工事
○防水改修工事

過疎対策事業債 1,700,000 円
を充当しています。

○年度別留学生一覧

単位：人

出身地	平成				令和					合計
	4~28	29	30	元	2	3	4	5	6	
愛媛県	313	9	9	7	7	5	7	6	12	375
岩手県									1	1
東京都	19	1		1			1	1	2	25
茨城県	3	2	1							6
埼玉県	4	1	1			1	3	1	2	13
千葉県	1		1				1		1	4
神奈川県	7	1		1			2	1		12
岐阜県	1				2					3
愛知県	3			2	1					6
京都府	7	1				1			1	10
大阪府	14	1	1	2	1			1	1	21
兵庫県	6	1	2	1	1	1		1		13
滋賀県						1	1			2
岡山県	6		1					1		8
広島県	5	1		1	2					9
山口県	1									1
香川県	9			1				1		11
徳島県	6									6
福岡県	2	1								3
宮崎県	1									1
沖縄県	34						1			35
合計	442	19	16	16	14	9	16	13	20	565

第 3 小・中学校

1 小学校管理費（10-02-01-01~07 及び 52） 268,305,267 円（学校トイレ設備改修事業費及び会計年度任用職員人件費を含む。）

児童が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう、校舎等学校施設や備品の整備を行いました。

6 年度は、学校トイレの洋式化事業として、宮内小学校、広田小学校のトイレ改修工事を実施したほか、宮内小学校のプール改修工事や広田小学校の校舎の改修工事を実施しました。

単位：円

細目/校名	学校管理費	内 訳					
		人件費	消耗品費	光熱・燃料費	管理委託費	工事・修繕費	その他
01 麻生小	18,282,277	0	2,168,250	7,730,840	2,472,775	2,336,663	3,573,749
02 宮内小	44,971,403	0	1,953,212	5,918,198	3,470,031	29,569,900	4,060,062
03 砥部小	15,519,032	0	1,871,928	5,233,780	2,791,592	1,536,126	4,085,606
06 広田小	20,524,697	0	905,108	2,428,695	5,359,708	9,682,318	2,148,868
07 トイレ改修	152,121,000	0	0	0	16,115,000	136,006,000	0
52 人件費	16,886,858	16,886,858	0	0	0	0	0
6 年度計	268,305,267	16,886,858	6,898,498	21,311,513	30,209,106	179,131,007	13,868,285
5 年度計	86,818,514	13,086,377	6,993,768	19,919,340	24,049,315	7,426,447	15,343,267
4 年度計	85,289,588	10,693,291	9,608,746	21,029,648	12,090,315	18,526,188	13,341,400
増 減 (6-5)	181,486,753	3,800,481	▲95,270	1,392,173	6,159,791	171,704,560	▲1,474,982

※ その他 費用弁償、印刷製本費、通信運搬費、手数料、使用料、備品購入費、負担金など。

教職員駐車場使用料 1,614,500 円、教育施設使用料 44,583 円他を充当しています

(1) 各学校の主な施設整備等 【主要施策①】

単位：円

学校名	整備内容	金額
麻生小学校	ブルーろ過機電磁弁 BOX 取替、シーケンサ取替等工事 662,860 円 支障木伐採撤去（桜 3 本） 143,000 円 雲梯新設・遊具撤去工事 786,500 円	1,592,360
宮内小学校	放送室リユニット取替修繕工事 198,000 円 間仕切引違窓落下防止留め具修繕工事 253,000 円 污水管改良工事 1,023,000 円 ブルー南側支障木 5 本の剪定 174,900 円	1,648,900
砥部小学校	学校遊具（シーソー）修繕工事 107,800 円 バスケットゴール昇降ウインチカバー撤去修繕工事 159,500 円 As 舗装及び周辺敷均し整地工 330,000 円 校長室等照明交換工事 126,500 円	723,800
広田小学校	スクールバスタイヤ交換 188,100 円 ブルーろ過エレメントオーバーホール等 247,170 円	435,270

※10 万円以上の修繕・工事のみ掲載しています。

(2) 校務支援 11,372,693 円 【主要施策①】

学校との事務連携強化や教職員の事務負担を削減することを目的に、校務用パソコンや、校務支援システムなどを導入し、出欠、成績処理、健康の管理や、教職員間でメッセージのやり取りのほか、学校図書の電子管理など、校務支援を行いました。（校務用 PC 借上料 7,293,960 円）

・校務用パソコン 89 台など（小学校管理費負担分）

○整備台数内訳

単位：台

麻生小学校	宮内小学校	砥部小学校	広田小学校	合計
30	24	25	10	89

また、教員の負担軽減を図るため、教材作成など教職員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを配置しました。（事業費 5,142,258 円）

県のスクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金 2,480,000 円を充当しています。

(3) 遠距離通学 4,872,551 円 【主要施策①】

砥部小学校及び広田小学校に遠距離通学する児童について、学校統廃合時の地元との申合せにより、タクシー及びスクールバスを運行しました。

- ・旧千里小学校区児童通学タクシー運行費（対象者 2 人）
- ・旧玉谷・高市小学校区児童通学バス運行費（対象者 22 人）

(4) 学校施設改修工事 37,658,000 円 【主要施策①】

【宮内小学校プール改修工事】 28,088,000 円

経年劣化により、改修の必要性がある宮内小学校のプールについて、改修工事を実施しました。

○プール改修工事 26,988,000 円 工事監理委託料 1,100,000 円

主な改修内容 ○大プール防水層改修工事

- 観覧席改修工事 外壁改修、鉄鋼基礎部分の補修、フェンス改修
- 外壁等改修工事 ひび割れ、爆裂、笠木浮き補修など
- 更衣室改修 男女更衣室棚の改修、天井、内部スラブ漏水修繕

公共施設等適正管理推進事業債 25,100,000 円を充当しています。

【改修前】



大プール



観覧席クラック



壁爆裂破損



内部スラブ漏水



【改修後】



大プール



観覧席クラック補修



壁補修



内部スラブ漏水修繕

【広田小学校校舎等改修工事】 9,570,000 円

学校施設調査（業務委託）による安全性に問題がある箇所を中心に、校舎及び体育館内外壁の改修工事を実施しました。

○校舎等改修工事 8,800,000 円 工事監理委託料 770,000 円

主な改修内容

(1) 校舎棟

- 外部 コンクリート躯体のひび割れ、爆裂等の修繕。
- 内部 吊り天井落下防止対策、ひび割れ、爆裂、天井材等のたわみの修繕。

(2) 屋内運動場

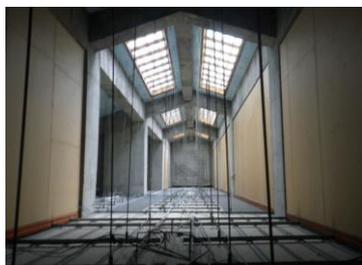
- 外部 爆裂、設備、屋根一部欠損等の修繕
- 内部 扉等の破損個所の修繕

過疎対策事業債 8,900,000 円を充当しています。

【改修前】



内壁ひび割れ



吊り天井状況



天井漏水



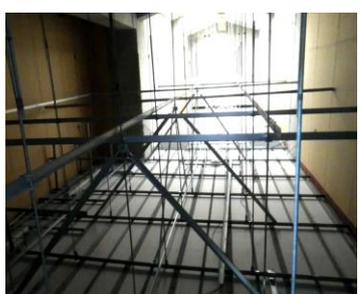
体育館設備破損



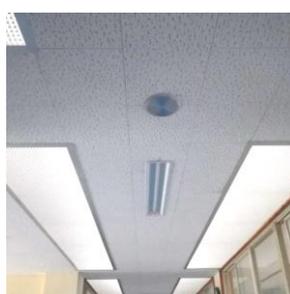
【改修後】



壁補修



吊り天井補強



天井補修



体育館設備補修

(5) 学校トイレ設備改修事業 152,121,000 円 【主要施策①】

快適な教育環境を整備するため、学校トイレの洋式化・乾式化工事を計画的に行います。令和6年度は、次の改修工事を実施しました。

- 宮内小学校トイレ改修工事 97,156,000 円 工事監理委託料 3,630,000 円
 - 広田小学校トイレ改修工事 38,850,000 円 工事監理委託料 1,925,000 円
- また、次年度以降に改修工事を実施するため、設計を行いました。
- 麻生小学校トイレ改修工事設計委託料 10,340,000 円

【工事概要】

- 和式便所の洋式化（温水便座機能付き洋式便所）
- 自動洗浄小便器（フロートタイプ）
- 湿式床を乾式床に改良
- 床、内壁、天井を改修。段差解消バリアフリー化
- 照明器具の LED 化 自動点灯消灯機能付き
- プール和式便所の洋式化
- 多目的トイレの新設（※広田小学校のみ）

国の学校施設環境改善交付金 33,713,000 円、学校教育施設等整備事業債 65,700,000 円、過疎対策事業債 28,900,000 円を充当しています。

【宮内小学校トイレ 改修前】



小便器



和便器



全景



多目的トイレ



【宮内小学校トイレ 改修後】



自動洗浄小便器



便器洋式化



改修後全景



多目的トイレ改修

【広田小学校トイレ 改修前】



小便器



和便器



1階トイレ入口



【広田小学校トイレ 改修後】



自動洗浄小便器



便器洋式化



1階トイレ 多目的トイレ新設



2 小学校教育振興費（10-02-02-01~06 及び 52） 79,530,726 円（会計年度任用職員人件費を含む。）

単位：円

細目/校名	教育振興費	内 訳					
		人件費	委託料	使用料 賃借料	備品購入費	負担金 交付金	その他
01 麻生小	9,279,075	0	0	4,557,322	953,528	890,884	2,877,341
02 宮内小	7,289,314	0	0	4,440,948	826,221	777,718	1,244,427
03 砥部小	7,064,166	0	0	4,423,078	818,609	505,841	1,316,638
06 広田小	3,134,227	0	0	2,489,228	209,330	28,879	406,790
52 人件費	52,763,944	52,763,944	-	-	-	-	-
6年度計	79,530,726	52,763,944	0	15,910,576	2,807,688	2,203,322	5,845,196
5年度計	68,238,989	30,523,016	397,320	18,617,202	3,067,789	1,992,707	13,640,955
4年度計	51,365,279	26,707,814	923,758	17,818,480	2,436,732	1,957,396	1,521,099
増減(6-5)	11,291,737	22,240,928	▲397,320	▲2,706,626	▲260,101	210,615	▲7,795,759

※その他 報償金、消耗品、旅費など

日本スポーツ振興センター負担金 432,960 円を充当しています。

(1) 学校生活支援員配置 50,320,494 円【主要施策①】

支援を要する児童が、豊かな学校生活を送れるよう、学校生活支援員を 28 人配置しました。

- ・報酬等 50,314,341 円（期末手当・通勤手当含む）
- ・旅費 6,153 円

○各校配置状況

単位：人

学校名	6年度		5年度		増減(6-5)	
	必要児童数	支援員数	必要児童数	支援員数	必要児童数	支援員数
麻生小学校	19	8	13	6	6	2
宮内小学校	20	9	13	8	7	1
砥部小学校	15	10	13	6	2	4
広田小学校	1	1	1	1	0	0
合計	55	28	40	21	15	7

(2) 学力向上推進事業 19,140 円【主要施策①】

教育・学習指導の課題を明らかにし、今後の教育内容の充実や学力の向上を図るため、消耗品等を購入しました。

(3) 情報教育推進事業 15,910,576 円【主要施策①】

小学校のパソコン教室で情報機器に対する興味、関心を養成するとともに、機器に対する知識、技能の向上を図り、日々進化する情報化社会に対応できる教育を推進しました。

また、デジタル教育の推進のため、タブレット端末で使用するデジタル教科書を購入しました。 1,434,576 円

○設置状況

単位：台、円

学校名	設置台数		6年度のリース料	【参考】元年度から 5年間の総額
	普通教室	パソコン教室		
麻生小学校	17	41	4,169,000	25,014,000
宮内小学校	14	41	4,059,000	24,354,000
砥部小学校	14	41	4,059,000	24,354,000
広田小学校	1	13	2,189,000	13,134,000
合計	46	136	14,476,000	86,856,000

(4) 教師用教科書・指導書及び教育振興備品購入 8,287,150 円

令和6年度からの教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書（後期分）と、令和7年度の学級数の増加による不足分を購入しました。

また、授業の効率化及び学力向上を図るため、学校教育における各種教材備品や学校図書を整備しました。

- ・教師用教科書・指導書（令和6年度後期分） 3,540,737 円
- ・教師用教科書・指導書（令和7年度前期分） 1,938,725 円
- ・学校図書 572 冊 2,127,228 円
- ・教材用備品 680,460 円

電子てんびん、気体採取器、直流電源計、デジタル気体測定器、書画カメラ、コミュニケーション支援機器、逆上がり補助器、ソフトドリルハードル等

国の理科教育設備整備費等補助金 117,000 円を充当しています。

(5) 教育活動支援事業（交付金） 1,051,105 円 【主要施策①】

自然の中での集団宿泊活動を通して、集団生活のあり方や公衆道徳などについての体験を積むため、大三島少年自然の家での体験活動に要する経費に対して交付金を交付しました。

- ・少年自然の家利用補助金
参加人数 174 人（小学5年生）（交通費の1/2の額、施設利用料の全額を助成）

3 小学校就学援助事業費（10-02-02-07） 10,475,946 円 【主要施策①】**(1) 要保護・準要保護児童援助費補助金 9,713,488 円**

経済的理由によって就学困難な児童の保護者に対し、負担を軽減するため、就学に必要な経費を助成しました。

- ・対象者数 140 人（給食費、学用品費、修学旅行費等を助成）

○対象児童数

単位：人

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
要保護	9	7	5	2
準要保護	131	123	129	8
合計	140	130	134	10

(2) 特別支援教育就学奨励費 762,458 円 【主要施策①】

特別支援学級在籍児童の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費を助成しました。

- ・対象者数 19 人（給食費、学用品費、修学旅行費の一部等を助成）

単位：人				
区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
対象者数	19	16	16	3

国の特別支援教育就学奨励費補助金 372,000 円を充当しています。

4 学校防災教育実践モデル地域研究事業（10-02-02-09） 401,068 円 【主要施策①】

近年激甚化する大規模災害など、多様な危険を的確に捉え、児童の発達段階や学校段階、地域特性に応じた取組を、地域や関係機関等との連携により、地域全体の防災力を向上させ、断続的で発展的な学校安全体制を構築する事業として、宮内小学校を実践校とし、学校防災教育実践モデル地域研究事業を実施しました。

実践校である宮内小学校では、防災教育（マイタイムライン・防災マップ作りなど）や、保護者参加型の防災参観日の実施のほか、町総合防災訓練への参加や、松山气象台施設見学など、町や消防などの関係機関をはじめ、保護者や防災士など、多くの地域連携による活動を通じ、自助・共助の意識を高めることができました。

また、本事業に合わせて、宮内小学校に少年消防クラブを創設し、事業終了後も継続できる組織を設置しました。

県の学校防災教育実践モデル地域研究事業委託金 400,000 円を充当しています。



防災マップ作り



防災参観日



防災講習会



防災ヘリ見学



予告なしシェイクアウト訓練



煙体験



避難所体験



少年消防クラブ



防災講演会



児童による成果発表会

5 中学校管理費（10-03-01-01 及び 52） 40,245,067 円（会計年度任用職員人件費を含む。）

生徒が安全で快適な学習環境のもとで学べるよう教育環境の向上を図るため、校舎等の学校施設の保守管理を行いました。

単位：円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
人件費	4,343,719	3,189,303	1,978,166	1,154,416
消耗品費	3,633,673	3,942,289	4,706,922	▲308,616
光熱・燃料費	13,068,248	12,057,465	13,958,475	1,010,783
管理委託費	9,026,309	9,113,973	8,813,484	▲87,664
工事・修繕費	2,051,787	3,415,198	4,781,121	▲1,363,411
その他	8,121,331	8,090,401	8,382,792	30,930
合 計	40,245,067	39,808,629	42,620,960	436,438

※その他 費用弁償、印刷製本費、通信運搬費、手数料、使用料、備品購入費、負担金ほか

太陽光発電売電収入 1,397,270 円、教職員駐車場使用料 780,000 円他を充当しています。

(1) 主な施設整備等 【主要施策①】

単位：円

整 備 内 容	金 額
プール槽シーリング工事	165,000 円
スクールバス修繕	174,460 円
教職員玄関窓ガラス交換工事	182,600 円
第 3 理科室空調室外機修理	143,000 円
空調室外機等修理工事	264,000 円

※10 万円以上の工事のみ掲載しています。

(2) 校務支援 4,447,025 円 【主要施策①】

学校との事務連携強化や教職員の事務負担を削減することを目的に、校務用パソコンや、校務支援システムなどを導入し、出欠、成績処理、健康の管理や、教職員間でメッセージのやり取りのほか、学校図書の電子管理など、校務支援を行いました。

・校務用パソコン 60 台 など（中学校管理費負担分）

また、教員の負担軽減を図るため、教材作成など教職員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを配置しました。（事業費 1,404,627 円）

県のスクール・サポート・スタッフ配置事業費補助金 620,000 円を充当しています。

(3) 遠距離通学 4,481,770 円 【主要施策①】

中学校に遠距離通学する生徒について、学校統廃合時の地元との申合せにより、スクールバスを運行しました。

- ・旧広田中学校区生徒通学バス運行委託費（対象者 4 人）

6 中学校教育振興費（10-03-02-01） 15,847,791 円（会計年度任用職員人件費含む。）

単位：円

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
人件費	2,003,635	3,005,641	3,827,482	▲1,002,006
委託料	426,747	378,567	401,349	48,180
使用料・賃借料	4,536,310	5,469,410	5,319,600	▲933,100
備品購入費	2,718,633	1,785,565	1,909,761	933,068
負担金・交付金	3,623,060	3,016,087	3,814,255	606,973
その他	2,539,406	541,041	622,658	1,998,365
合 計	15,847,791	14,196,311	15,895,105	1,651,480

※ その他 報償金、記念品など

日本スポーツ振興センター負担金 207,360 円を充当しています。

(1) 学校生活支援員配置 2,003,635 円 【主要施策①】

支援を要する生徒が、豊かな学校生活を送れるよう、学校生活支援員を 1 人配置しました。

- ・報酬等 2,003,635 円（期末手当・通勤手当含む）

○配置状況

単位：人

学校名	6 年度		5 年度		増減(6-5)	
	必要生徒数	支援員数	必要生徒数	支援員数	必要生徒数	支援員数
砥部中学校	1	1	2	2	▲1	▲1

(2) 学力向上推進事業 244,886 円

教育・学習指導の課題を明らかにし、今後の教育内容の充実や学力の向上を図るため、中学校全生徒を対象に学力診断テストを実施しました。

(3) Q-U アンケート調査の実施 368,947 円 【主要施策①】

いじめ、不登校及び学級崩壊の予防に活用し、生徒への理解を深め、教育環境の向上を図るため、標準化※された心理検査である「Q-U(楽しい学校生活を送るためのアンケート・よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート)」を実施しました。

調査の結果、友人、学級、教師との関係や学習意欲、進路意識で構成される「学校学級生活意欲」では、1 年生総合 82.0 点、2 年生総合 80.1 点、3 年生総合 84.3 点と、全学年において全国平均（77.5 点）を上回っており、やる気のあるクラスづくりが出来ていることが確認できました。

※標準化とは、心理検査の内容が妥当であり、結果に信頼性があることが検証されているということ。
（日本テストスタンダード委員会認定）

○Q-U アンケート調査実施結果

位：人、%

区 分	1 年生	2 年生	3 年生	6 年度計	5 年度計	増減 (6-5)
アンケート回答者数	155	148	155	458	459	▲1
要支援群人数	8	7	4	19	17	2
要支援群人数の割合	5.1	4.7	2.5	4.1	3.7	0.4

(4) 情報教育推進事業 4,294,510 円 【主要施策③】

中学校のパソコン教室で情報機器に対する興味、関心を養成するとともに、機器に対する知識、技能の向上を図り、日々進化する情報化社会に対応できる教育を推進しました。

また、デジタル教育の推進のため、タブレット端末で使用するデジタル教科書を購入しました。 81,510 円

○設置状況

単位：台、円

学校名	設置台数		6 年度のリース料	【参考】元年度から 5 年間の総額
	普通教室	パソコン教室		
砥部中学校	19	41	4,213,000	25,278,000

(5) 教育振興備品購入 2,718,633 円

授業の効率化及び学力向上を図るため、学校教育における各種教材備品や学校図書を整備しました。

- ・学校図書 263 冊 1,349,733 円
- ・教材用備品 1,368,900 円

電子ピアノ、双眼実体顕微鏡、力学台車滑走台、電気分解・燃料電池実験器等

国の理科教育設備整備費等補助金 442,000 円を充当しています。

(6) 教育活動支援事業（交付金）2,773,370 円 【主要施策①】

自然の中での集団宿泊活動を通して、集団生活のあり方や公衆道徳などについての体験を積むため、大洲青少年交流の家での体験活動に要する経費に対して交付金を交付しました。

- ・青年自然の家利用補助金 758,145 円

参加人数 164 人（中学 1 年生）（交通費の 1/2 の額、施設利用料の全額を助成）

スポーツや文化、科学等に親しみ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等を図るため、中学校が実施する各種教育活動に要する経費に対して交付金を交付しました。

- ・選手派遣費交付金（予算の範囲内で対象となる経費の全額） 2,015,225 円

参加人数 637 人

7 中学校就学援助事業費（扶助費 10-03-02-02） 11,103,757 円

(1) 要保護・準要保護生徒援助費補助金 10,859,471 円 【主要施策①】

経済的理由によって就学困難な生徒の保護者に対し、負担を軽減するため、就学に必要な経費を助成しました。

- ・対象者数 82 人（給食費、学用品費、修学旅行費等を助成）

○対象生徒数 単位：人

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
要保護	3	3	4	0
準要保護	79	73	76	6
合計	82	76	80	6

国の要保護児童生徒援助費補助金
29,000円を充当しています。

(2) 特別支援教育就学奨励費 244,286円 【主要施策①】

特別支援学級在籍生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費を助成しました。

- ・対象者数4人（給食費、学用品費、修学旅行費の一部等を助成）

単位：人

年度	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
対象者数	4	6	7	▲2

国の特別支援教育就学奨励費補助金
122,000円を充当しています。

第4 その他の事業

1 砥部町奨学資金貸与事業 【主要施策①】

砥部町奨学基金を活用し、優秀な生徒であって経済的理由により就学が困難な者に対し、無利息で学資金を貸与し、有用な人材の育成に努めました。

(1) 6年度貸与実績

高校区分	貸与上限月額(円)	人数(人)(学年)	貸与年額(円)
公立高校生	20,000	0 (1年生)	0
		4 (2年生)	960,000
		1 (3年生)	240,000
私立高校生	25,000	1 (1年生)	300,000
		1 (2年生)	300,000
		1 (3年生)	240,000
合計		8	2,040,000

(2) 6年度償還実績

- ・期首基金総額 30,819,663円
- ・期末基金総額 30,825,815円 ※基金運用利息による増
- ・期首貸付残高 15,665,500円 ※貸付額－償還額
- ・期末貸付残高 14,768,500円
- ・6年度貸付額(8人) 2,040,000円
- ・6年度償還額(29人) 2,937,000円

第5 学校給食【主要施策①】

1 学校給食費（10-06-03-01、52） 217,604,351 円（会計年度任用職員人件費を含む）

○学校給食に関する費用

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
報酬（委員）	98,000	145,000	174,000	▲47,000
消耗品費	4,333,345	4,387,852	4,222,880	▲54,507
燃料費	479,564	508,971	490,041	▲29,407
光熱水費	21,251,353	19,962,215	20,997,252	1,289,138
修繕料	1,738,168	3,848,500	1,565,667	▲2,110,332
賄材料費	100,549,059	88,472,700	87,815,458	12,076,359
手数料	209,870	771,979	1,368,796	▲562,109
委託料	8,316,060	8,048,437	8,714,949	267,623
その他	1,904,614	1,236,643	2,249,775	667,971
人件費	78,724,318	58,912,466	52,904,912	19,811,852
合計	217,604,351	186,294,763	180,503,730	31,309,588

・報酬（委員） 学校給食センター運営委員会委員 7,000 円×延べ 14 人分

・委託料（主なもの）

- 排水処理施設保守点検委託料 1,122,000 円
- 給湯機保守点検委託料 792,000 円
- 厨房設備保守点検委託料 770,000 円
- 施設及びエアコン室内機清掃業務委託料 1,760,000 円

・人件費 会計年度任用職員 29 人分（調理員）

学校給食材料負担金 86,059,327 円、廃食油売払代金 112,140 円、給食材料売払代金 1,462 円、共済見舞金 30,000 円、職員駐車場使用料 96,000 円、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 10,000,000 円を充当しています。

2 給食単価の状況

単位：円

区分		20年10月～	27年4月～	29年4月～	6年4月～
砥部給食センター	幼稚園	230	230	235	275
	小学校	240	240	250	295
	中学校	270	275	290	340
広田給食センター	小学校	245	245	-	-

3 給食実施状況

区 分	対象人員（人）	実施回数（回）	給食延べ食数（食）
麻生小学校	465	187	85,053
宮内小学校	365	188	67,145
砥部小学校	268	182	48,356
広田小学校	31	180	5,750
砥部中学校	541	182	94,414
宮内幼稚園	49	173	8,619
砥部こども園	57	187	11,054
給食センター（職員）	27	195	5,629
試 食	-	5	76
合 計	1,803	195	326,096

※ 対象人員は、令和 6 年 5 月 1 日現在（教職員を含む）です。

4 地産地消の推進

町内産物資の購入金額(納品回数)

区 分	6 年度	5 年度	4 年度	増減(6-5)
1 学期	(56 回) 1,337,065 円	(47 回) 771,394 円	(89 回) 1,378,044 円	(9 回) 565,671 円
2 学期	(60 回) 1,988,971 円	(74 回) 1,735,255 円	(69 回) 1,547,055 円	(▲14 回) 253,716 円
3 学期	(17 回) 1,274,855 円	(33 回) 1,092,766 円	(34 回) 1,724,693 円	(▲16 回) 182,089 円
合 計	(133 回) 4,600,891 円	(154 回) 3,599,415 円	(192 回) 4,649,792 円	(▲21 回) 1,001,476 円

※主な物資 ほうれん草、キャベツ、米、七折梅 など

5 食物アレルギー対応

「学校給食における食物アレルギー対応指針」（文部科学省）に基づき、保護者と面談を行った上で、食物アレルギーに対する対応を行いました。また、飲用牛乳除去対象者のうち代替飲料を希望する人に対し、飲用豆乳を提供しました。

- ・減額対応 2 品目（パン・牛乳）
- ・除去及び代替対応 5 品目（小麦・牛乳・卵・ナッツ類・キウイ）
- ・飲用豆乳希望者 2 人

○アレルギー対応数

単位：人

年 度	対応した人数			内 訳					
	6 年度	5 年度	4 年度	・減額対応 2 品目 ・除去及び代替対応 5 品目 (重複対応あり)			詳細な献立表を事前に配布し、 自主的に除去等を求めたもの		
	6 年度	5 年度	4 年度	6 年度	5 年度	4 年度	6 年度	5 年度	4 年度
小 学 校	19	17	14	15	15	12	4	2	2
中 学 校	6	2	4	5	1	4	1	1	0
幼稚園・こども園	3	2	4	3	2	4	0	0	0
合 計	28	21	22	23	18	20	5	3	2

6 学校給食費保護者負担軽減支援事業 13,355,350 円

物価高騰による経済的負担を軽減するため、園児・児童・生徒分について令和6年度からの給食費の値上げ分を支援しました。

ア 期間（令和6年4月～令和7年3月）

イ 支援実績（下表：人数・支援額）

区分	学校	延人数	免除額	区分別合計人数	区分別合計免除額
幼稚園 こども園	宮内幼稚園	7,013 人	280,520 円	16,835 人	673,400 円
	砥部こども園	9,789 人	391,560 円		
	その他	33 人	1,320 円		
小学校	砥部小学校	42,611 人	1,917,495 円	185,440 人	8,344,800 円
	宮内小学校	60,551 人	2,724,795 円		
	麻生小学校	78,163 人	3,517,335 円		
	広田小学校	4,115 人	185,175 円		
中学校	砥部中学校	86,743 人	4,337,150 円	86,743 人	4,337,150 円
合計		289,018 人	13,355,350 円	289,018 人	13,355,350 円

（再掲）国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 10,000,000 円を充当しています。

7 学校給食センター運営委員会

学校給食センター運営委員会を開催し、学校給食の取り組み状況や給食材料費の現状等について報告を行いました。

ア 運営委員 13 名

イ 実施回数 3 回（7・12・3 月）





重点施策

身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちの実現
文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちの実現

主要施策

- ① 青少年の健全育成 ② 生涯学習環境の整備 ③ 人権尊重・男女共同参画の推進
④ 文化活動の推進 ⑤ 文化財の保護と活用 ⑥ スポーツ活動の推進

第 1 社会教育総務費

1 社会教育推進事業費（10-05-01-01） 4,790,267 円

- ・社会教育委員報酬 240,000 円
- ・各種大会等参加旅費 20,210 円
- ・プリンタトナー等消耗品費 308,775 円
- ・公用車燃料費及び公用車維持管理費 162,855 円
- ・人権相談事業等食糧費 5,162 円
- ・通信運搬費 2,505 円
- ・各種負担金 171,160 円
- ・施設利用予約システム使用料 1,029,600 円

【施設利用予約システム利用状況】

施設利用者に対し利便性の高い行政サービスの提供を図ることを目的に令和 5 年 11 月から運用を開始しました。また、同時にキャッシュレスシステムも導入しました。

施設名	施設利用予約			施設利用料支払		
	予約総件数	うち施設利用予約システム利用件数	システム利用率	支払総件数 (全額減免分除く)	うちキャッシュレスシステム利用件数	システム利用率
社会体育施設	3,766 件	2,687 件	71.3%	1,310 件	264 件	20.2%
中央公民館	1,863 件	1,562 件	83.8%	1,565 件	586 件	37.4%
砥部町文化会館	1,860 件	11 件	0.6%	1,778 件	0 件	0%
陶街道ゆとり公園	6,564 件	2,441 件	37.1%	6,360 件	2,170 件	34.1%

- ・社会教育関係団体育成補助金(少年少女発明クラブ、ボーイスカウト砥部第 1 団)250,000 円

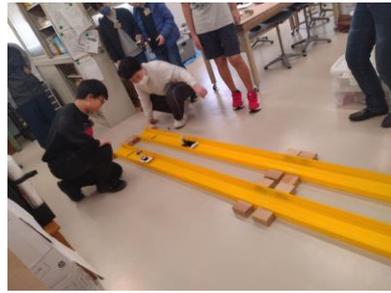
【砥部町少年少女発明クラブの支援事業】 200,000 円

町内の小学生（4～6 年生）及び中学生（1～3 年生）を対象に、発案した作品を工夫しながら制作する楽しさを体験させ、創造性豊かな人間形成を図りました。

- ・活動回数 全 22 回（土曜日 中央公民館 3 階実習室）
- ・クラブ員 14 人
- ・第 83 回愛媛県児童生徒発明工夫展受賞（特賞 4 点、優秀賞 5 点、努力賞 4 点）



県知事賞（イライラタンス）



発明クラブの活動

・ショパンビレッジフェスティバル in 砥部町 1,700,000 円（補助金）

ポーランドの世界的なピアニスト、マグダレナ・ズック氏のピアノコンサートなど一流の音楽を町民に提供しました。また、屋外では、世界の料理や雑貨の販売など国際色豊かな催し物を開催し、多くの来場者で賑いました。

- ・開催日 10月27日（日）
- ・開催場所 砥部町文化会館
- ・来場者数 700人



市町振興協会助成金（イベント助成）850,000円を充当しています。

・砥部町国際交流サマースクール 900,000円（補助金）

異なる文化、習慣、言葉を持つ外国人留学生とふれあい、様々な体験活動を行うことで、国際感覚豊かな人間形成を育むことを目的に開催しました。自然体験プログラムやポーランド語講座などを実施し、文化の違いを超えて交流を深めました。

- ・開催日 8月3日（土）～5日（月）
- ・開催場所 砥部町旧高市小学校
砥部町陶街道ゆとり公園武道場
- ・参加人数 43人（うち町内小学生28人）



市町振興協会助成金（イベント助成）450,000円を充当しています。

2 成人式事業費（10-05-01-02） 456,997円

令和7年1月12日（日）に成人式を開催し、町の未来を担う若人の門出を祝福しました。記念行事として、砥部町出身のピアニスト細田真子さんに講演や町内小中学校校歌を交えたピアノ演奏をしていただきました。

区分	6年度	5年度	4年度
対象者数(人)	204	231	227
参加者数(人)	153	161	168
町内	125	131	135
町外	28	30	33
出席率(%)	75.0	69.7	74.0
記念行事	ピアノ講演 ピアニスト 細田 真子	記念講演 映画監督 大森 研一	ピアノ講演 ピアニスト 細田 真子

3 学校・家庭・地域連携推進事業費(10-05-01-03) 435,808円

学校、家庭及び地域が連携協力し、未来を担う子どもたちの健やかな成長を実現するため、地域全体で子どもたちを育む体制づくりの一環として、学校・家庭・地域連携推進事業を実施しました。

(1) コミュニティ・スクール推進事業 411,808円

・コミュニティ・スクールの導入に向けた研修会 38,522円

町内すべての小中学校を対象に令和7年度を目標としてコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入するため、教職員等を対象とした研修会を実施しました。

月日	テーマ	講師	参加者数
2月12日	麻生小学校研究発表	CSマイスター 西村 久仁夫 氏	93人
2月26日	東温市実践報告	東温市立北吉井小学校地域学校協働活動推進員 小椋 さやか 氏 東温市立川内中学校地域学校協働活動推進員 酒井 あい 氏	67人

・麻生小学校地域学校協働活動 373,286円

令和6年度にモデル校としてコミュニティ・スクールを先行導入した麻生小学校において、地域と学校をつなぐコーディネーターとして地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校との連携を促進しました。



4年生の防災学習



3年生のとべ動物園マイスター

(2) 家庭教育学習会 24,000円

保護者を対象に、家庭教育のあり方についての学習講座を実施しました。

月日	学校名	テーマ・講師	参加人数	
			保護者	児童・生徒
9月25日	麻生小学校	「ゲームと脳について」 町保健センター職員	42人	
11月12日	砥部中学校	「思春期のトリセツ」 おやこコーチング mamananoria 代表 川手 美香 氏	8人	
11月14日	砥部小学校	「LGBTQ+とは？」 松山市市議会議員 渡邊 啓之 氏	100人	
2月4日	宮内小学校	「スマートフォンを安全に使うために」 あさひパソコン教室代表 浅野正人氏	10人	100人

県の地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業費補助金 242,000円を充当しています。

4 青少年育成事業費（10-05-01-04） 962,194 円 【主要施策①】

(1) 青少年育成センター事業 548,000 円

社会教育課内に青少年育成センターを設置しています。同センターは、補導員 1 人及び補導委員 34 人を中心に、青少年の健全育成や非行防止のため、行政、学校、家庭、警察等と連携を密にして、登校指導、街頭補導、見守り活動などを展開しています。また、各種催し時の巡回指導として、特別補導を大南商店街夜市、森松観月祭の 2 回実施しました。

○活動状況

単位：回

月	登校指導	街頭補導	月	登校指導	街頭補導
4月	6	4	10月	5	4
5月	5	4	11月	6	4
6月	5	4	12月	5	4
7月	6	4	1月	5	4
8月	0	4	2月	5	4
9月	5	4	3月	5	4
合計	27	24	合計	31	24

(2) 青少年健全育成事業 414,194 円

・とべの里冒険クラブ 95,484 円

町内の小学 4 年～中学生を対象に砥部の魅力を知ってもらうことを目的とした「とべの里冒険クラブ」を実施しました。前年度養成した高校生・大学生のボランティアリーダーが主体となり、全体での 1 泊 2 日キャンプなどの野外活動を行ったほか、町内の飲食店とコラボレーションした商品開発や町の魅力を発信する CM づくりなどの班活動を実施しました。班活動で制作した CM は「ふるさと CM 大賞えひめ'25」で伊予銀行賞を受賞しました。

小中学生：12 人 ボランティアリーダー：12 人（医療技術大学 5 人、松山大学 4 人、愛媛大学 3 人）



とべ楽市でのコラボ商品の販売



野外キャンプ（千里地区公民館）

月日	活動内容	参加者数	活動場所
5月19日	開講式	21人	中央公民館
6月8・9日	全体活動（野外キャンプ）	22人	千里地区公民館
6月15日	1班活動①（ジャガイモ収穫体験）	4人	北川毛
6月29日	2班活動①（窯元にインタビュー）	7人	町内各地
7月6日	2班活動②（砥部焼の破片を使ったフォトフレームづくり）	7人	中央公民館
7月13日	1班活動②（コラボ商品の企画）	7人	Pizzeria39
7月13日	3班活動①（CMの構成）	8人	中央公民館
8月3日	3班活動②（CM撮影のロケハン）	3人	町内各地
9月1日	2班活動③（ペットボトルを使って流しうどん）	9人	中央公民館
9月14日	3班活動③（CM撮影）	3人	町内各地
9月15日	3班活動④（CM撮影）	4人	町内各地
10月20日	3班活動⑤（CM編集）	8人	中央公民館
11月16日	1班活動③（コラボ商品の試作）	6人	Pizzeria39
11月24日	1班活動④（とべ楽市でコラボ商品の販売）	7人	商工会館前
12月21日	3班活動⑥（クリスマスパーティー）	7人	中央公民館
1月19日	1班活動⑤（自然薯収穫体験）	5人	高市
2月16日	2班活動④（フルーツ大福づくり）	7人	中央公民館
3月1日	2班活動⑤（ジゴゲッサー風ゲーム）	5人	町内各地
3月8日	閉講式	20人	中央公民館

・ボランティアリーダー養成事業 67,336円

令和7年度からとべの里冒険クラブを企画運営する、大学生のボランティアリーダーの養成を行いました。その場ならではの魅力を探し「アクティビティ」という体験で伝える手法であるインタープリターの技術を学ぶ研修や、野外キャンプ講座を実施し、とべの里冒険クラブでの野外活動等を企画する力を養いました。

ボランティアリーダー数：9人（医療技術大学4人、松山大学5人）

月日	内容	講師	参加者数	場所
6月23日	砥部についての調べ学習		9人	中央公民館
7月7日	まちあるき実習		9人	町内各地
9月21・22日	野外キャンプ実習	西予市立城川小学校 校長 黒田 真生 氏	7人	千里地区公民館
9月28日	インタープリター研修	一般社団法人をかしや 代表 菊間 彰 氏	7人	陶街道ゆとり公園
12月15日	プログラム立案研修		5人	中央公民館
2月1日	班活動演習①		8人	中央公民館
2月15日	班活動演習②		8人	愛媛県総合運動公園
2月22日	デイキャンプ演習		16人	千里地区公民館



野外キャンプ講座（千里地区公民館）



インタープリター研修（陶街道ゆとり公園）

・とべ焼博士事業 251,374 円

砥部町、砥部焼への愛着と誇りを醸成し、将来の砥部町を担う人材を育成するため、町内在住の小学3～6年生を対象に「砥部焼体験学習」を実施しました。また、「とべ焼博士検定（2級・1級）」に10人が挑戦し、2級検定に2人、1級検定に3人が合格しました。

事業参加者：13人

・体験活動

月日	内容	講師	参加者数	場所
7月6日	・開講式 ・陶石採取見学 など	有限会社 伊予鉱業所 取締役社長 奥元 和久 氏 雲石窯 代表 山田 雅之 氏	13人	中央公民館 伊予鉱業所 砥部陶磁器原料
7月26日	・坏土の製造、釉薬生成の見学 ・碍子製造の見学 など	砥部焼協同組合 富岡 修 氏 エヒメセラム株式会社 取締役社長 二宮 良和 氏 砥部むかしのくらし館 館長 豊島 吉博 氏	10人	砥部焼協同組合 エヒメセラム 砥部むかしのくらし館
8月9日	・創作活動 ・販売施設について学習	雲石窯 代表 山田 雅之 氏 陶芸創作館 職員 山崎 洋 氏	13人	砥部焼陶芸館
9月7日	・絵付け体験 ・窯元学習	雲石窯 代表 山田 雅之 氏 陶芸創作館 職員 山崎 洋 氏	13人	砥部焼陶芸館
9月28日	・販売体験準備 ・もぐら窯見学	もぐら窯 メンバー 二宮 亮太 氏	12人	中央公民館 もぐら窯
10月27日	・販売体験		13人	中央公民館前
11月23日	・歴史体験ツアー	社会教育課 学芸員 宮本 直美 氏 梅山窯(梅野精陶所) 岩橋 俊夫 氏	10人	砥石山公園 上原窯跡 梅山窯(梅野精陶所)
12月14日	・砥部焼 PR チラシ作成	陶芸創作館 職員 山崎 洋 氏 元教員 篠原 邦博 氏	8人	中央公民館
2月2日	・体験学習振り返り ・チラシの発表		11人	中央公民館

・検定試験

月日	内容	参加者数	合格者数	場所
2月16日	・検定試験（2級）	5人	2人	中央公民館
	・検定試験（1級）	5人	3人	
3月20日	・認定証授与式	5人		



8/9 活動の様子（砥部焼陶芸館）



10/27 活動の様子（中央公民館前）

第2 文化振興費

1 文化財保護事業費（10-05-02-02） 1,383,531 円 【主要施策⑤】

(1) 文化財保護事務費・文化財保護審議会 329,166 円（報酬・需用費）

町内にある文化財の保存と活用を図るため、文化財保護に関する協議を行ったほか、指定候補物件の調査、研究などを行いました。

- ・文化財保護審議会の開催
- ・埋蔵文化財包蔵地の指定

指定：守本窯跡（岩谷口）、下向井窯跡（五本松）

指定に向けた調査：深田窯跡・堂成窯跡（川登）、越智窯跡（大南）

(2) 砥部の歴史講座 32,219 円（報償費、需用費）

砥部の文化や歴史を学んでもらうため、住民を対象とした歴史講座を開催しました。

	開催日	参加者数	講師	タイトル
第1回	10月26日	7人	上本隆弘氏	総津ししまい体験
第2回	11月2日	21人	太田由美子氏 森永とめ子氏	民話でたどる小さな旅 ～宮内地区～
第3回	11月24日	30人	榎林啓介氏	窯跡からみる砥部焼の歴史

(3) 伝統芸能保存伝承事業費補助金 40,000 円

地域において、伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付しました。

年度	団体数	事業費（円）	団体名
6年度	2	40,000	岩谷口獅子舞保存会、総津獅子舞保存会
5年度	2	40,000	岩谷口獅子舞保存会、総津獅子舞保存会
4年度	2	23,807	岩谷口獅子舞保存会、北川毛伝統芸能保存会

(4) 文化財保存顕彰事業費補助金 50,000 円

町指定文化財の所有者、管理団体、保存団体が行う文化財保存顕彰事業に要する経費に対し、補助金を交付しました。

- ・麻生の椋の木の支障枝伐採

(5) 県指定文化財説明看板等修繕工事 23,100 円（需用費）

汚損している指定文化財説明看板の修繕を行いました。

- ・指定文化財説明看板修繕（大下田古墳群）



(6) 井上正夫資料展示 179,646 円（需用費、役務費）

年間を通じて、町の名優井上正夫の資料収集や文化会館資料室で収蔵品展示を行いました。

【展示テーマ】

- ・近年の寄贈・発見作品展(令和5年10月～令和6年7月)
- ・明治時代の井上正夫展(令和6年7月～令和7年2月)
- ・井上正夫会と如月忌(令和7年2月～継続中)
また、資料室所蔵のビデオテープ1本、8mmフィルム1本のデジタル化を実施し、井上正夫が書いた書の額を修繕しました。
- ・消耗品費 48,966 円、デジタル化手数料 86,680 円、井上正夫資料修繕費 44,000 円

【井上正夫胸像移転】

- ・松山市駅前再開発に伴い、市駅前に設置されていた井上正夫像が衝上断層公園に移転されました。2月7日の如月忌に、胸像移転除幕式を行いました。



(7) 砥部焼の歴史・文化の調査研究 720,000 円（報償費）

本町の歴史文化の特徴の一つである砥部焼について、愛媛大学と連携して、古文書の撮影・解読や窯跡調査など調査研究を行いました。

- ・坪内家文書の撮影・解読（愛媛大学連携協定事業） 434点（全体約1,600点中1,100点完了）
- ・砥部焼窯跡調査 白水窯跡など4地点（愛媛大学との共同事業）



坪内家文書の撮影・解読
(愛媛大学連携協定事業)



砥部焼窯跡調査

(8) 全国史跡整備市町村協議会愛媛県支部との協調による文化財保護事業 9,400 円

全国史跡整備市町村協議会愛媛県支部は、加盟市町（県内 18 市町）が協調し文化財の保護に関する調査研究及びその具体的方策の推進を図るため組織されています。6 年度は、西条市において第 29 回総会、記念講演及び視察研修が行われました。

- ・開催日 7 月 18 日（木）（総会・記念講演）・19 日（金）（視察研修）
- ・開催場所 西条市五百亀記念館・国史跡永納山城跡
- ・参加者 2 人（18 日のみ）

2 埋蔵文化財保護事業費（10-05-02-03） 24,000 円

(1) 埋蔵文化財確認調査等 24,000 円

埋蔵文化財の保護のため開発事業との調整を図るとともに、記録保存を行うため工事立会、試掘、踏査等の確認調査を実施しました。

また、年間を通じて本町で出土した埋蔵文化財を中央公民館の展示室で展示しました。



区 分	6 年度	5 年度	4 年度	3 年度
箇所数（届出数）	14	10	9	10
事業費(円)	24,000	56,817	87,482	162,236

※事業費の内訳 調査員謝礼 24,000 円

3 文化会館図書館管理運営事業費（10-05-02-04） 101,092,010 円

(1) 施設の管理運営費

指定管理者として、アクティオ(株)に施設管理を委託しました。砥部町文化会館条例及び砥部町図書館条例等に基づき、適正に管理されました。

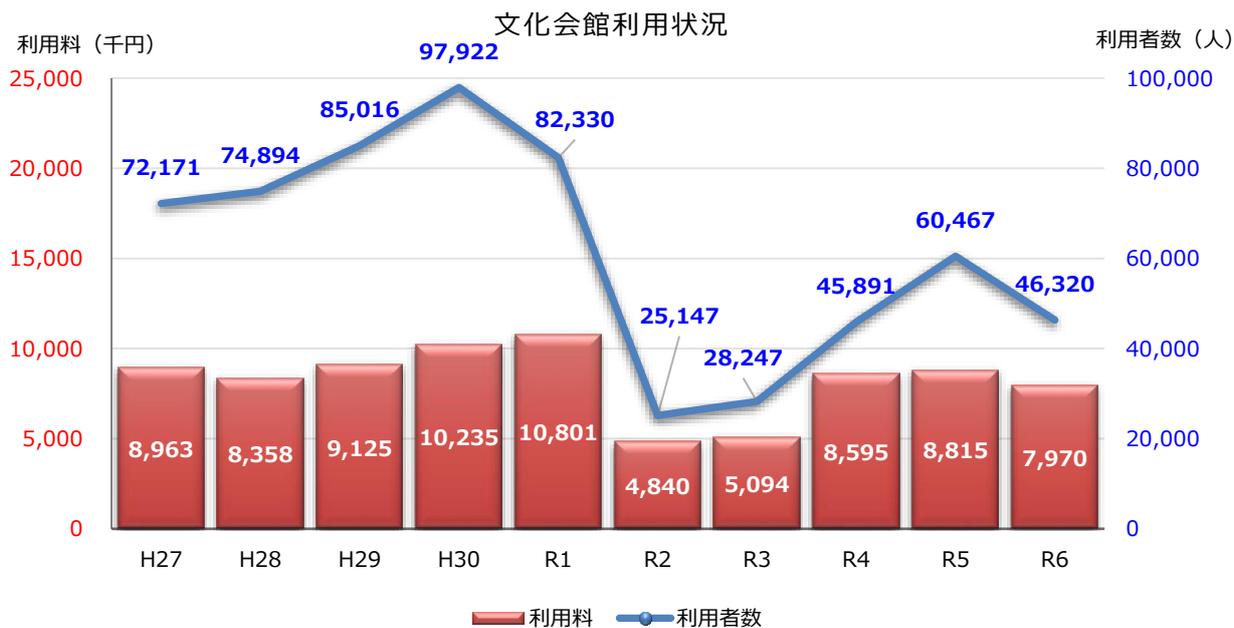
○施設の主な管理運営費 単位：円

内 訳	金 額
建物災害共済基金分担金	454,943
指定管理委託料	69,300,000
指定管理者候補選定委員会 委員謝礼	6,000
消耗品費（消火器購入費等）	188,640
学習コーナー椅子修繕費	275,000
上水ポンプユニット更新工事費	1,650,000
図書館コンピュータシステム保守管理委託料	2,244,000
図書館コンピュータシステム賃借料	2,195,600
電子図書館システム利用料	660,000
文化会館トイレ改修工事設計委託料	2,090,000
文化会館トイレ改修工事監理業務料	770,000
文化会館トイレ改修工事費	19,800,000
文化会館視聴覚室プロジェクター更新工事費	1,443,200
施設利用予約システム キャッシュレス決済手数料	14,627
計	101,092,010

職員駐車場使用料 424,000 円、行政財産目的外使用料 65,000 円、愛媛県市町振興協会基金交付金 7,000,000 円を充当しています。

(2) 文化会館利用状況

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
利用者数(人)	46,320	60,467	45,891	▲14,147
うち、ホール	18,855	26,275	23,908	▲7,420
うち、会議室等	27,465	34,192	21,983	▲6,727
開館日数(日)	346	347	346	▲1
ホール稼働日数(日)	187	206	240	▲19
ホール稼働率(%)	54.1	59.4	69.4	▲5.3
利用料(円)	7,969,975	8,815,400	8,595,000	▲845,425



(3) 文化会館事業

月	事業名	入場者数等(人)
6	「Kimiyo Ogawa NOMAD Tour2024 旅するバンドネオン～同行二人 (DOU GYOU NI NIN) ～ 小川紀美代バンドネオンコンサート Vol.5～遥かなるアルゼンチンの風～」	204
6	夏越ノ太鼓Ⅱー打ち手、舞い手の華が咲くー	385
8	第15回ピアノ分解教室	68
9	砥部町合併20周年記念プレ事業 「宝くじおしゃべり音楽館～思い出のスクリーンミュージック～」	406
10	ショパンレヅジフェスティバル in 砥部町 2024	450
11	芸能文化フェスタ 砥部町吟友会ファイナル吟詠大会 芸能発表会	550
1	カルチャー教室発表会 Vol.3	300
2	全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト 第27回四国支部大会	200
3	スプリングコンサート	300
通年	パン教室	4
	カルチャー教室[17教室] (キッズDANCE、童謡唱歌、らくらくピアノ、ストレッチ、フェルデンクライス、3B体操、太極拳、どんどこ、オカリナ、ディップフラワー、ロザフィ、文字、手織り、ボイストレーニング、バレエ、居合道、断捨離®)	2,701

(4) 図書館利用状況

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
貸出人数(人)	30,709	32,687	35,339	▲1,978
町内	19,746	21,055	22,602	▲1,309
町外	10,963	11,632	12,737	▲669
貸出冊数(冊)	112,764	122,154	132,815	▲9,390
町内	69,207	75,603	81,197	▲6,396
町外	43,557	46,551	51,618	▲2,994
開館日数(日)	284	291	282	▲7
蔵書冊数(冊)	99,339	99,800	99,748	▲461
1日平均の貸出者数(人)	108	112	125	▲4
1日平均の貸出冊数(冊)	397	420	471	▲23
電子図書館登録者数累計(人)	2,058	424	224	1,634
電子図書閲覧数(点)	35,953	4,790	2,816	31,163

※電子図書館登録者数は、6年度から小中学校にIDを配布したため、小中学校児童・生徒数を含みます。

図書館利用状況



(5) 図書館事業

単位：人

事業名	参加人数			
	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
おはなし会 <毎月第1土曜日、第3土曜日>	209	167	140	42
にこにこほっぺのおはなし会 <毎月第2月曜日>	122	108	107	14
ひろたのみんなのおはなし会 <毎月第1木曜日>	259	46	36	213
ブックスタート <4か月児 毎月、7か月児 奇数月>	100	102	106	▲2
夏休みのおはなし会 <年1回>※夏休みイベント	22	37	中止	▲15
おはなし会 (特別版)	37	53	中止	▲16
ポップDEビブリオコンテスト2024 <年1回>	19	26	44	▲7
図書館たんけん隊 <夏休み中>	18	15	7	3
読書記録帳 <登録者数>	192	261	212	▲69
計	978	815	652	163

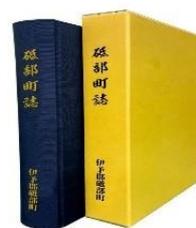
4 町誌編さん事業費（10-05-02-05） 9,818,572 円【主要施策④】

令和3年度から合併後初の町誌編さんに取り組みました。令和6年度は、執筆原稿の最終校正を行うとともに、町誌編さん委員会を3回開催し、12月に『砥部町誌』を刊行しました。

砥部町誌～砥部町の歩みを綴った一冊が完成～

【発行部数等】500部（B5版・横書き・936頁）

【販売価格】3,500円/冊



※町誌編さん事業関係経費

単位：円

内 訳	6年度	5年度	4年度	3年度	合 計
町誌編集等業務委託料	4,928,000	7,590,000	6,655,000	3,245,000	22,418,000
町誌編さん委員会委員報酬 (3回開催)	161,000	182,000	189,000	126,000	658,000
町誌編さん指導・事務局作業 協力謝礼	763,500	429,000	282,000	69,000	1,543,500
修繕料	0	0	0	58,300	58,300
消耗品費	320,176	305,889	80,915	53,617	760,597
印刷製本費	3,630,000	-	-	-	3,630,000
通信運搬費	15,896	4,872	861	3,051	24,680
計	9,818,572	8,511,761	7,207,776	3,554,968	29,093,077

第3 人権対策・教育費

1 人権教育推進事業費（10-05-03-01 及び 52）4,389,769 円（会計年度任用職員人件費2,450,269 円を含む。）【主要施策③】

(1) 人権教育基礎講座 40,000 円

人権問題の解消と住民の人権意識の高揚を図るため、様々な人権問題をテーマとした講座を行いました。

- ・開催日 7月25日～9月19日 全6回
- ・開催場所 砥部町中央公民館 講座室
- ・参加者 375人（前年335人）

日 時	講師	参加者数	演 題
7月25日	伊予市立伊予小学校 教頭 樋口 典子氏	74人	アンコンシャス・バイアスについて考えよう
8月1日	愛媛県立みなら特別支援学校 教諭 菊池 俊昭氏	69人	カラーユニバーサルデザインと人権
8月8日	松山市立興居島中学校 教頭 藤原 和憲氏	64人	いじめの現状と人権・同和教育の推進
8月22日	愛媛県警察本部生活安全部 生活安全企画課 犯罪抑止対策課長補佐 酒井 真由美氏 人心安全対策・少年課 少年対策課長補佐 猪野 桂子氏	71人	少年・高齢者が犯罪にあわないために
9月5日	社会保険労務士法人ひなそよ 代表社労士 鈴木 正幸氏	55人	令和時代の人権問題を考えよう
9月19日	公益財団法人えひめ女性財団理事・参事 愛媛県男女共同参画センター事務局長 えひめ性暴力被害者支援センター（ひめここ）所長 信貴 正美氏	42人	「虎に翼」の時代から100年 女性の人権を考える
計		375人	

(2) 人権教育巡回学習会 92,000 円

地域の人権教育の推進を図るため、各区の集会所等に小・中学校教員及び行政職員が訪問して学習会を開催しました。

- ・開催日 8月～3月
- ・開催区 三角、県団地、上野、高尾田、川井、大角蔵、山並、さかえ、千足、大谷、岩谷口、岩谷、大平、川下、川中、川上、万年、満穂、篠谷、玉谷、高市
- ・参加者 21区 244人（前年 19区 233人）



上野区での学習会の様子

(3) 人権の町づくり集会 455,874 円

町民一人ひとりがお互いの基本的人権を尊重し、差別のない住みよい豊かな町を実現するために開催しました。麻生保育所園児が人権啓発発表を行い、砥部中学校が実践報告をしました。また、ちゃんへん、氏による人権啓発講演、人権啓発ポスター入賞作品表彰式、人権啓発ポスター展示を実施しました。

- ・開催日 12月7日（土）
- ・開催場所 砥部町文化会館（ふれあいホール）
- ・参加者 約 310人



麻生保育所による人権啓発発表の様子

県の人権啓発活動地方委託事業委託金 294,836 円を充当しています。

(4) 人権の花運動 10,164 円

命の大切さや思いやりの心を育んでもらう活動として、人権擁護委員から贈呈された花苗を児童が育てる人権の花運動を行いました。育てた花は人権啓発のため、広田地区の福祉施設や保育所等に設置しました。

- ・事業実施対象校
広田小学校全校児童 23人



県の人権啓発活動地方委託事業委託金 10,164 円を充当しています。

(5) 人権・同和教育各種研究大会への参加

- ・愛媛県人権・同和教育研究大会（松山市） 参加者 24 人
- ・全国人権・同和教育研究大会（福岡県・熊本県・鹿児島県） 参加者 14 人
- ・四国地区人権教育研究大会（高知県） 参加者 14 人
- ・中予地区人権・同和教育研究協議会（松山市） 参加者 25 人

(6) その他の人権教育推進事業 1,341,462 円

- ・人権教育推進事業郵送料 15,064 円
- ・各種負担金 243,655 円
- ・砥部町人権教育協議会交付金 1,082,743 円

(7) 人権相談

人権擁護委員 7 人が地域住民の身近な相談相手として、人権相談事業を実施しました。

- ・中央公民館 12 回、ひろた交流センター 3 回
- ・相談件数 1 件

(8) 社会教育指導員の活動 2,450,269 円

社会教育指導員として会計年度任用職員を 1 人配置し、同和問題をはじめとする人権課題に対して、助言や指導を行いました。

2 人権対策推進事業費（10-05-03-02 及び 52） 2,962,215 円（会計年度任用職員人件費 1,456,394 円を含む。）

(1) 広域隣保活動相談員 1,456,394 円

広域隣保活動相談員¹を 1 人配置することにより、地域住民の日常生活上の相談に応じるとともに、関係行政機関等と緊密な連携を保ちながら必要な指導、助言を行い、同和問題をはじめとする人権問題の早期解決及び地域住民の生活福祉の増進を図りました。

- ・相談件数（電話、訪問、来庁） 141 件
- ・相談内容 健康、生活、福祉、教育相談など

(2) その他の人権対策推進事業 1,505,821 円

- ・愛媛県人権対策協議会砥部支部交付金 928,520 円
- ・愛媛県企業連合会砥部支部交付金 419,039 円
- ・その他負担金 158,262 円

県の隣保館運営等事業費補助金 980,000 円を充当しています。

¹ 隣保館（りんぼかん）が設置されていない地域では、広域隣保活動相談員を置いて、生活上の課題や人権課題の解決に向けた活動を行っています。隣保館は、貧困・教育・差別・環境問題などを抱えるとされる地域において、専門知識を持つ者が地域住人に対して適切な援助を行う社会福祉施設です。

第4 公民館費

1 公民館諸費（10-05-04-01） 18,979,526 円

(1) 中央公民館の維持管理費(体育館を含む。)

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設管理費	17,762,647	17,442,403	17,356,590	320,244
管理委託費	9,138,997	9,296,932	8,196,778	▲157,935
光熱・燃料費	6,695,080	6,720,538	5,550,790	▲25,458
修繕・改修費	712,802	432,398	255,735	280,404
電話等の通信費	80,729	81,163	92,384	▲434
その他	1,135,039	825,559	845,606	309,480
使用料等の収入	4,582,900	4,984,171	4,514,902	▲401,271
収支	▲13,179,747	▲12,458,232	▲12,841,688	▲721,515

〈維持費用の主な支出内訳〉

単位：円

管理委託費	空調設備等保守点検委託業務	3,300,000
	夜間休日管理業務	3,676,353
	日常清掃業務	573,804
	セキュリティ管理業務	314,380
	中央公民館建物クリーニング等業務	616,000
修繕・改修費	体育館雨漏り修繕	165,000
	講座室音響修繕	188,100

(2) 千里地区公民館の管理費

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設管理費	1,216,879	1,008,416	1,336,303	208,463
管理委託費	565,004	549,736	496,254	15,268
光熱・燃料費	328,762	295,551	290,482	33,211
修繕・改修費	141,900	9,900	407,000	132,000
電話等の通信費	37,647	37,209	37,547	438
その他	143,566	116,020	105,020	27,546
使用料等の収入	118,130	128,150	100,570	▲10,020
収支	▲1,098,749	▲880,266	▲1,235,733	▲218,483

〈維持費用の主な支出内訳〉

単位：円

管理委託費	千里地区公民館消防用設備保守点検業務	75,240
	千里地区公民館セキュリティ管理業務	151,800
	千里地区公民館日常清掃業務	163,944

2 ひろた交流センター管理費（10-05-04-02 及び 52） 4,202,388 円（会計年度任用職員人件費 348,249 円を含む。）

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設管理費	4,202,388	4,055,353	4,329,390	147,035
管理委託費	1,117,160	1,130,580	1,375,000	▲13,420
光熱・燃料費	1,330,421	1,075,447	1,124,817	254,974
修繕・改修費	166,738	286,000	342,430	▲119,262
電話等の通信費	225,887	218,570	233,277	7,317
その他	1,362,182	1,344,756	1,253,866	17,426
使用料等の収入	60,850	53,220	47,430	7,630
収支	▲4,141,538	▲4,002,133	▲4,281,960	▲139,405

〈維持費用の主な支出内訳〉

単位：円

管理委託費	警備業務委託料	396,000
	エレベーター保守点検料	158,400
	特定建築物防火設備検査業務委託料	187,000
	清掃業務委託料	187,000
修繕・改修費	正面玄関外側片引き自動ドア修繕（2か所）	102,300
	防火シャッター危害防止装置蓄電池交換	30,338
その他	清掃作業職員（会計年度任用職員）報酬・費用弁償	348,249
	駐車場用地借上料	460,000
	農業集落排水使用料	267,240

3 生涯学習公民館活動事業費（10-05-04-03） 9,670,184円【主要施策②】

町民自らが自発的に取り組めるよう、学習等の情報や場の提供に努め、各公民館で下記のとおり事業を実施しました。

(1) 中央公民館 5,895,248円

単位：円

事業名	事業費	内訳
とべっ子文化の広場教室(23教室：受講生 206人) (実用書道、書道漢字午前・夜、暮らしのいけばな、楽楽いけばな、茶道・はじめての茶道、茶道煎茶、絵画、盆栽、尺八、民舞、編物、笑顔でつながる大正琴、きらきら大正琴、お琴、歌謡偶数週、奇数週、陶芸・陶芸初心者、ギター初心者、フラダンス、ヨガ)	2,813,690	チラシ代 93,500 指導者謝礼 2,715,000 郵送料 5,190
とべっ子ふれあい国際交流デイキャンプ(小学生・幼児3回：延べ133人)	600,270	事業委託料 600,270
ワールドスタディー講座(小学生以上年20回：延べ621人)	1,203,620	事業委託料 1,201,200 郵送料 2,420
ポーランド語講座(小学生以上年10回：延べ47人)	150,700	事業委託料 150,040 郵送料 660
芸術文化フェスタ (11月16日将棋大会・17日囲碁大会：参加者26人) (11月17日発表会：25団体、参加者289人) (11月16・17日展示部門：展示数834点 来場者延べ2,814人)	829,638	舞台管理委託料 568,700 記念品 118,998 郵送料 3,460 消耗品 38,390 機器等借上料 92,290 運転手謝礼 7,800
英会話教室(成人年30回：延べ469人)	152,200	講師謝礼 150,000 郵送料 2,200
ふるさと再発見紀行(3コース 51人)	27,030	運転手謝礼 23,400 郵送料 3,630
まなびや事業(こども大正琴教室)参加者6人	25,660	指導者謝礼 25,000 郵送料 660
愛媛県公民館連合会県大会及び研修会	22,640	参加費 3,000 有料道路通行料 8,640 旅費 11,000
伊予地区公民館連絡協議会先進地視察研修	8,800	旅費 8,800
伊予地区公民館連絡協議会分担金	61,000	分担金 61,000

公民館事業受講料 3,051,500円、自動販売機販売手数料・電気料金 276,470円を充当しています。

(2) ひろた交流センター42,763 円

事業名
ひろた子どもあそび広場【5回：ウォーターサバイバルゲーム、ドッジビー、スマイルボウリング、キンボール、カローリング】：合計 143 人
こどもの日祭り昼食会：約 160 人
地域間交流【10回：カレー昼食会】：170 人
モルック体験会：12 人
レクリエーションバレーボール大会：70 人
秋季大運動会【広田保育所・広田小学校・地域合同開催】（9月29日）：約 200 人
広田地域芸能発表会（3月9日）：約 150 人

(3) 広田ふるさとフェスタ開催事業費 3,732,173 円

広田地区の活性化及び地域住民や周辺住民との交流を図るため、地域の文化芸能の発表等のイベントを実施しました。

単位：人・円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
来場者	2,500	3,000	1,500	▲500
総事業費	3,732,173	3,713,004	3,671,009	19,169
報償費	137,406	133,884	123,112	3,522
消耗品費	124,927	114,780	111,497	10,147
委託料	3,469,840	3,464,340	3,436,400	5,500



市町振興協会助成金（イベント助成）1,870,000 円を充当しています。

(4) 各公民館利用状況

・中央公民館

単位：回、人

		6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
主催事業	回数	716	723	607	▲7
	人数	6,845	7,213	5,219	▲368
貸館状況	回数	1,461	1,393	1,174	68
	人数	23,572	22,459	19,349	1,113
合計	回数	2,177	2,116	1,781	61
	人数	30,417	29,672	24,568	745

・千里地区公民館

単位：回、人

		6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
主催事業	回数	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0
貸館状況	回数	160	179	123	▲19
	人数	1,576	1,423	1,118	153
合計	回数	160	179	123	▲19
	人数	1,576	1,423	1,118	153

・ひろた交流センター

単位：回、人

		6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
主催事業	回数	13	77	73	▲64
	人数	462	516	487	▲54
貸館状況	回数	175	74	108	101
	人数	2,762	2,701	2,869	61
合計	回数	188	151	181	37
	人数	3,224	3,217	3,356	7

※6年度から、主催事業で実施していた教室を自主活動（貸館扱い）に変更したため、大幅な

増減となっています。

(5) 中央公民館体育館利用状況

単位：回、人

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
利用回数	1,519	1,583	1,276	▲64
利用人数	25,579	25,510	19,110	69

第5 坂村真民記念館費

1 坂村真民記念館費（10-05-05-01及び52） 25,271,989円（会計年度任用職員人件費14,732,023円を含む。）【主要施策④】

名誉町民である坂村真民氏の作品を展示しています。企画展を開催するなど、真民詩を全国に発信しました。

(1) 施設運営費 25,271,989円

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
施設運営費	25,271,989	20,492,555	20,035,490	4,779,434
委員報酬	0	42,000	49,000	▲42,000
職員人件費	14,732,023	11,711,596	10,668,366	3,020,427
需用費	2,947,567	2,718,197	2,558,447	229,370
需用費（賄材料費）	1,763,551	0	0	1,763,551
役務費	644,370	772,433	665,608	▲128,063
委託料	3,358,458	3,200,564	4,082,214	157,894
使用料及び賃借料	111,520	52,485	57,655	59,035
その他	1,714,500	1,995,280	1,954,200	▲280,780

※ 需用費の主なものは、企画展のポスター、チラシ等の印刷製本費 55万円、電気、水道代 165万6千円、消耗品費 20万1千円、修繕料 54万3千円、賄材料費 176万4千円（売店仕入れ代）

※ 役務費の主なものは、通信運搬費 36万2千円、キャッシュレス手数料 4万8千円、筆耕翻訳料 11万円、建物災害共済基金分担金 2万5千円、浄化槽清掃料 10万1千円

※ 委託料の主なものは、特別展委託 156万6千円、作品パネル作成委託 29万4千円、警備業務委託 34万4千円、ホームページ保守管理委託 28万7千円、清掃業務委託 35万2千円、浄化槽保守管理委託 22万4千円、植栽管理業務委託料 9万9千円、消防用設備・自動扉保守点検 11万7千円、自家用電気工作物保安管理委託業務 7万7千円、寄贈者木札文字入れ 3千円

※ その他の主なものは、基金積立金 170万1千円、愛媛県博物館協会会費 3千円、地方祭上ノ山区謝礼 1万1千円

寄附金 1,673,055円、入館料 1,334,045円、商品販売収入等 2,894,169円、雑入等 24,968円を充当しています。

(2) 運営状況

令和5年度は600人程度減少した入館者数は、令和6年度は、さらに800人程度減少しました。それに伴い、入館料、商品販売収入は減少しています。寄付金は令和5年度と比べると約160万円増加しました。

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
開館日数(日)	309	303	301	6
入館者数(人)	有料	3,255	3,607	▲608
	無料	1,687	1,991	▲273
	計	4,942	5,598	▲881
入館料(円)	1,334,045	1,537,735	1,711,790	▲203,690
商品販売収入(円)	2,894,169	1,401,431	1,910,748	1,492,738
寄附金等(円)	1,698,023	66,775	752,604	1,631,248
計	5,926,237	3,005,941	4,375,142	2,920,296

※商品販売収入は、5年度までは売上手数料(売上高-賄材料費)、6年度は売上高を計上しています。



単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
歳入(A)	5,926,237	5,197,941	6,725,482	728,296
入館料・商品販売収入等	5,926,237	3,005,941	4,375,142	2,920,296
基金繰入金	0	0	0	0
交付金等	0	2,192,000	2,350,340	▲2,192,000
歳出(B)	25,271,989	20,492,555	20,040,490	4,779,434
施設運営費	25,271,989	20,492,555	20,035,490	4,779,434
その他	0	0	5,000	0
工事請負費等	0	0	0	0
実質収支(A) - (B)	▲19,345,752	▲15,294,614	▲13,315,008	▲4,051,138

(3) 企画展開催状況

内 容	期 間	入館者数（人）
開館12周年記念特別展「真民さんの生き方 ～できるだけ、うれしいうたをつくろう～」	R6年3月2日～6月30日	1,910 (令和5年度446人含む)
夏休み企画展「自分の花を咲かせよう」	7月6日～10月20日	998
企画展「真民さんとタンポポ」	10月26日～3月2日	1,109
開館13周年記念特別展「慈恵の心と生きる喜びを ～横田南嶺老師が選ぶ真民詩の世界～」	3月8日～R7年6月29日 ※3/31まで集計	490

(4) 寄附金状況

- ・ 寄附者 11件（個人9件、企業2件）
- ・ 寄附金総額 1,673,055円

第6 保健体育費

1 保健体育総務費（10-06-01-01） 4,716,396円

(1) 各種スポーツ大会運営等業務委託（町スポーツ協会） 2,470,907円 【主要施策⑥】

町スポーツ協会に町内スポーツ大会、スポーツ少年団交歓会を事業委託し実施しました。

【スポーツ協会へ委託しているスポーツ大会】

月 日	大 会 名	参加チーム数		
		6年度	5年度	4年度
5月19日	ソフトテニス大会	11	13	11
6月9日	バレーボール大会	19	17	18
6月23日	卓球大会	18	16	13
7月21日	軟式野球大会	17	17	16
5月4日	女子ミニバス大会（スポーツ少年団）	8	8	4
5月5日	男子ミニバス大会（スポーツ少年団）	8	8	8
11月24日	ソフトボール大会	24	27	中止
9月8日	インディアカ大会	8	12	10
1月26日	レクリエーションバレーボール大会	24	21	中止
11月30日	ソフトボール大会（スポーツ少年団）	3	3	3
12月8日	テニス大会	17	19	18
9月29日	バドミントン大会	30	30	26



(2) スポーツ少年団等育成事業費補助金 735,100 円 (各団体上限 50,000 円) 【主要施策⑥】

町内のスポーツ少年団等が行う少年スポーツ活動を育成及び支援するため、町内 15 団体のスポーツ少年団等に補助金を交付しました。

スポーツ少年団等団体名	スポーツ種目
砥部光スポーツ少年団	ソフトボール
オレンジスポーツ少年団	ソフトボール
砥部剣道スポーツ少年団	剣道
糸東会スポーツ少年団	空手道
えひめ砥部リトルリーグ	硬式野球
砥部愛空会スポーツ少年団	空手道
砥部柔道スポーツ少年団	柔道
TOBE クレッシェンドスポーツ少年団	バドミントン
砥部フットボールクラブ	サッカー
麻生ブルーホークス	ソフトボール
とべー剣スポーツ少年団	剣道
砥部 JVC スポーツ少年団	バレーボール
麻生イーグルス	ミニバスケットボール
砥部光男子 MBC	ミニバスケットボール
砥部光女子 MBC	ミニバスケットボール

(3) スポーツ少年団陶街道ゆとり公園武道場利用補助金 481,000 円 (利用料補助 10/10)

陶街道ゆとり公園武道場を利用する町内スポーツ少年団の活動を支援するため、4 団体に補助金を交付しました。

スポーツ少年団等団体名	補助金 (円)
砥部剣道スポーツ少年団 (剣道)	73,500
糸東会スポーツ少年団 (空手道)	139,500
砥部愛空会スポーツ少年団 (空手道)	130,500
とべー剣スポーツ少年団 (剣道)	137,500
計	481,000

(4) その他主な経費 1,029,389 円

- ・町スポーツ推進委員報酬 624,000 円 (52,000 円×12 人)
- ・愛媛県スポーツ推進委員協議会会費 12,000 円 (1,000 円×12 人)
- ・愛媛県スポーツ推進委員協議会負担金 20,000 円
- ・特別国体出場選手等激励金 40,000 円 (5,000 円×8 人)
- ・スポーツ推進員等研修会旅費 5,500 円 (1,100×5 人)
- ・砥部町スポーツ推進委員会研修委託料 (講師派遣料) 10,000 円
- ・全国スポーツ推進委員連合会会費 6,000 円 (500 円×12 人)
- ・スポーツ少年団指導者育成事業費補助金 86,400 円
- ・愛媛県スポーツ振興会市町負担金 31,008 円
- ・公用車等燃料費及び公用車維持管理費 189,924 円
- ・郵送料 4,557 円

2 体育事業費（10-06-01-02） 278,308 円

(1) クロッケー大会 18,186 円（報償費、消耗品費、通信運搬費）【主要施策⑥】

町民の健康増進を図るとともに、軽スポーツを日常生活の中に取り入れる意識を高めてもらうことを目的として開催しました。

- ・開催日 5月11日（土）
- ・開催場所 陶街道ゆとり公園（多目的広場）、ひろた町民グラウンド
- ・参加者 59人

参加チーム数

6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
18	15	17	3



(2) スポーツまつり in とべ 127,435 円（報償費、消耗品費、通信運搬費）【主要施策⑥】

町民のスポーツ精神の高揚と体力の向上及び地域住民の交流を深めるとともに、明るい町づくりを推進することを目的として開催しました。

- ・開催日 10月13日（日）
- ・開催場所 陶街道ゆとり公園
- ・参加者 83チーム 354名

(3) ジュニア駅伝大会 86,395 円（報償費、消耗品費、通信運搬費）【主要施策⑥】

児童・生徒への陸上競技の普及を図るとともに、チームワークの大切さ、他校との交流を深めることを目的として開催しました。

- ・開催日 2月18日（土）
- ・開催場所 陶街道ゆとり公園
- ・参加者 駅伝の部 33チーム 165人、マラソンの部 89人

(4) ウォークラリー大会 1,517 円（消耗品費）【主要施策⑥】

雨天のため中止しました。

参加チーム数

6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
中止	13	16	▲13

(5) 小学校バドミントンクラブ指導講師派遣事業 ゼロ予算事業 【主要施策⑥】

えひめ国体開催をきっかけにバドミントン競技の普及啓発を目的として、小学校のクラブ活動に4人の講師を派遣しました。

- ・実施校及び回数 砥部小学校 (14回)
麻生小学校 (11回)
宮内小学校 (11回)



麻生小学校でのクラブ活動の様子

(6) ニュースポーツ推進事業 2,200円(消耗品) 【主要施策⑥】

吹矢の用具を整備し、町民にニュースポーツ体験の機会を提供しました。

(7) その他主な経費

- ・体育事業消耗品(石灰・コートブラシ等) 42,575円

3 体育施設費(10-06-02-01) 17,455,572円

(1) 陶街道ゆとり公園と田ノ浦町民広場の管理運営 2,361,000円

芙蓉メンテナンス㈱に管理委託をしています。砥部町陶街道ゆとり公園及び砥部町田ノ浦町民広場条例に基づき、適正に管理運営されました。

陶街道ゆとり公園体育施設及び田ノ浦町民広場の利用状況

施設名	利用者数(人)			利用日数(日)		
	6年度	5年度	4年度	6年度	5年度	4年度
多目的広場	17,062	16,033	11,796	310	268	225
テニスコート	17,754	18,859	17,834	345	342	326
わんぱく広場	22,716	23,621	24,215	298	292	273
体育館	58,638	48,460	41,726	352	346	318
グラウンドゴルフ場	3,244	3,246	3,014	271	266	234
武道場	23,021	16,997	13,483	354	344	317
田ノ浦町民広場	3,757	4,325	3,737	108	102	95
計	146,192	131,541	115,805			

(2) 社会体育施設の維持管理 15,094,572円

単位：円

区分	6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
光熱水費	1,876,959	1,569,565	1,566,055	307,394
修繕料	62,500	1,269,400	2,469,720	▲1,206,900
委託料	228,030	2,260,490	1,852,830	▲2,032,460
工事請負費	11,644,600	19,566,500	9,793,000	▲7,921,900
その他	1,282,483	1,571,732	1,993,397	▲289,249

※指定管理者(陶街道ゆとり公園、田ノ浦町民広場)が負担する経費(光熱水費、20万円未満の修繕等)を除く。

<説明>

単位:円

光熱水費の内訳	電気代 (小・中学校グラウンド夜間照明、大南町民広場、ひろた町民グラウンド、玉谷町民体育館、高市町民体育館)	1,821,016
	水道代 (大南町民広場、ひろた町民グラウンド、玉谷町民体育館)	55,943
修繕料の内訳	砥部小学校バレーボールネットロープ修繕料	15,700
	宮内小学校バレーボールネットロープ修繕料	29,200
	玉谷町民体育館漏電調査・対応	17,600
委託料の内訳	陶街道ゆとり公園遊具定期点検業務委託料	52,800
	旧高市小水道水質検査委託料	12,210
	旧高市小浄化槽保守点検委託料	10,450
	旧高市小自家用電気工作物保安管理委託料	99,000
	旧高市小・旧玉谷小消防設備等保守点検業務委託料	53,570
工事請負費の内訳	陶街道ゆとり公園テニスコート人工芝張替工事	10,357,600
	陶街道ゆとり公園正面ゲート補修工事	1,287,000
その他の主なもの	施設利用予約システムキャッシュレス決済手数料	227,373
	旧高市小浄化槽法定検査手数料及び清掃	34,840
	広田地区社旗体育施設草刈り業務手数料	111,308
	建物災害共済基金分担金	441,292
	モノクロ複写機賃借料	55,440
	集落排水使用料 (ひろた町民、玉谷町民)	77,160
	砥部小学校運動場真砂土購入	66,000
	田ノ浦町民広場固定ベース更新	49,940
	陶街道ゆとり公園武道場備品	12,220
	宮内小学校バレーボールカバー	30,800
	体育施設消耗品 (消火器等)	173,110
	指定管理者候補選定委員会委員謝礼	3,000

(3) 社会体育施設の使用料の収入 (指定管理施設を除く)

単位:円

6年度	5年度	4年度	増減(6-5)
1,211,680	783,140	716,910	428,540

(4) 社会体育施設の利用状況

施設名	利用者数(人)			利用日数(日)		
	6年度	5年度	4年度	6年度	5年度	4年度
砥部中学校 グラウンド	3,650	3,033	2,245	92	64	69
体育館	5,271	6,230	5,783	307	295	242
武道場	11,722	10,571	5,783	357	359	297
砥部小学校 グラウンド	4,885	4,517	4,316	260	260	205
体育館	6,460	6,689	5,649	228	251	215
宮内小学校 グラウンド	5,977	6,650	6,440	218	269	241
体育館	13,557	13,684	10,771	293	306	253
麻生小学校 グラウンド	13,314	13,820	8,050	332	338	263
体育館	13,625	15,141	13,514	315	316	273
大南町民広場	8,502	7,240	5,884	258	233	199
ひろた町民グラウンド	872	1,048	1,233	55	54	45
広田小学校 体育館	607	813	839	22	30	33
玉谷町民体育館	427	354	188	97	63	18
高市町民グラウンド	160	293	305	4	4	5
高市町民体育館	224	185	300	9	2	5
計	89,253	90,268	71,300			